

令和5年度 第2回市民意識調査 報告書

調査期間:令和5年8月18日(金)～9月1日(金)

テーマ

- 1 「健康づくり」と「社会参加」の活動状況について
- 2 災害への備えや避難の考え方、子育て時の防災について
- 3 市政広報について
- 4 札幌の農業について
- 5 障がい者コミュニケーション条例等について

札幌市

目 次

1 調査実施の概要	
(1) 目的	2
(2) 項目	2
(3) 設計	2
(4) 回収結果	2
(5) 回答者の特性	2
(6) 集計・分析上の注意事項	3
2 調査結果の詳細	
(1) 「健康づくり」と「社会参加」の活動状況について	
現在の健康状態	7
健康づくりのために取り組んでいること	8
健康づくり活動の程度	9
今後健康のために取り組みたいこと	10
取り組んでいる社会参加活動	11
社会参加活動の程度	12
今後取り組みたい社会参加活動	13
保有している電子端末	14
S N Sの利用頻度	15
健康アプリで使いたい機能	16
健康な状態で過ごせる期間が長くなることで得られる良い影響	17
(2) 災害への備えや避難の考え方、子育て時の防災について	
行っている災害対策	18
災害に備えて用意している備蓄品	19
災害情報の入手手段	24
札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うもの	25
避難指示が発令された場合の避難場所	26
垂直避難をふまえた避難場所の検討	27
大きな地震が発生し、自宅の被害が少ない場合に、大規模な停電となったときの避難場所	28
在宅避難をふまえた避難場所の検討	29
子育て時の防災について知りたい情報	30
防災のイベントや講演に参加しやすい場所	31
(3) 市政広報について	
「広報さっぽろ」を読んでいる割合	32
「広報さっぽろ」を読んでいる理由	33
「広報さっぽろ」で今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマ	34
「広報さっぽろ」で読んでみたい特集記事の（具体的な）内容	35
「広報さっぽろ」の誌面リニューアルについて感じたこと	36
「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知度	37
「データ放送」で札幌市からのお知らせを利用したことがない理由	38
市が行っているイベント情報の入手方法	39

(4) 札幌の農業について	
札幌の農業について知っていること-----	40
今後農業に関わるとしたら、どのように関わりたいか-----	41
札幌産農産物の購入状況-----	42
北海道産農産物の購入状況-----	43
札幌産農産物に期待すること-----	44
札幌の農業や農地に期待する機能や役割-----	45
札幌の農業に関連する情報を得たい媒体-----	46
(5) 障がい者コミュニケーション条例等について	
障がい者コミュニケーション条例の認知度-----	47
障がい者コミュニケーション条例を知ったきっかけ-----	48
障がい者手帳の保有状況-----	49
障がいのある方とのコミュニケーション手段で知っているもの-----	50
コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、 何かに取り組みたいと思うか-----	51
コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために 取り組みたいこと-----	52
コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために 何か取り組みたいと思わない理由-----	53
資料：令和5年度第2回市民意識調査票-----	54

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和49年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和5年度第2回調査では、「市政広報」「障がい者コミュニケーション条例」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

「健康づくり」と「社会参加」の活動状況について
 災害への備えや避難の考え方、子育て時の防災について
 市政広報について
 札幌の農業について
 障がい者コミュニケーション条例等について

(3) 設計

調査地域 札幌市内
 調査対象 満18歳以上の男女個人
 標本数 5,000人
 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
 調査期間 令和5年(2023年)8月18日(金)～9月1日(金)
 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
 (対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
 回収数(率) 2,339 (46.8%)

(5) 回答者の特性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,339	100.0	937	40.1	1,376	58.8	7	0.3	19	0.8	2,339	100.0
【性別】												
男性	937	40.1	937	100.0	-	-	-	-	-	-	937	100.0
女性	1,376	58.8	-	-	1,376	100.0	-	-	-	-	1,376	100.0
その他	7	0.3	-	-	-	-	7	100.0	-	-	7	100.0
無回答	19	0.8	-	-	-	-	-	-	19	100.0	19	100.0
【年代】												
29歳以下	167	7.1	71	42.5	95	56.9	1	0.6	-	-	167	100.0
30～39歳	218	9.3	80	36.7	137	62.8	1	0.5	-	-	218	100.0
40～49歳	346	14.8	132	38.2	213	61.6	1	0.3	-	-	346	100.0
50～59歳	414	17.7	153	37.0	260	62.8	1	0.2	-	-	414	100.0
60～69歳	441	18.9	187	42.4	252	57.1	1	0.2	1	0.2	441	100.0
70歳以上	735	31.4	313	42.6	417	56.7	2	0.3	3	0.4	735	100.0
無回答	18	0.8	1	5.6	2	11.1	-	-	15	83.3	18	100.0
【居住区】												
中央区	286	12.2	110	38.5	172	60.1	3	1.0	1	0.3	286	100.0
北区	327	14.0	132	40.4	193	59.0	1	0.3	1	0.3	327	100.0
東区	283	12.1	120	42.4	162	57.2	-	-	1	0.4	283	100.0
白石区	229	9.8	83	36.2	145	63.3	1	0.4	-	-	229	100.0
厚別区	185	7.9	85	45.9	98	53.0	2	1.1	-	-	185	100.0
豊平区	274	11.7	109	39.8	165	60.2	-	-	-	-	274	100.0
清田区	143	6.1	61	42.7	82	57.3	-	-	-	-	143	100.0
南区	160	6.8	61	38.1	98	61.3	-	-	1	0.6	160	100.0
西区	268	11.5	97	36.2	170	63.4	-	-	1	0.4	268	100.0
手稲区	159	6.8	77	48.4	82	51.6	-	-	-	-	159	100.0
無回答	25	1.1	2	8.0	9	36.0	-	-	14	56.0	25	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,339	100.0	937	40.1	1,376	58.8	7	0.3	19	0.8	2,339	100.0
【職業】												
会社員	643	27.5	353	54.9	287	44.6	3	0.5	-	-	643	100.0
公務員	111	4.7	66	59.5	45	40.5	-	-	-	-	111	100.0
自営業	109	4.7	65	59.6	44	40.4	-	-	-	-	109	100.0
パート・アルバイト	354	15.1	71	20.1	281	79.4	-	-	2	0.6	354	100.0
主婦・主夫	376	16.1	1	0.3	371	98.7	2	0.5	2	0.5	376	100.0
学生	53	2.3	28	52.8	25	47.2	-	-	-	-	53	100.0
無職	588	25.1	310	52.7	275	46.8	2	0.3	1	0.2	588	100.0
その他	75	3.2	35	46.7	40	53.3	-	-	-	-	75	100.0
無回答	30	1.3	8	26.7	8	26.7	-	-	14	46.7	30	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,385	59.2	626	45.2	755	54.5	2	0.1	2	0.1	1,385	100.0
乳幼児(0~2歳程度)	75	3.2	21	28.0	54	72.0	-	-	-	-	75	100.0
就学前児童(3~5歳程度)	100	4.3	42	42.0	58	58.0	-	-	-	-	100	100.0
小学生(6~12歳程度)	194	8.3	71	36.6	122	62.9	-	-	1	0.5	194	100.0
中学生(13~15歳程度)	122	5.2	43	35.2	79	64.8	-	-	-	-	122	100.0
高校生(16~18歳程度)	108	4.6	44	40.7	64	59.3	-	-	-	-	108	100.0
大学(院)・専門学校生	106	4.5	42	39.6	63	59.4	-	-	1	0.9	106	100.0
65歳以上の高齢者	358	15.3	129	36.0	227	63.4	1	0.3	1	0.3	358	100.0
上記「1」~「8」以外の方	464	19.8	177	38.1	286	61.6	1	0.2	-	-	464	100.0
いない	443	18.9	156	35.2	283	63.9	3	0.7	1	0.2	443	100.0
無回答	36	1.5	5	13.9	16	44.4	-	-	15	41.7	36	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

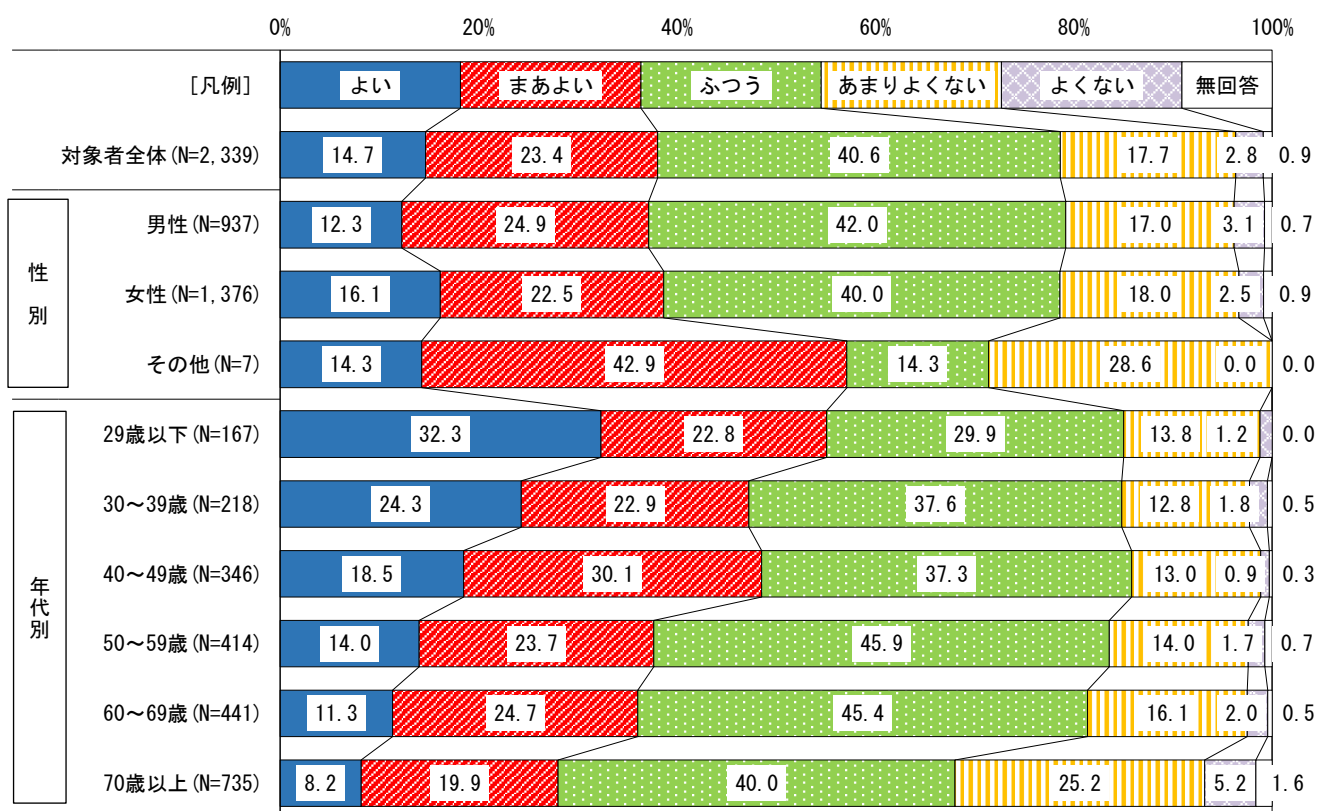
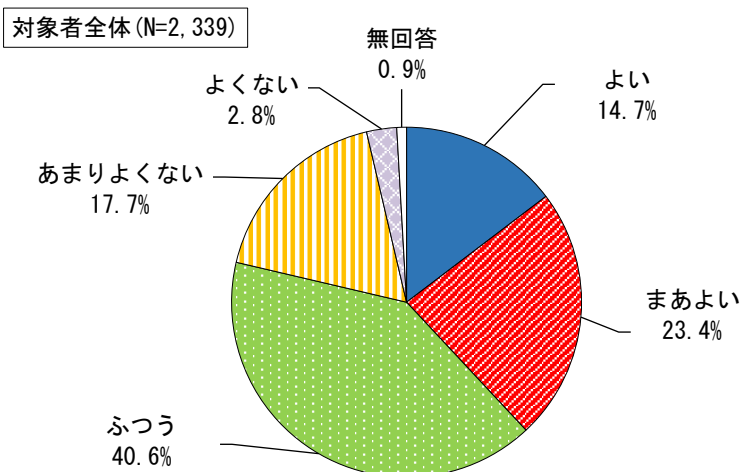
2 調査結果の詳細

(1)「健康づくり」と「社会参加」の活動状況について

◇現在の健康状態

問1 あなたは、ご自身の現在の健康状態をどのように評価していますか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

現在の健康状態は、「ふつう」が40.6%



【全 体】現在の健康状態は、「ふつう」が40.6%、「まあよい」が23.4%、「あまりよくない」が17.7%となっている。

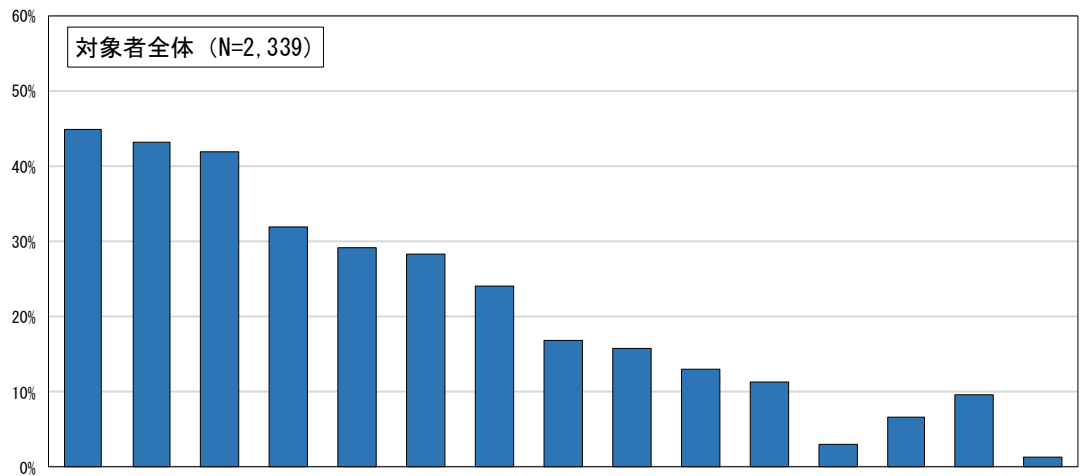
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「よい」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇健康づくりのために取り組んでいること

問2 あなたは、健康づくりのために、どのようなことに意識的に取り組んでいますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

健康づくりのために取り組んでいることは、「食生活」が45.0%



対象者数		食生活	徒歩での移動	健康診断・歯科検診の受診	日々の体重や血圧の管理	睡眠の量と質の確保	階段の利用	禁煙	スポーツ	健康に関する情報収集	早歩き	禁酒	健康教室への参加	その他	特になし	無回答	
対象者全体		2,339	45.0	43.2	41.8	31.9	29.2	28.3	24.2	16.8	15.7	13.0	11.4	3.1	6.7	9.6	1.5
性別	男性	937	36.9	43.0	36.2	32.1	26.5	25.6	30.1	23.6	12.3	12.4	13.3	1.2	6.6	10.4	1.4
	女性	1,376	50.5	43.5	45.6	31.8	31.1	30.2	20.0	12.3	18.1	13.5	10.1	4.5	6.7	9.2	1.3
	その他	7	71.4	57.1	71.4	57.1	42.9	14.3	71.4	42.9	14.3	14.3	28.6	-	14.3	-	-
年代別	29歳以下	167	33.5	47.9	16.2	12.0	32.3	35.9	26.9	22.8	12.0	16.2	10.8	1.2	4.2	12.6	-
	30～39歳	218	37.6	38.5	36.2	13.8	33.5	26.1	20.2	17.0	13.8	9.2	13.3	-	5.5	14.2	0.5
	40～49歳	346	39.0	35.0	43.4	18.5	27.5	32.4	19.1	18.2	13.3	13.0	7.2	-	5.2	14.7	0.6
	50～59歳	414	43.5	41.8	47.3	27.8	26.6	30.4	18.4	16.9	16.2	12.8	6.8	2.2	4.3	11.1	0.7
	60～69歳	441	45.4	43.1	44.4	35.1	27.4	24.7	29.3	17.0	17.2	16.3	10.9	3.4	6.8	7.3	1.8
	70歳以上	735	53.5	48.6	44.1	48.7	30.9	26.3	27.5	15.0	17.1	11.7	16.1	6.4	9.7	5.6	2.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】健康づくりのために取り組んでいることは、「食生活」が45.0%、「徒歩での移動」が43.2%、「健康診断・歯科検診の受診」が41.8%となっている。

【性別】「禁煙」、「スポーツ」は男性が女性より10.1ポイント以上高くなっている。また、「食生活」、「健康診断・歯科検診の受診」、「健康に関する情報収集」は、女性が男性より5.8ポイント以上高くなっている。

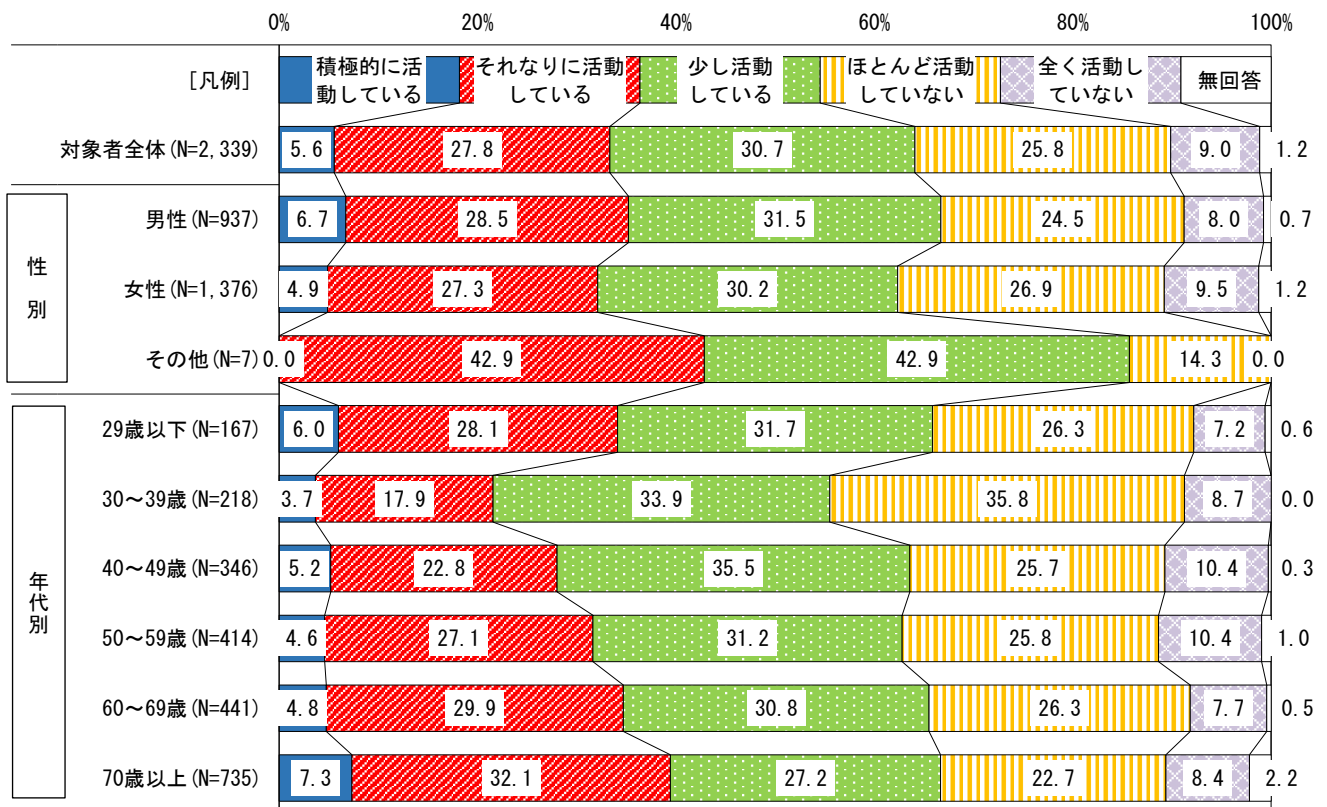
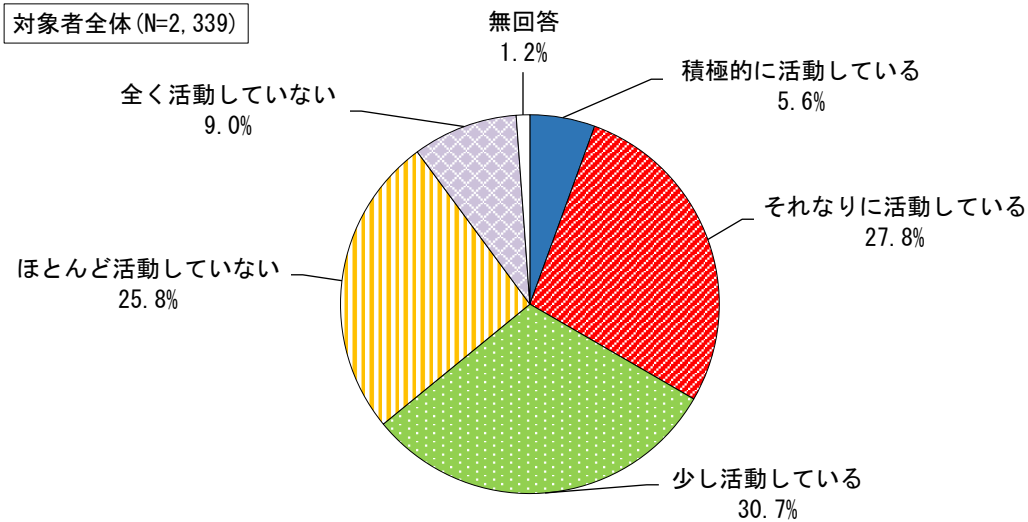
【年代別】「食生活」、「日々の体重や血圧の管理」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇健康づくり活動の程度

問3 あなたは、ご自身の現在の健康づくり活動について、どの程度活動していると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

健康づくり活動の程度は、“活動している”が33.3%

“活動している” = (「積極的に活動している」 + 「それなりに活動している」)



【全体】健康づくり活動の程度は、「積極的に活動している」が5.6%、「それなりに活動している」が27.8%、合わせると33.3%となっている。一方で、「ほとんど活動していない」が25.8%、「全く活動していない」が9.0%、合わせると34.8%となっている。

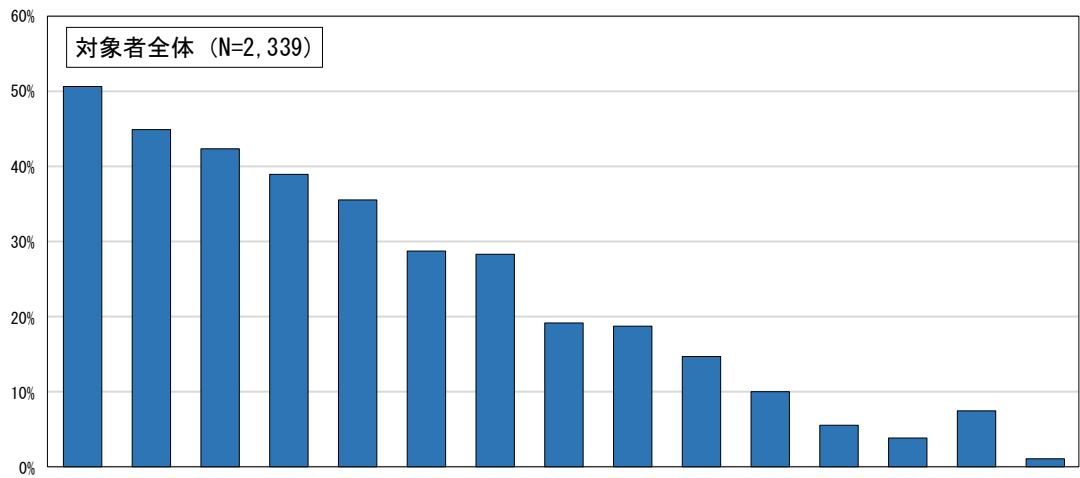
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】30歳代では「ほとんど活動していない」が、70歳以上では「それなりに活動している」が、29歳以下、40歳代、50歳代、60歳代では「少し活動している」が最も高くなっている。

◇今後健康のために取り組みたいこと

問4 あなたが、今後健康のために取り組みたいと思うものはどれですか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。(現在取り組んでいて、今後も継続して取り組みたいものも含まれます)

今後健康のために取り組みたいことは、「食生活」が50.6%



対象者数		食生活	徒歩での移動	睡眠の量と質の確保	健康診断・歯科検診の受診	日々の体重や血圧の管理	スポーツ	階段の利用	禁煙	健康に関する情報収集	早歩き	禁酒	健康教室への参加	その他	特になし	無回答	
(%)																	
対象者全体		2,339	50.6	44.9	42.2	38.9	35.6	28.7	28.3	19.2	18.9	14.8	10.0	5.6	4.0	7.5	1.2
性別	男性	937	42.7	40.8	34.8	34.2	33.1	31.1	22.1	24.5	14.8	12.9	11.4	2.8	3.5	9.9	1.1
	女性	1,376	56.4	48.2	47.5	42.4	37.6	27.0	32.6	15.6	21.5	16.1	8.9	7.6	4.4	6.0	1.2
	その他	7	42.9	28.6	57.1	28.6	14.3	42.9	28.6	14.3	42.9	14.3	28.6	14.3	-	-	-
年代別	29歳以下	167	46.1	32.9	46.7	30.5	19.8	38.9	24.6	16.8	13.8	12.6	9.0	1.2	3.6	10.2	0.6
	30~39歳	218	46.3	32.6	43.1	34.9	27.5	45.0	24.3	12.8	11.0	12.8	8.3	1.8	2.3	6.9	0.5
	40~49歳	346	47.7	33.8	41.0	39.3	25.7	40.2	30.1	15.3	16.8	11.3	8.4	2.6	3.8	9.0	0.3
	50~59歳	414	54.3	42.3	46.6	41.8	37.0	27.5	34.1	17.1	20.5	14.5	6.8	4.3	4.3	7.2	1.0
	60~69歳	441	49.0	50.1	43.8	40.6	37.2	27.4	24.9	21.3	23.4	18.4	10.9	7.5	3.4	8.2	0.5
	70歳以上	735	53.5	55.5	38.6	39.6	44.9	17.6	28.6	23.3	19.9	15.5	12.7	8.8	4.9	6.3	2.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 今後健康のために取り組みたいことは、「食生活」が50.6%、「徒歩での移動」が44.9%、「睡眠の量と質の確保」が42.2%となっている。

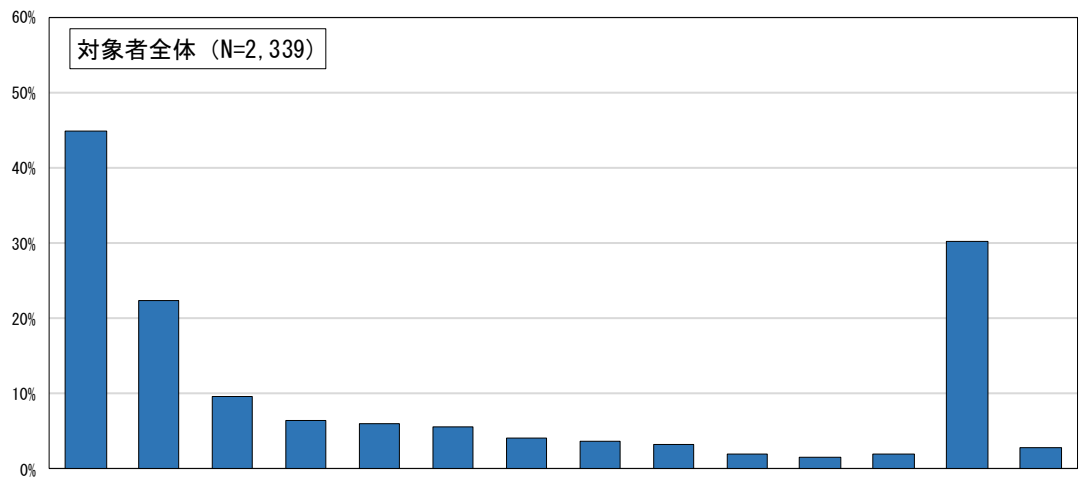
【性別】 「禁煙」は、男性が24.5%と、女性の15.6%より8.9ポイント高くなっている。また、「食生活」、「徒歩での移動」「睡眠の量と質の確保」「健康診断・歯科検診の受診」「階段の利用」「健康に関する情報収集」は、女性が男性より6.7ポイント以上高くなっている。

【年代別】 「健康教室への参加」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇取り組んでいる社会参加活動

問5 あなたは、普段からどのような社会参加活動に取り組んでいますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

取り組んでいる社会参加活動は、「仕事・アルバイト」が44.9%



		対象者数	仕事・アルバイト	趣味活動	町内会・自治会などの自治組織	ボランティア	地域交流	教育・子育て支援	生涯学習	文化的活動	高齢者支援	障がい者支援	地域安全活動	その他	特になし	無回答
		(%)														
対象者全体		2,339	44.9	22.3	9.7	6.5	6.0	5.5	4.2	3.8	3.2	2.1	1.5	2.0	30.2	2.9
性別	男性	937	44.1	22.9	11.3	7.0	6.2	3.9	3.9	2.5	2.7	2.1	2.2	2.1	31.5	2.2
	女性	1,376	45.6	21.6	8.7	6.0	6.0	6.5	4.1	4.4	3.6	2.0	1.0	1.9	29.5	3.2
	その他	7	57.1	57.1	-	14.3	14.3	-	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3	-
年代別	29歳以下	167	74.3	29.3	-	6.0	3.0	6.0	3.0	5.4	2.4	1.8	0.6	1.2	15.0	1.2
	30～39歳	218	67.9	22.9	6.9	0.9	5.5	13.3	2.8	4.6	1.8	0.9	1.4	1.4	23.4	1.4
	40～49歳	346	70.5	21.1	7.5	4.3	6.1	10.4	3.2	2.9	1.7	3.5	0.6	2.0	15.6	0.9
	50～59歳	414	65.0	17.9	5.8	4.1	1.9	4.1	2.7	3.1	4.6	2.9	1.0	1.2	20.5	2.7
	60～69歳	441	40.8	23.6	11.6	7.9	5.7	4.3	6.6	4.8	4.1	2.5	0.7	2.0	34.9	1.8
	70歳以上	735	11.0	22.7	15.0	9.4	9.5	2.0	4.6	3.0	3.3	1.2	3.0	2.6	45.4	5.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】取り組んでいる社会参加活動は、「仕事・アルバイト」が44.9%、「趣味活動」が22.3%、「町内会・自治会などの自治組織」が9.7%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「仕事・アルバイト」が29歳以下（74.3%）で最も高く、次いで40歳代（70.5%）、30歳代（67.9%）となっている。

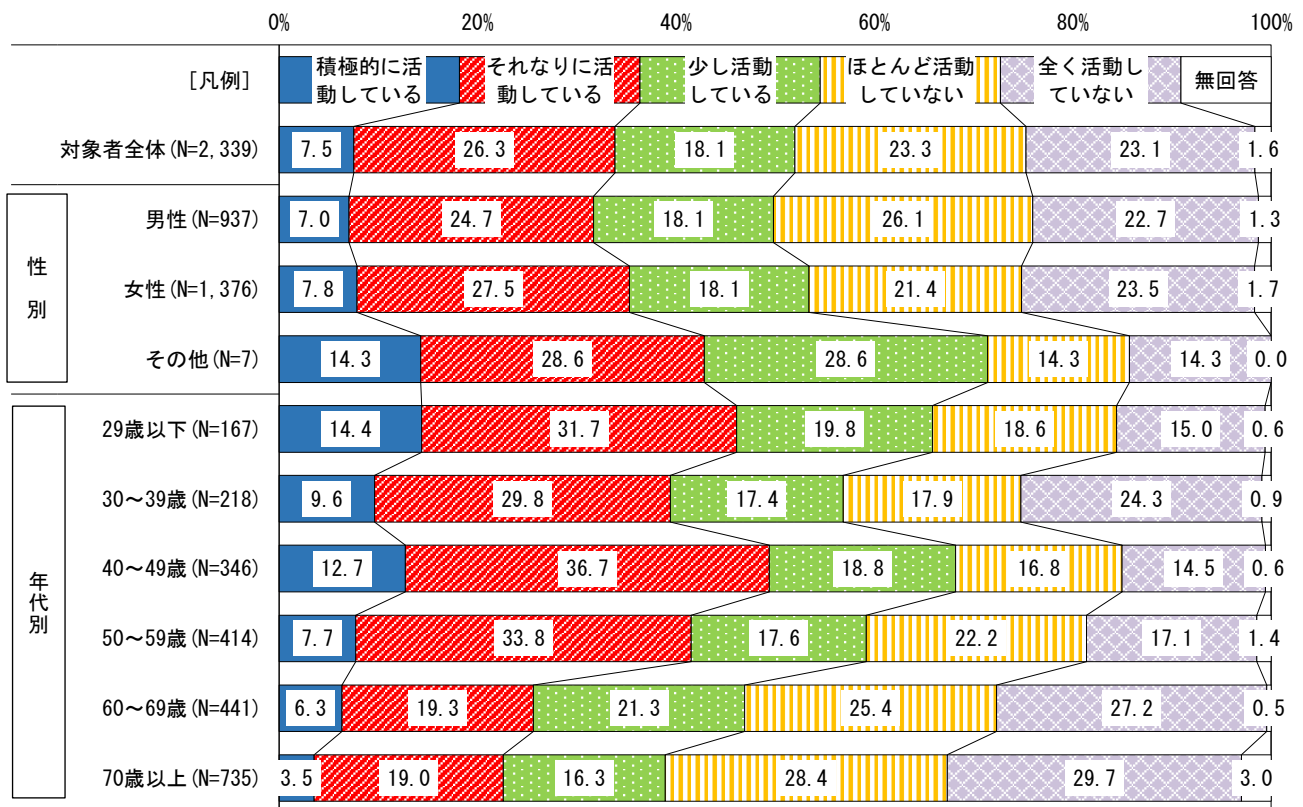
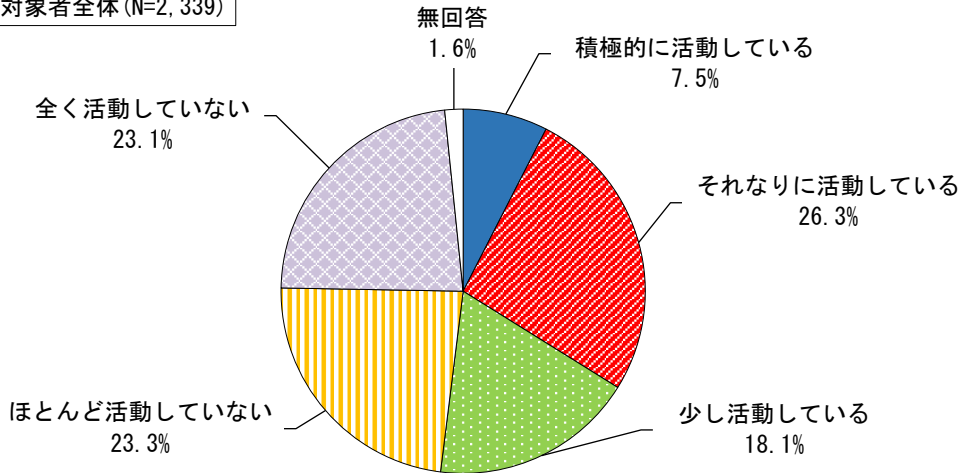
◇社会参加活動の程度

問6 あなたは、ご自身の現在の社会参加活動について、どの程度活動していると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

社会参加活動の程度は“活動している”が33.9%

“活動している” = (「積極的に活動している」 + 「それなりに活動している」)

対象者全体 (N=2, 339)



【全 体】社会参加活動の程度は、「積極的に活動している」が7.5%、「それなりに活動している」が26.3%、合わせると33.9%となっている。一方で、「ほとんど活動していない」が23.3%、「全く活動していない」が23.1%、合わせると46.4%となっている。

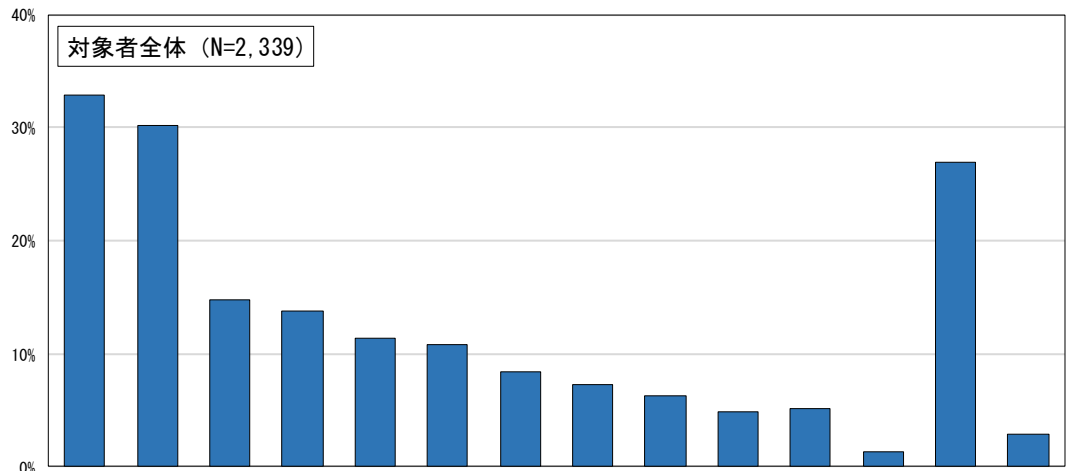
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代では「それなりに活動している」が、60歳代、70歳以上では「全く活動していない」が最も高くなっている。

◇今後取り組みたい社会参加活動

問7 あなたが、今後取り組みたいと思う社会参加活動はどれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(現在取り組んでいて、今後も継続して取り組みたいものも含まれます)

今後取り組みたい社会参加活動は、「趣味活動」が32.9%



		対象者数	趣味活動	仕事・アルバイト	ボランティア	生涯学習	地域交流	文化的活動	教育・子育て支援	町内会・自治会などの自治組織	高齢者支援	障がい者支援	地域安全活動	その他	特になし	無回答
		(%)														
対象者全体		2,339	32.9	30.2	14.7	13.8	11.3	10.8	8.5	7.3	6.2	4.9	5.1	1.3	26.9	2.8
性別	男性	937	29.6	25.9	14.3	12.5	13.0	10.2	5.7	9.0	5.8	4.8	7.2	1.3	31.1	1.7
	女性	1,376	35.3	33.3	15.0	14.5	10.3	10.9	10.3	6.3	6.7	5.0	3.8	1.2	24.1	3.4
	その他	7	14.3	14.3	28.6	28.6	-	42.9	14.3	-	-	-	-	14.3	14.3	-
年代別	29歳以下	167	40.1	36.5	19.2	9.0	9.6	11.4	13.2	2.4	4.8	5.4	1.8	1.8	21.6	0.6
	30～39歳	218	33.0	39.0	16.1	13.3	13.8	13.3	21.1	8.7	6.0	6.0	8.3	1.4	21.1	0.5
	40～49歳	346	35.8	42.2	12.7	14.2	11.0	12.4	13.3	5.2	4.9	6.1	3.5	0.6	21.4	0.6
	50～59歳	414	36.5	44.9	13.3	13.0	7.2	12.1	7.7	5.6	8.2	5.1	4.3	0.7	19.3	2.7
	60～69歳	441	35.1	34.5	16.3	19.5	11.3	12.9	7.3	5.7	6.8	4.5	3.6	1.8	25.9	1.8
	70歳以上	735	26.7	9.8	14.0	11.6	13.7	6.9	2.4	11.2	6.0	4.1	7.1	1.5	37.6	5.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 今後取り組みたい社会参加活動は、「趣味活動」が32.9%、「仕事・アルバイト」が30.2%、「ボランティア」が14.7%となっている。

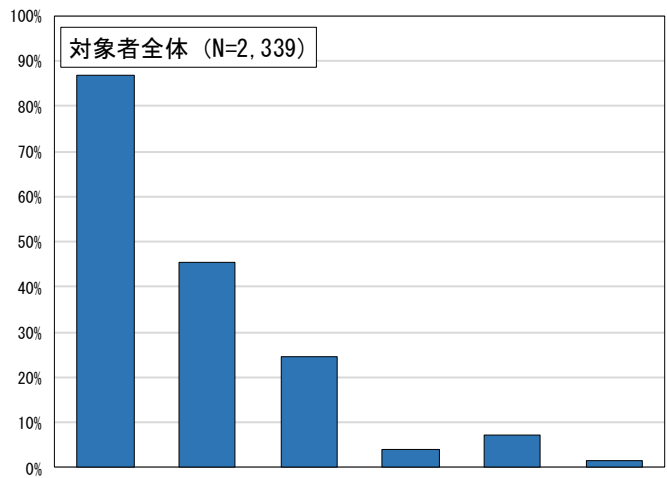
【性別】 「趣味活動」、「仕事・アルバイト」は、女性が男性より5.7ポイント以上高くなっている。

【年代別】 29歳以下、60歳代では「趣味活動」が、30歳代、40歳代、50歳代では「仕事・アルバイト」が最も高くなっている。

◇保有している電子端末

問8 あなたが、お持ちのものについて、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

保有している電子端末は、「スマートフォン」が86.9%



		対象者数	スマートフォン	パソコン	タブレット	フィーチャーフォンなど	持っているものはない	無回答
		(%)						
対象者全体		2,339	86.9	45.5	24.5	3.9	7.1	1.5
性別	男性	937	87.5	57.8	26.3	4.4	6.4	0.7
	女性	1,376	86.8	37.2	23.3	3.6	7.3	1.7
	その他	7	100.0	57.1	71.4	-	-	-
年代別	29歳以下	167	99.4	67.1	29.3	1.2	-	-
	30～39歳	218	98.6	52.8	35.3	0.5	-	-
	40～49歳	346	96.8	61.3	38.7	2.3	1.4	0.3
	50～59歳	414	97.3	57.5	30.7	1.9	1.0	0.7
	60～69歳	441	93.0	44.4	21.3	2.5	3.2	1.1
	70歳以上	735	67.1	25.3	12.2	8.2	18.9	2.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

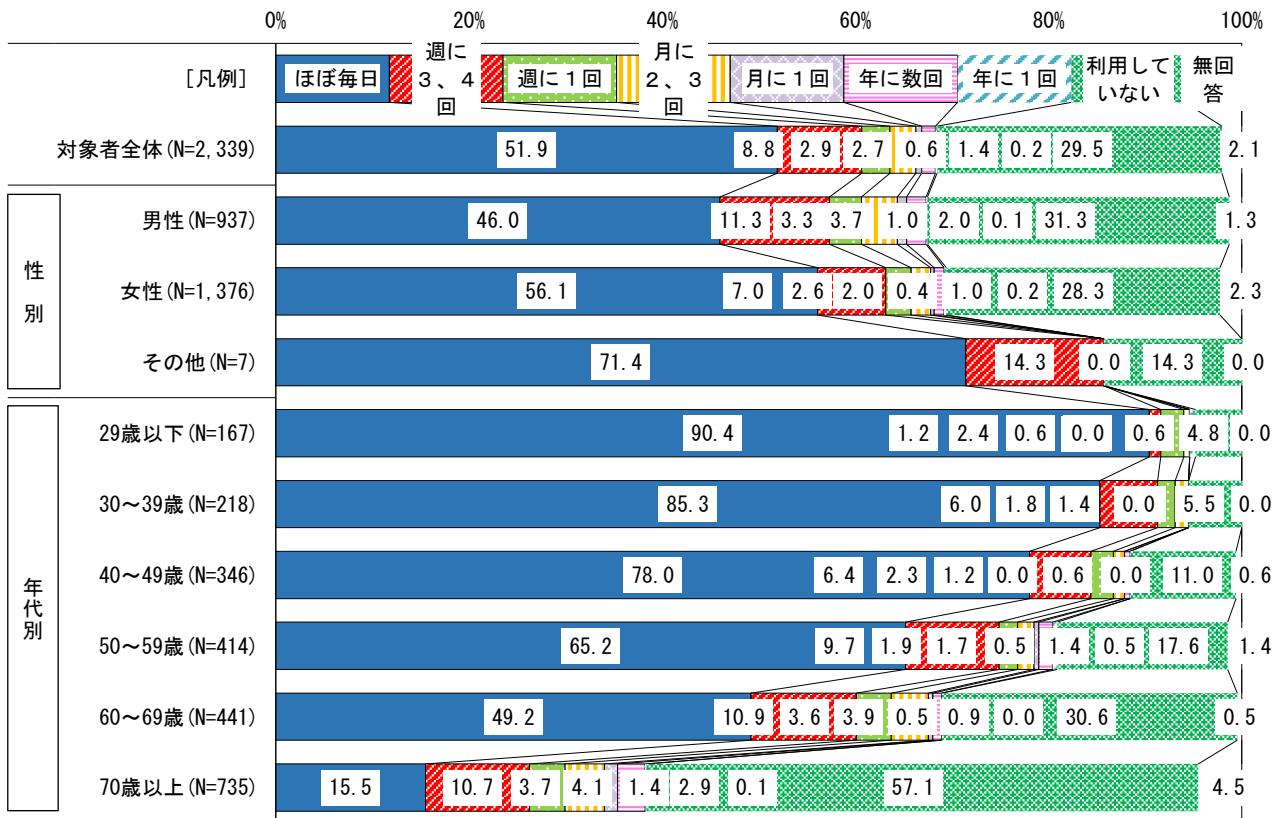
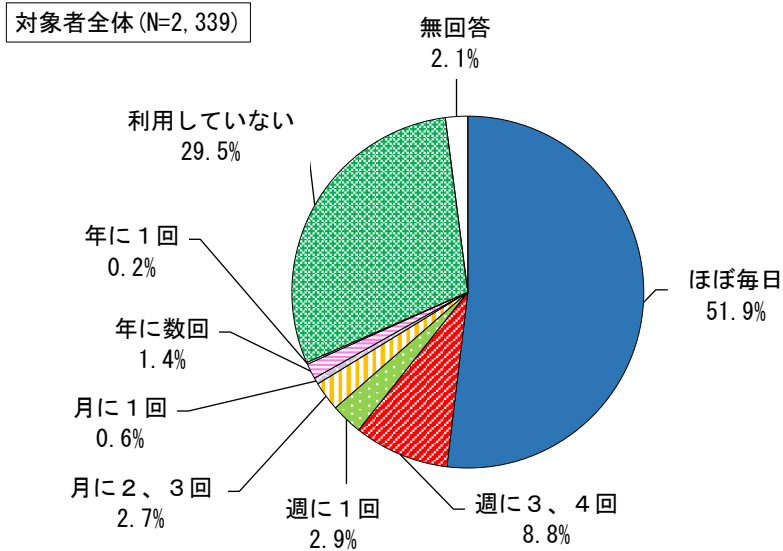
- 【全体】保有している電子端末は、「スマートフォン」が86.9%、「パソコン」が45.5%、「タブレット」が24.5%となっている。
- 【性別】「パソコン」は、男性が57.8%と、女性の37.2%より20.6ポイント高くなっている。
- 【年代別】「パソコン」が29歳以下(67.1%)で最も高く、最も低い70歳以上(25.3%)と比べると41.8ポイントの差となっている。

◇ SNSの利用頻度

問9 あなたは、この1年間でSNS（※）をどの程度の頻度で利用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※Facebook、Twitter、LINE、Instagramなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

SNSの利用頻度は、「ほぼ毎日」が51.9%



【全体】 SNSの利用頻度は、「ほぼ毎日」が51.9%、「利用していない」が29.5%、「週に3、4回」が8.8%となっている。

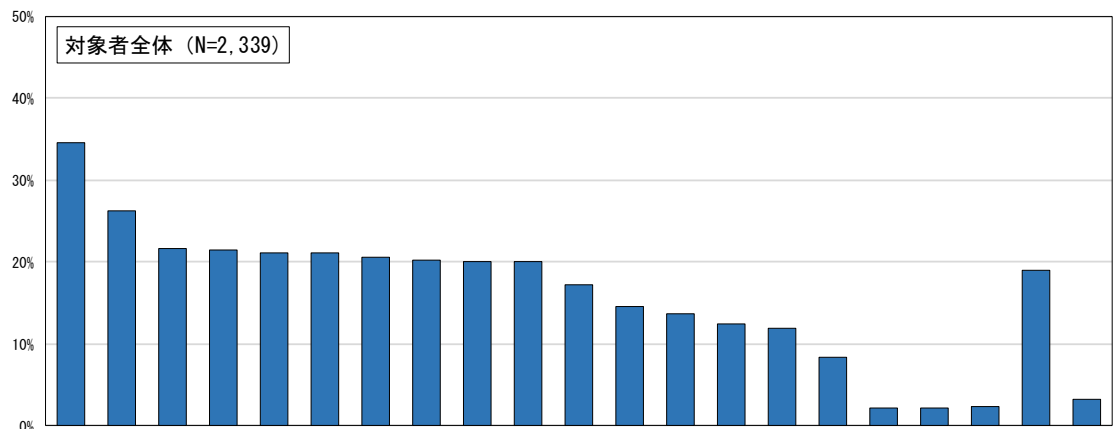
【性別】 「ほぼ毎日」は、女性が56.1%と、男性の46.0%より10.1ポイント高くなっている。

【年代別】 「ほぼ毎日」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「利用していない」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇健康アプリで使いたい機能

問10 あなたは、札幌市が健康アプリを導入した場合、どのような機能があれば使いたいと思いますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

健康アプリで使いたい機能は、「歩数測定」が34.6%



対象者数		歩数測定	血压管理	近くで行われるイベントの案内	消費カロリーの測定	筋トレ等を行うことができる体操や動画配信	睡眠計	お薬手帳	日々の体調管理	身長・体重管理	ゲーム(脳トレ等)	AIによる食事の栄養素判定	脈拍管理	歩行速度測定	活動に応じた報酬の付与	健康情報の発信	スタンプラリー機能	ランキング機能	ブツシユ通知による活動の動機づけ	その他	特になし	無回答	
対象者全体 (N=2,339)		34.6	26.2	21.6	21.5	21.1	21.0	20.6	20.3	20.1	20.1	17.2	14.6	13.7	12.5	11.8	8.3	2.3	2.2	2.3	19.0	3.3	
性別	男性	32.4	31.1	17.7	19.6	16.5	19.7	21.5	21.0	20.2	15.2	13.6	15.7	12.9	11.2	10.4	7.9	2.6	2.0	2.9	21.1	3.1	
	女性	36.4	22.7	24.3	22.7	24.3	21.9	19.9	19.8	20.1	23.3	19.8	13.7	14.1	13.4	12.6	8.5	1.9	2.3	1.9	17.6	3.2	
	その他	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	42.9	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	-	
年代別	29歳以下	42.5	16.8	19.2	35.9	18.6	31.7	26.3	19.8	37.1	19.8	30.5	12.6	16.8	24.6	7.8	10.8	4.2	6.0	5.4	10.8	1.2	
	30～39歳	218	39.9	19.3	30.7	25.2	17.4	28.0	34.4	22.5	33.0	21.6	28.9	12.4	13.8	29.4	13.8	14.2	5.5	6.0	1.8	13.3	0.5
	40～49歳	346	43.1	26.3	22.5	28.3	17.1	29.5	24.3	22.5	30.9	23.7	22.0	13.9	17.6	21.4	9.5	16.5	4.6	2.6	4.3	11.8	2.3
	50～59歳	414	40.1	25.8	22.9	26.6	19.3	24.6	20.5	18.8	20.0	20.5	19.6	15.2	16.7	14.3	10.4	11.6	2.2	1.7	2.9	17.4	1.2
	60～69歳	441	34.2	32.2	23.6	20.9	25.4	20.4	21.1	19.0	16.8	23.1	15.4	18.1	12.9	7.9	13.6	5.2	0.9	1.4	1.6	19.3	1.4
	70歳以上	735	24.6	26.5	17.1	11.4	23.1	10.9	13.2	20.5	9.5	15.8	8.3	13.3	9.9	2.3	12.8	2.2	0.4	1.0	1.0	26.8	7.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】健康アプリで使いたい機能は、「歩数測定」が34.6%、「血压管理」が26.2%、「近くで行われるイベントの案内」が21.6%となっている。

【性別】「血压管理」は、男性が31.1%と、女性の22.7%より8.4ポイント高くなっている。また、「近くで行われるイベントの案内」、「手軽に行うことができる体操や筋トレ等の動画配信」、「ゲーム(脳トレ等)」、「AIによる食事の栄養素判定」は、女性が男性より6.2ポイント以上高くなっている。

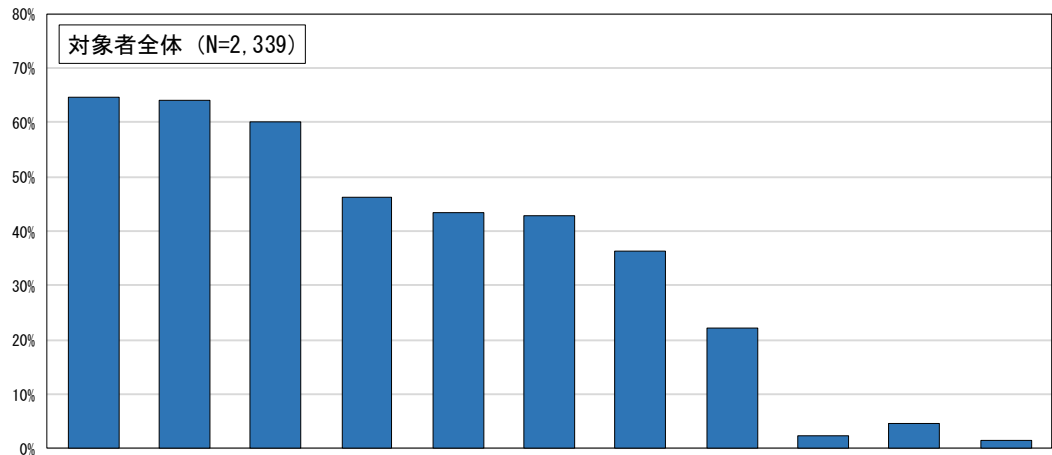
【年代別】「身長・体重管理」、「AIによる食事の栄養素判定」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇健康な状態で過ごせる期間が長くなることで得られる良い影響

問 1 1 あなたは、健康な状態で過ごせる期間が長くなると、あなた自身にとってどのような良い影響があると思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

※世界保健機関（WHO）では、「健康」を「身体的・精神的・社会的に充実している状態」としています。

健康な状態で過ごせる期間が長くなることで得られる良い影響は、「おいしい物を食べられる」が 64.6%



対象者数		おいしい物を食べられる	家族や友人、パートナーと過ごすことができる	好きなどころに旅行に行くことができる	趣味やスポーツに熱中できる	映画やテレビを見たり、本を読んだりできる	興味があることを学び続けることができる	仕事に打ち込むことができる	経験や知識を活かして社会に貢献できる	その他	特になし	無回答	
(%)													
対象者全体	2,339	64.6	64.1	60.1	46.1	43.5	42.9	36.5	22.2	2.4	4.6	1.5	
性別	男性	937	54.9	57.0	51.8	50.2	35.2	38.8	36.9	23.6	1.5	6.6	1.5
	女性	1,376	71.5	69.1	66.1	43.4	49.1	45.8	36.3	21.3	2.8	3.1	1.4
	その他	7	57.1	71.4	28.6	57.1	57.1	42.9	14.3	28.6	28.6	14.3	-
年代別	29歳以下	167	71.3	68.3	64.1	65.9	43.7	50.9	52.1	21.6	1.8	3.0	0.6
	30~39 歳	218	75.2	72.9	66.5	54.6	46.3	46.8	50.0	24.8	3.7	0.5	0.9
	40~49 歳	346	71.1	74.0	65.0	52.9	42.8	43.1	56.1	27.7	2.3	2.3	1.7
	50~59 歳	414	73.7	66.9	67.6	49.8	44.7	46.4	51.4	27.5	1.9	2.7	0.5
	60~69 歳	441	65.1	61.9	66.2	46.5	45.4	46.7	34.9	25.4	2.3	3.9	0.7
	70 歳以上	735	51.8	56.1	47.5	33.9	41.6	35.9	12.4	14.1	2.4	8.6	2.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】健康な状態で過ごせる期間が長くなることで得られる良い影響は、「おいしい物を食べられる」が 64.6%、「家族や友人、パートナーと過ごすことができる」が 64.1%、「好きなどころに旅行に行くことができる」が 60.1%となっている。

【性別】「趣味やスポーツに熱中できる」は、男性が 50.2%と、女性の 43.4%より 6.8 ポイント高くなっている。また、「おいしい物を食べられる」、「家族や友人、パートナーと過ごすことができる」、「好きなどころに旅行に行くことができる」、「映画やテレビを見たり、本を読んだりできる」、「興味があることを学び続けることができる」は、女性が男性より 7.0 ポイント以上高くなっている。

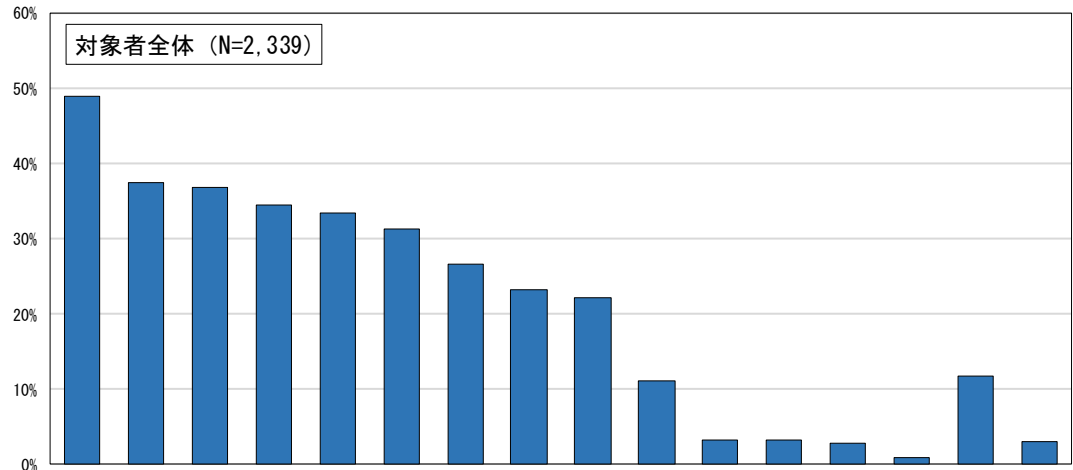
【年代別】「趣味やスポーツに熱中できる」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

(2)災害への備えや避難の考え方、子育て時の防災について

◇行っている災害対策

問 1 2 あなたの家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

行っている災害対策は、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」が 48.9%



対象者数	対象者数	食料品や飲料水などの多めの買い置き (ローリングストック)	ハザードマップの確認	備蓄品や非常持ち出し品の用意	家具の固定や配置の工夫	避難方法や最寄りの避難場所の確認	地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入	自家用車へ早めの満タン給油 (こまめな給油)	テレビや書籍、インターネットなどで災害時の心得や知識の取得	家族間での連絡方法や集合場所などの共有	所有している電子端末に防災関係アプリのインストール	地域での防災訓練や防災イベントへの参加	家屋や塀などの補強	親戚や知人宅への避難の相談	その他	特に何もしていない	無回答	
対象者全体	2,339	48.9	37.4	36.7	34.5	33.4	31.3	26.6	23.2	22.1	11.1	3.3	3.2	2.9	1.0	11.8	2.9	
性別																		
男性	937	43.2	35.6	34.4	33.6	28.6	30.9	28.8	23.4	18.8	10.9	3.1	3.4	2.5	1.1	12.8	3.3	
女性	1,376	52.8	38.7	38.4	35.2	37.1	31.6	25.4	23.0	24.5	11.2	3.6	3.1	3.3	0.9	10.9	2.4	
その他	7	71.4	57.1	57.1	28.6	14.3	28.6	-	42.9	-	28.6	-	-	-	-	14.3	-	
年代別																		
29歳以下	167	34.7	21.0	23.4	23.4	21.0	10.8	12.0	21.0	18.0	11.4	-	1.2	4.8	1.2	22.8	1.2	
30~39 歳	218	38.1	28.0	39.0	28.4	32.6	28.4	23.4	22.5	19.3	8.7	1.4	2.8	6.4	1.4	17.0	1.8	
40~49 歳	346	51.7	36.7	43.6	33.8	30.3	37.0	29.2	24.3	27.2	14.2	1.7	1.7	4.0	1.7	7.8	1.7	
50~59 歳	414	50.7	39.4	38.6	36.0	30.9	29.2	32.6	24.9	19.6	14.5	1.9	2.2	1.9	0.2	11.1	1.7	
60~69 歳	441	56.7	41.7	39.0	37.2	34.5	33.6	31.3	23.1	22.9	11.8	2.7	4.5	1.4	1.1	9.8	2.0	
70 歳以上	735	48.6	41.0	33.9	36.9	39.3	34.1	23.7	22.6	22.4	8.2	6.7	4.2	2.4	0.8	11.0	4.8	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】行っている災害対策は、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」が 48.9%、「ハザードマップの確認」が 37.4%、「備蓄品や非常持ち出し品の用意」が 36.7% となっている。

【性 別】「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」、「避難方法や最寄りの避難場所の確認」、「家族間での連絡方法や集合場所などの共有」は女性が男性より 5.7 ポイント以上高くなっている。

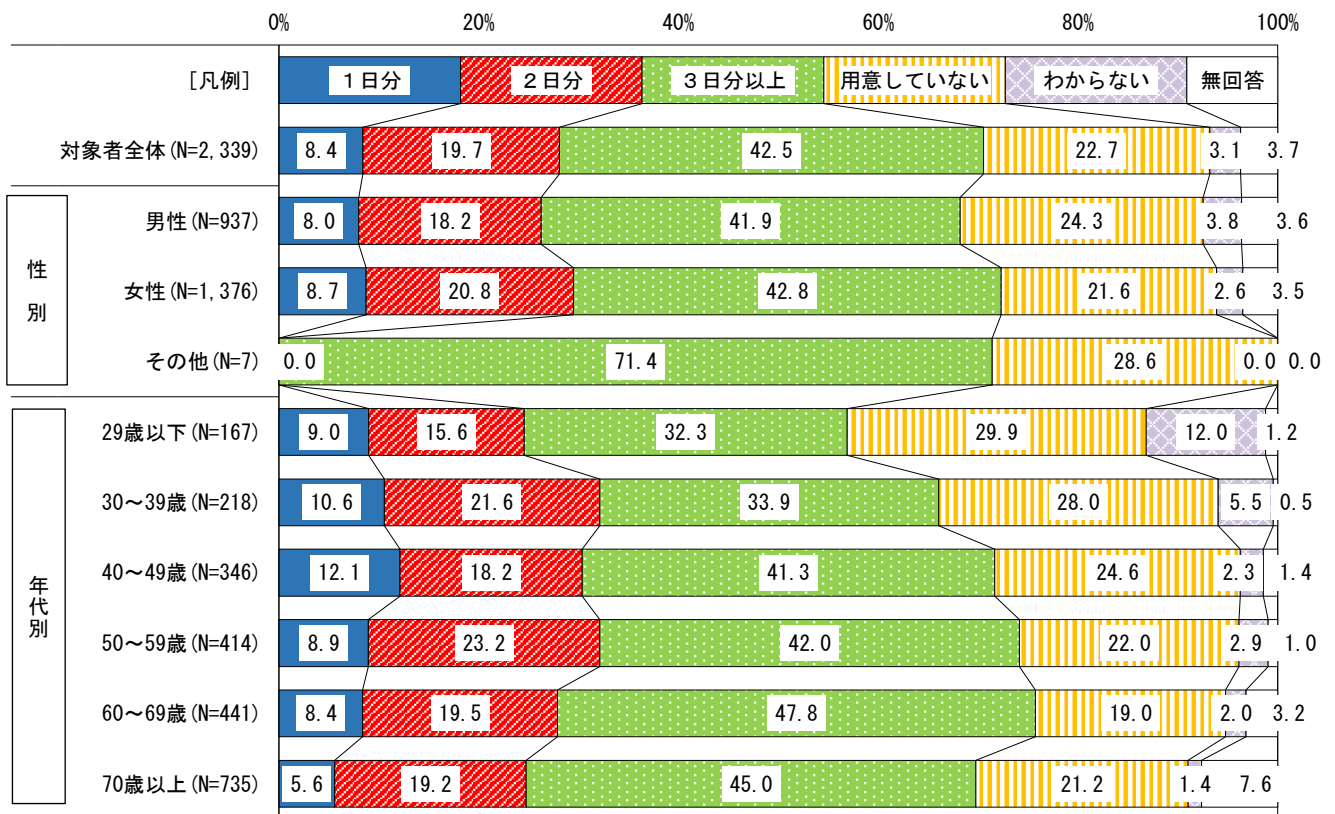
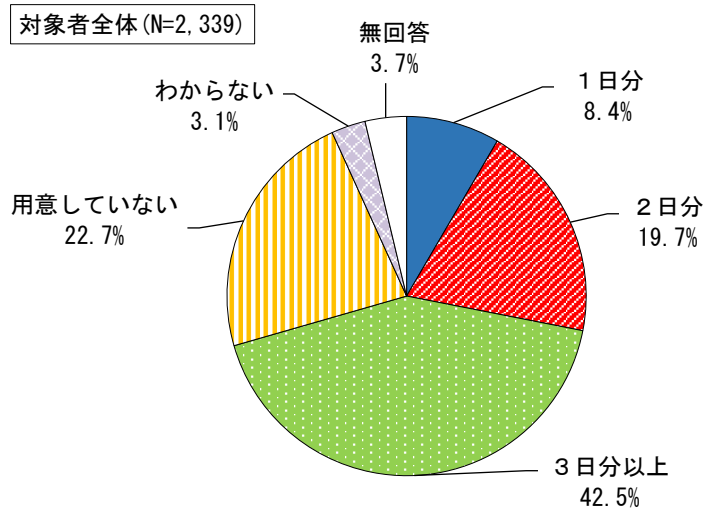
【年代別】「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」は 60 歳代 (56.7%) が最も高く、最も低い 29 歳以下 (34.7%) と比べると 22.0 ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問13 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ア 飲料水

災害に備えて用意している飲料水は、「3日分以上」が42.5%



【全体】災害に備えて用意している飲料水は、「3日分以上」が42.5%、「用意していない」が22.7%、「2日分」が19.7%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

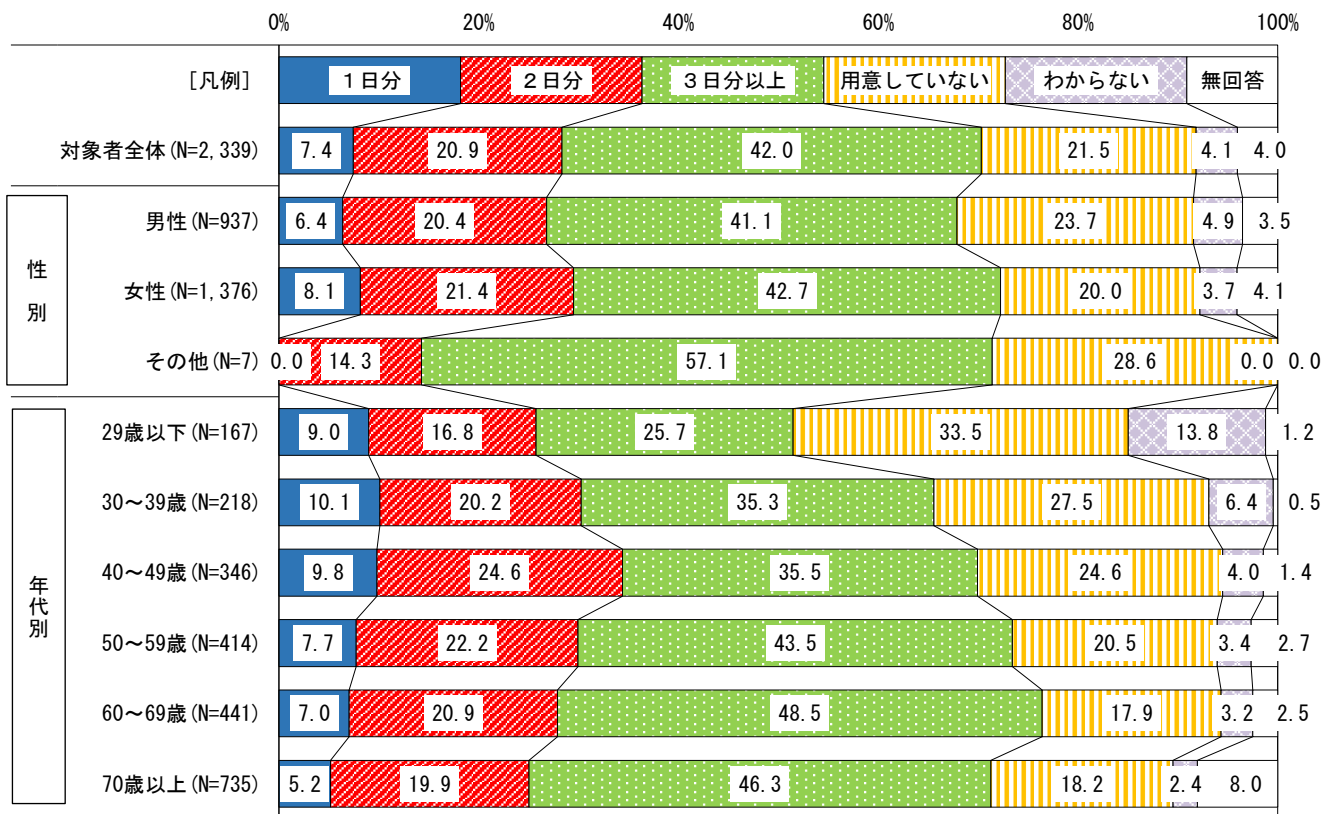
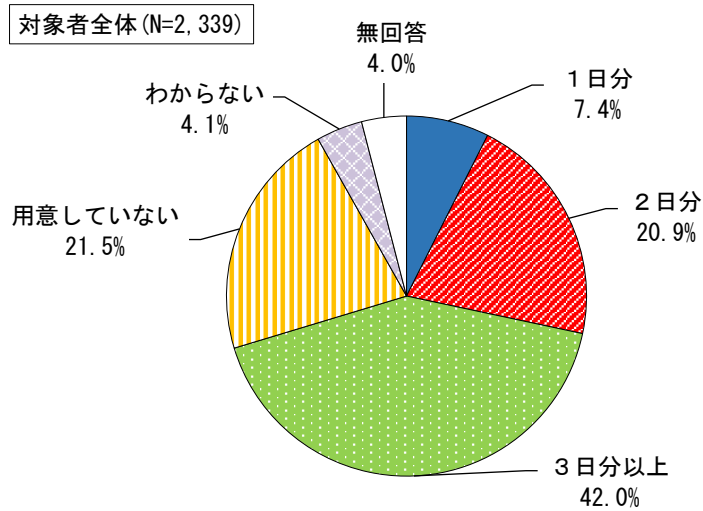
【年代別】「3日分以上」が60歳代(47.8%)で最も高く、最も低い29歳以下(32.3%)と比べると15.5ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問13 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

イ 食料

災害に備えて用意している食料は、「3日分以上」が42.0%



【全体】災害に備えて用意している食料は、「3日分以上」が42.0%、「用意していない」が21.5%、「2日分」が20.9%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

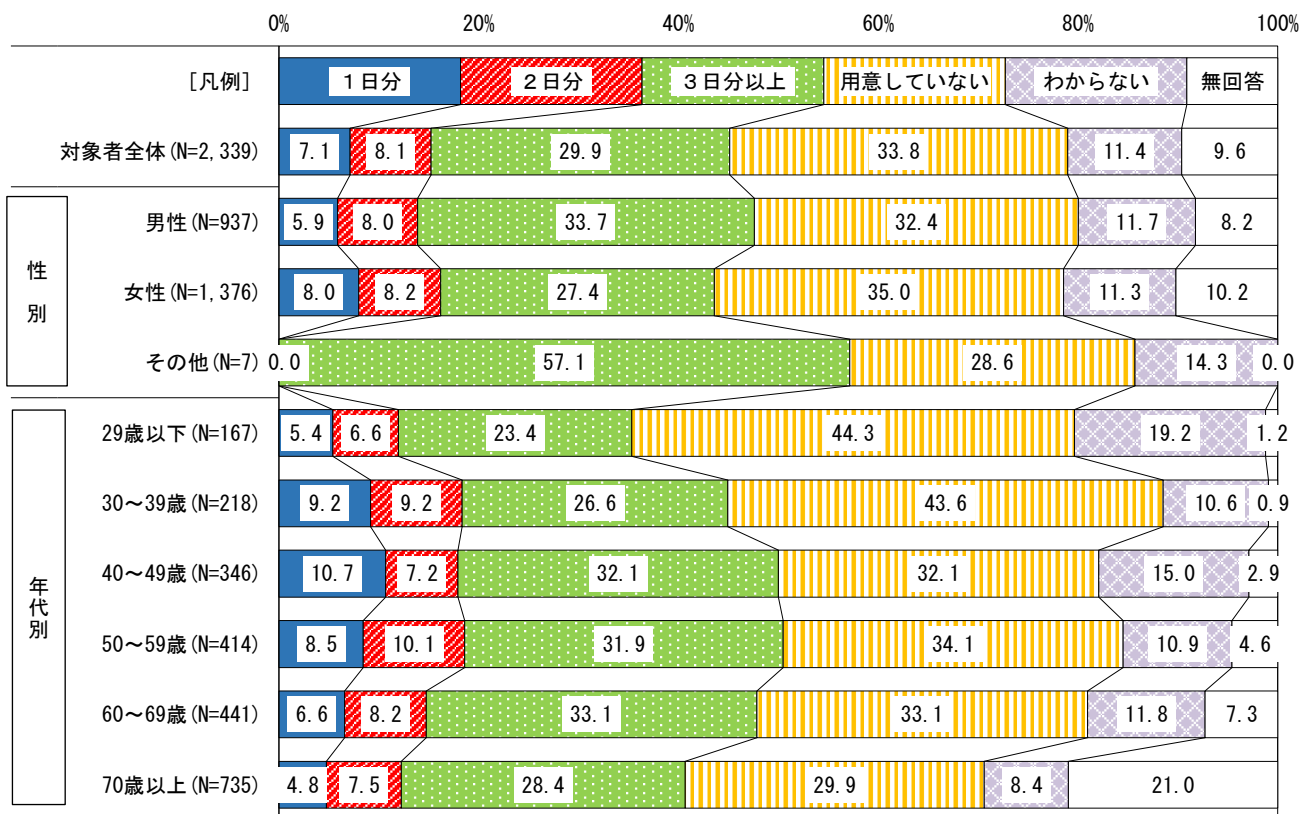
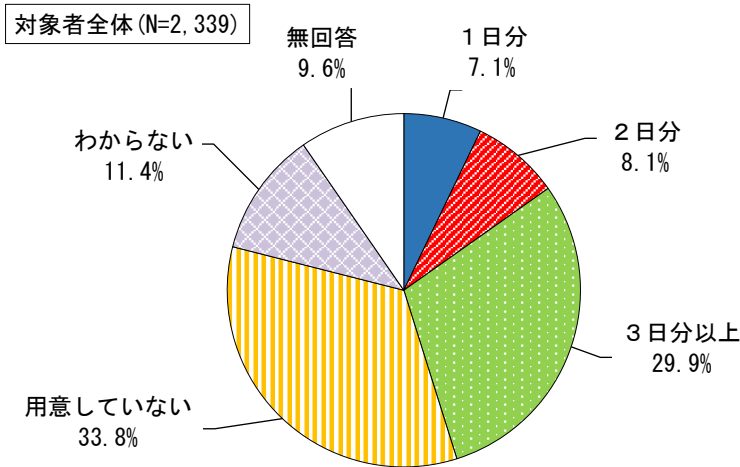
【年代別】29歳以下では「用意していない」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「3日分以上」が最も高くなっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問 1 3 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ウ 防寒具

災害に備えて用意している防寒具は、「3日分以上」が29.9%



【全 体】災害に備えて用意している防寒具は、「用意していない」が33.8%、「3日分以上」が29.9%となっている。

【性 別】「3日分以上」は、男性が33.7%と、女性の27.4%より6.3ポイント高くなっている。

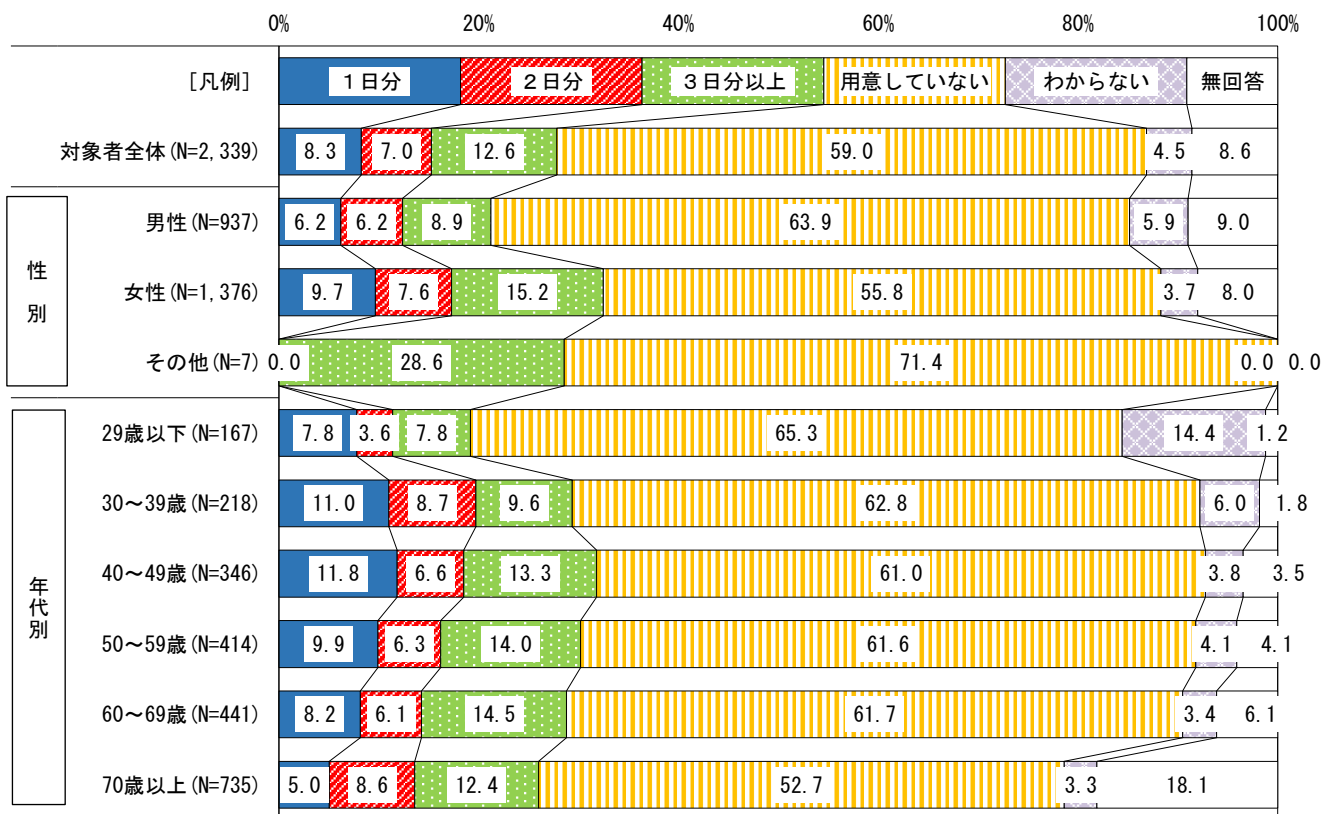
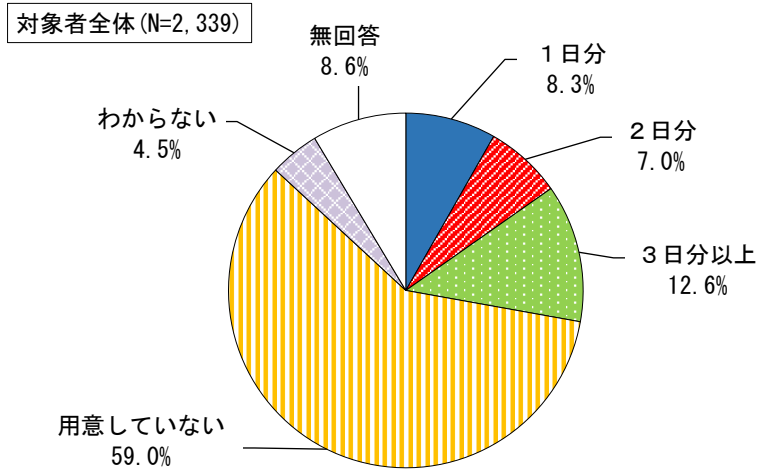
【年代別】「用意していない」が29歳以下（44.3%）で最も高く、最も低い70歳以上（29.9%）と比べると14.4ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問 1 3 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

エ 携帯トイレ

災害に備えて用意している携帯トイレは、「3日分以上」が12.6%



【全 体】災害に備えて用意している携帯トイレは、「用意していない」が59.0%、「3日分以上」が12.6%、「1日分」が8.3%となっている。

【性 別】「用意していない」は、男性が63.9%と、女性の55.8%より8.1ポイント高くなっている。また、「3日分以上」は、女性が15.2%と、男性の8.9%より6.3ポイント高くなっている。

【年代別】「用意していない」が29歳以下（65.3%）で最も高く、最も低い70歳以上（52.7%）と比べると12.6ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問13-1 問13のア～エ以外に災害に備えているものがあれば、具体的にどのような備蓄品を何日分用意しているかご自由にお書きください。

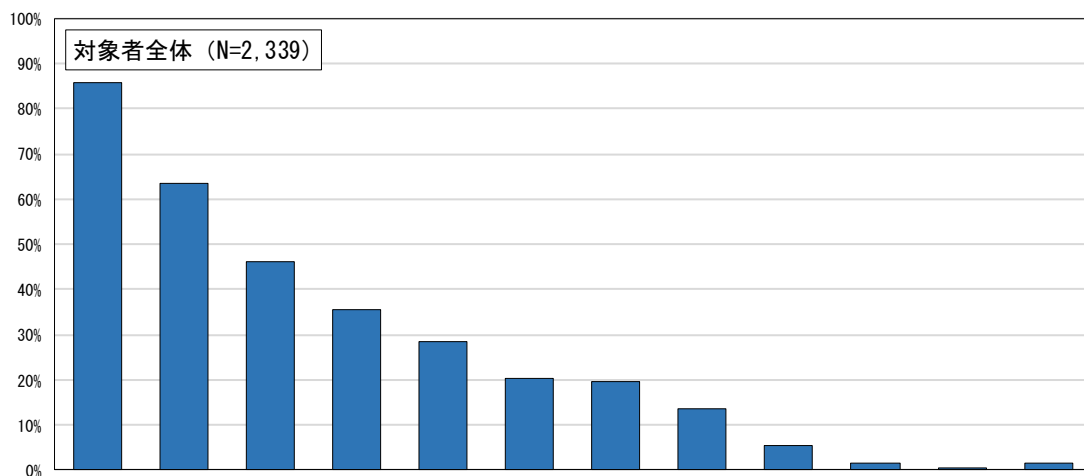
この設問には 427 人の方が回答を記載しました。回答の一部を紹介します。

- ソーラー充電器、電池各種（単3、単4を各10本程度）、ラジオ、トイレットペーパー（2週間分）、箱ティッシュ（1週間分）（女性・50代）
- 日用品（ティッシュやトイレットペーパー、ペットシート、ラップ等）3日以上（女性・50代）
- 割りばし30膳、スプーン100本、カセットコンロ（ボンベ3本）鍋、紙コップ、使い捨てどんぶり等の容器。私は東日本大震災の被災者なので、炊き出しはあっても容器が無くて困っている人を見ているから（男性・60代）
- カップ麺、飲み物は家族分2週間以上、発電機、ランプ、照明、ラジオ、ペット用品1週間分等（女性・60代）
- 懐中電灯、防水シート、リュックサック、ラジオ、電池、防寒シート、ホッカイロ、手袋、水筒、ビニール袋、ガムテープ（男性・60代）
- マスク30日分、生理用品3日分、ニトリル手袋2箱、中身の見えない袋20枚（黒）、アルコール2本、電池単3・単4各10本（女性・50代）
- 軍手、電池、歯ブラシ、歯磨き粉、スリッパ、モバイルバッテリー、チャッカマン、懐中電灯、ガス缶ストーブ（女性・40代）
- トイレットペーパー3日以上。ボックスティッシュ3日以上。生理用品3日以上。電灯6個以上（女性・50代）
- ポータブルガスストーブ、薪ストーブ（どちらも3日以上）、手回し充電ラジオ、アルミシート（男性・60代）
- 小銭（10円など3000円分位）、充電器、マスク（4日分）、スリッパ、洗面用品（男性・30代）
- 小さな子供がいるので粉ミルク、紙おむつ、おしり拭き（各3日以上）（女性・30代）
- インスタントのスープ、麺、レトルトのカレー、ご飯30日分（女性・60代）
- モバイルバッテリー2日分、LED照明器具3日分、乾電池3日分（女性・30代）
- カセットガス5日分、トイレットペーパー5日分（女性・50代）
- 薬（3日分）、モバイルバッテリー（2日分）（男性・50代）
- 除菌シート、無水シャンプー、マスク、タオル、薬3日以上（女性・50代）
- 紙皿、紙コップ、割りばし、ラップ、マスク、電池、各2～3日分（女性・40代）
- 電池、ライト、紙皿、紙コップ、軍手、長靴（全て3日以上です）（女性・40代）
- サランラップ、アルミホイル、ビニール袋を3日以上（女性・60代）
- 冬の間は灯油4リットル、カセットボンベ4日分（女性・20代）
- 薬1週間分、衛生用品1週間分など（男性・50代）
- 防災カバン2名分（女性・30代）

◇災害情報の入手手段

問14 あなたは、地震や風水害などの災害が発生または発生のおそれがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

災害情報の入手手段は、「テレビの速報やニュース」が85.7%



対象者数		テレビの速報やニュース	緊急速報メール (エリアメール)	インターネットのニュース	ラジオの速報やニュース	SNS	防災情報のアプリからの通知	新聞	家族等からの固定電話への連絡	知人等の口コミ	家族等からのFAXへの連絡	あてはまるものがない	無回答	
		(%)												
対象者全体		2,339	85.7	63.6	46.2	35.4	28.5	20.3	19.7	13.4	5.4	1.5	0.4	1.5
性別	男性	937	84.3	59.7	49.9	38.1	24.1	21.5	19.1	12.0	3.4	1.5	0.3	1.4
	女性	1,376	86.9	67.1	43.9	33.6	31.6	19.5	20.1	14.5	6.8	1.4	0.4	1.2
	その他	7	71.4	57.1	71.4	42.9	71.4	42.9	-	14.3	14.3	-	-	-
年代別	29歳以下	167	74.3	58.7	59.9	28.1	68.3	18.0	4.2	9.6	2.4	0.6	1.2	0.6
	30~39歳	218	80.3	71.1	66.5	25.7	60.6	25.2	5.0	9.6	5.0	0.9	-	0.5
	40~49歳	346	82.4	75.7	66.8	33.2	42.5	24.6	9.8	6.1	4.0	0.3	-	1.2
	50~59歳	414	85.5	77.1	62.1	34.5	29.0	23.2	13.8	9.7	4.3	0.7	0.2	1.0
	60~69歳	441	87.8	66.7	49.2	37.2	21.3	24.0	21.3	5.7	3.6	0.9	0.2	0.9
	70歳以上	735	90.9	48.8	17.4	40.3	8.0	13.7	34.6	25.7	8.4	3.0	0.5	2.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】災害情報の入手手段は、「テレビの速報やニュース」が85.7%、「緊急速報メール (エリアメール)」が63.6%、「インターネットのニュース」が46.2%となっている。

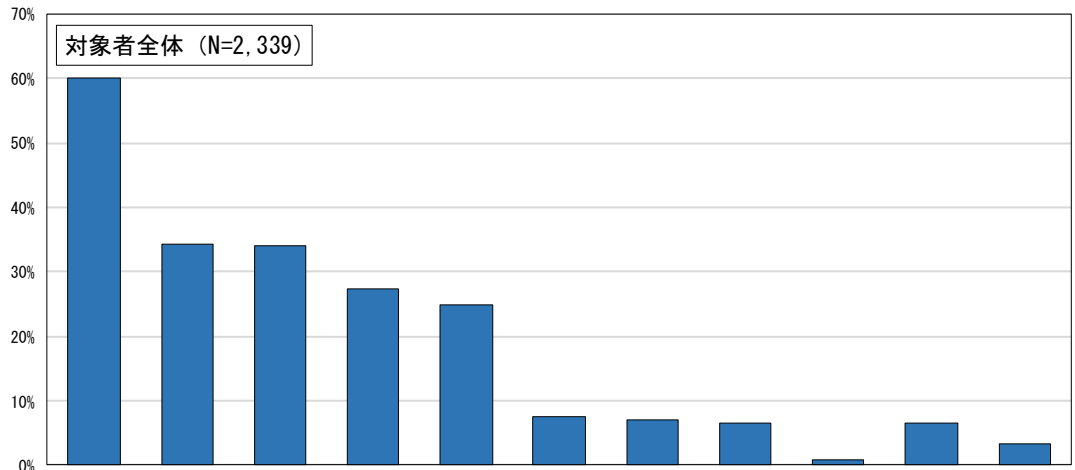
【性別】「インターネットのニュース」は、男性が49.9%と、女性の43.9%より6.0ポイント高くなっている。また、「緊急速報メール (エリアメール)」、「SNS」は、女性が男性より7.4ポイント以上高くなっている。

【年代別】「テレビの速報やニュース」、「新聞」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うもの

問15 あなたが、札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うものについて、あてはまるものにくつでも○をつけてください。

札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うものは、「テレビ、ラジオによる情報伝達」が59.9%



対象者数		テレビ、ラジオによる情報伝達	アプリやホームページによる情報伝達	SNSによる情報伝達	電子メールによる情報伝達	屋外拡声器による情報伝達	電子看板(デジタルサイネージ)による情報伝達	防災行政無線等の戸別受信機による情報伝達	電話、FAXによる情報伝達	その他	特になし	無回答	
(%)													
対象者全体	2,339	59.9	34.2	34.1	27.3	25.0	7.4	7.1	6.6	0.8	6.5	3.4	
性別	男性	937	58.9	35.4	32.4	29.5	21.6	8.8	5.7	7.5	1.1	7.9	1.9
	女性	1,376	60.8	33.5	35.5	26.1	27.4	6.6	8.1	6.0	0.6	5.7	3.9
	その他	7	71.4	42.9	57.1	14.3	42.9	14.3	28.6	-	-	-	-
年代別	29歳以下	167	40.7	41.3	58.7	21.6	20.4	10.2	3.6	2.4	0.6	12.6	-
	30~39歳	218	44.5	42.2	51.8	19.3	28.4	13.8	8.7	1.8	1.8	7.8	0.9
	40~49歳	346	47.7	46.5	50.9	25.4	24.6	13.6	6.9	2.0	1.4	7.2	1.4
	50~59歳	414	55.3	47.6	38.4	29.7	24.6	7.5	5.6	2.2	0.5	7.5	1.7
	60~69歳	441	65.1	38.3	32.2	36.7	24.7	7.0	7.0	2.5	0.7	5.0	1.1
	70歳以上	735	74.3	14.8	14.8	25.0	25.7	2.4	8.4	15.8	0.4	4.8	7.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うものは、「テレビ、ラジオによる情報伝達」が59.9%、「アプリやホームページによる情報伝達」が34.2%、「SNSによる情報伝達」が34.1%となっている。

【性別】「屋外拡声器による情報伝達」は、女性が27.4%と、男性の21.6%より5.8ポイント高くなっている。

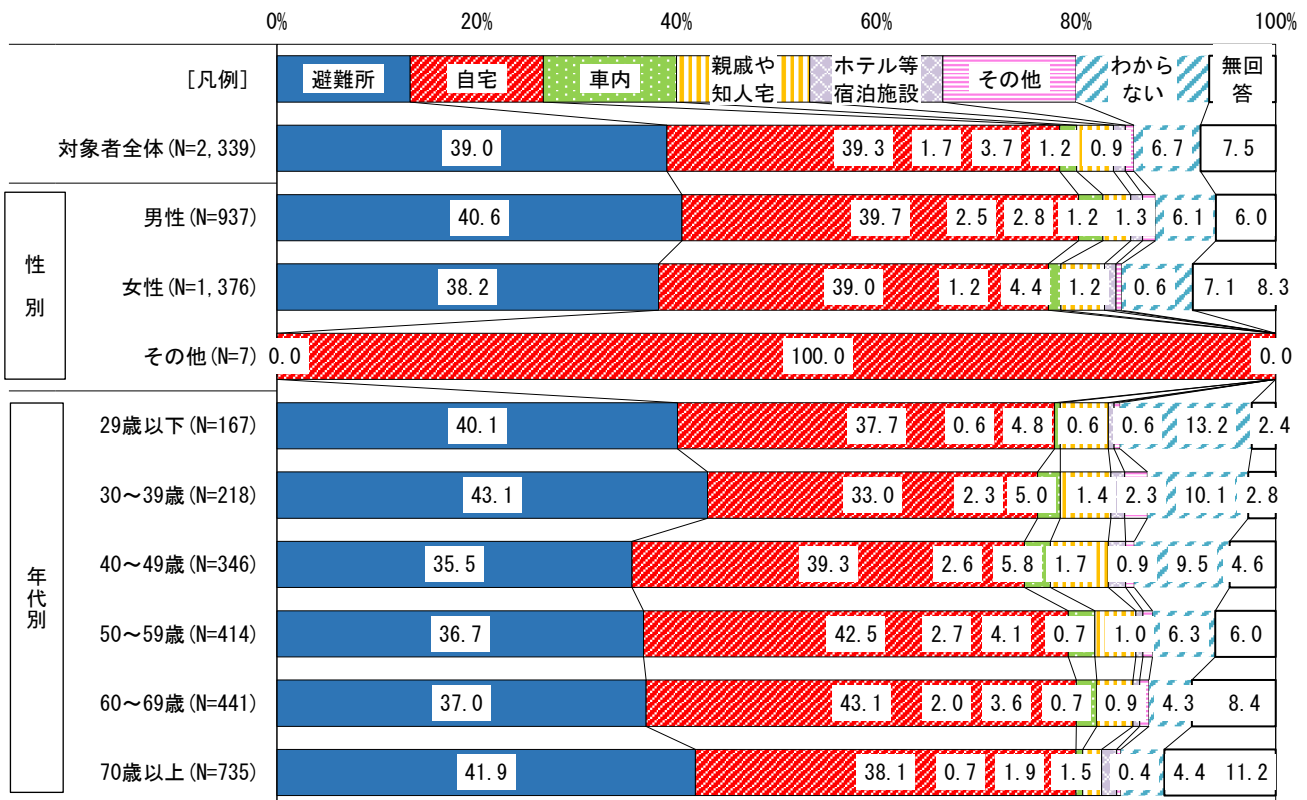
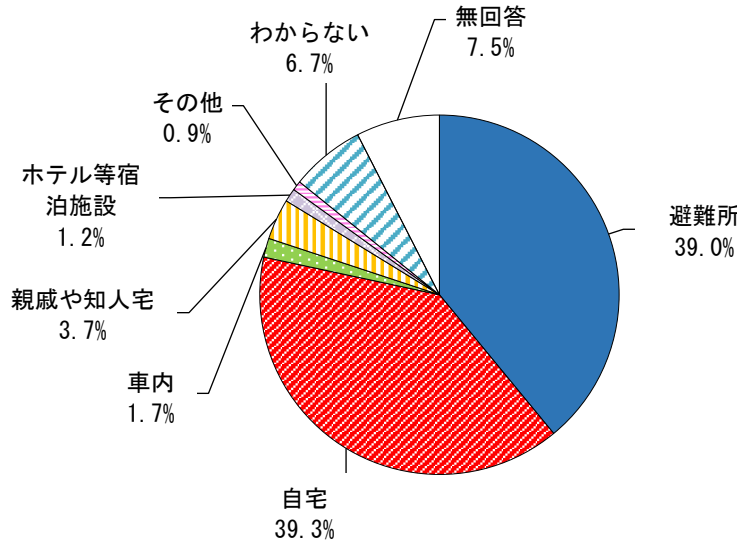
【年代別】「テレビ、ラジオによる情報伝達」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNSによる情報伝達」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇避難指示が発令された場合の避難場所

問 1 6 風水害（洪水や土砂災害など）が起き、自分の住む地域が災害のおそれが高い状況となった際に、札幌市から避難指示（高齢者等避難も含む）が発令された場合、あなたはどこへ避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

避難指示が発令された場合の避難場所は、「自宅」が 39.3%

対象者全体(N=2,339)



【全 体】避難指示が発令された場合の避難場所は、「自宅」が 39.3%、「避難所」が 39.0%、「親戚や知人宅」が 3.7%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

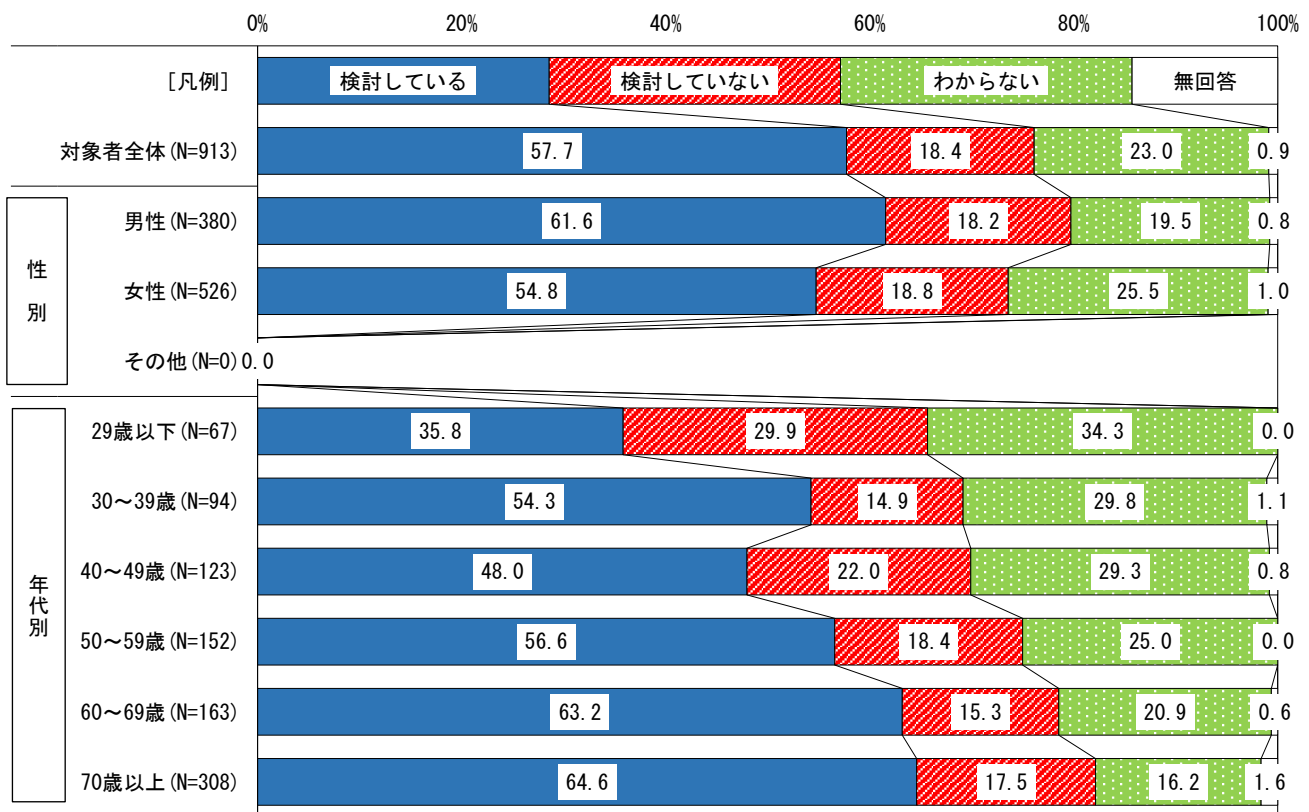
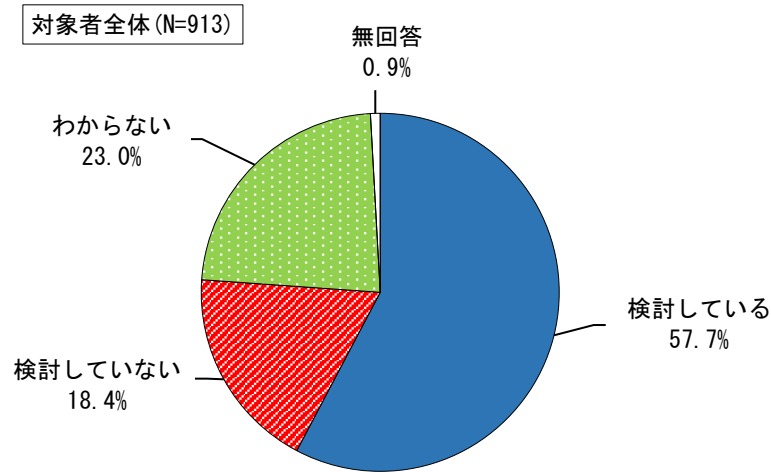
【年代別】29歳以下、30歳代、70歳以上では「避難所」が、40歳代、50歳代、60歳代では「自宅」が最も高くなっている。

◇垂直避難をふまえた避難場所の検討

《問16で「1 避難所」と答えた方にお聞きます。》

問16-1 あなたは、垂直避難をふまえた避難場所を検討していますか。あてはまるものに1だけ○をつけてください。

垂直避難をふまえた避難場所の検討は、「検討している」が57.7%



【全体】垂直避難をふまえた避難場所の検討は、「検討している」が57.7%、「検討していない」が18.4%となっている。

【性別】「検討している」は、男性が61.6%と、女性の54.8%より6.8ポイント高くなっている。また、「わからない」は、女性が25.5%と、男性の19.5%より6.0ポイント高くなっている。

【年代別】「検討している」が70歳以上(64.6%)で最も高く、最も低い29歳以下(35.8%)と比べると28.8ポイントの差となっている。

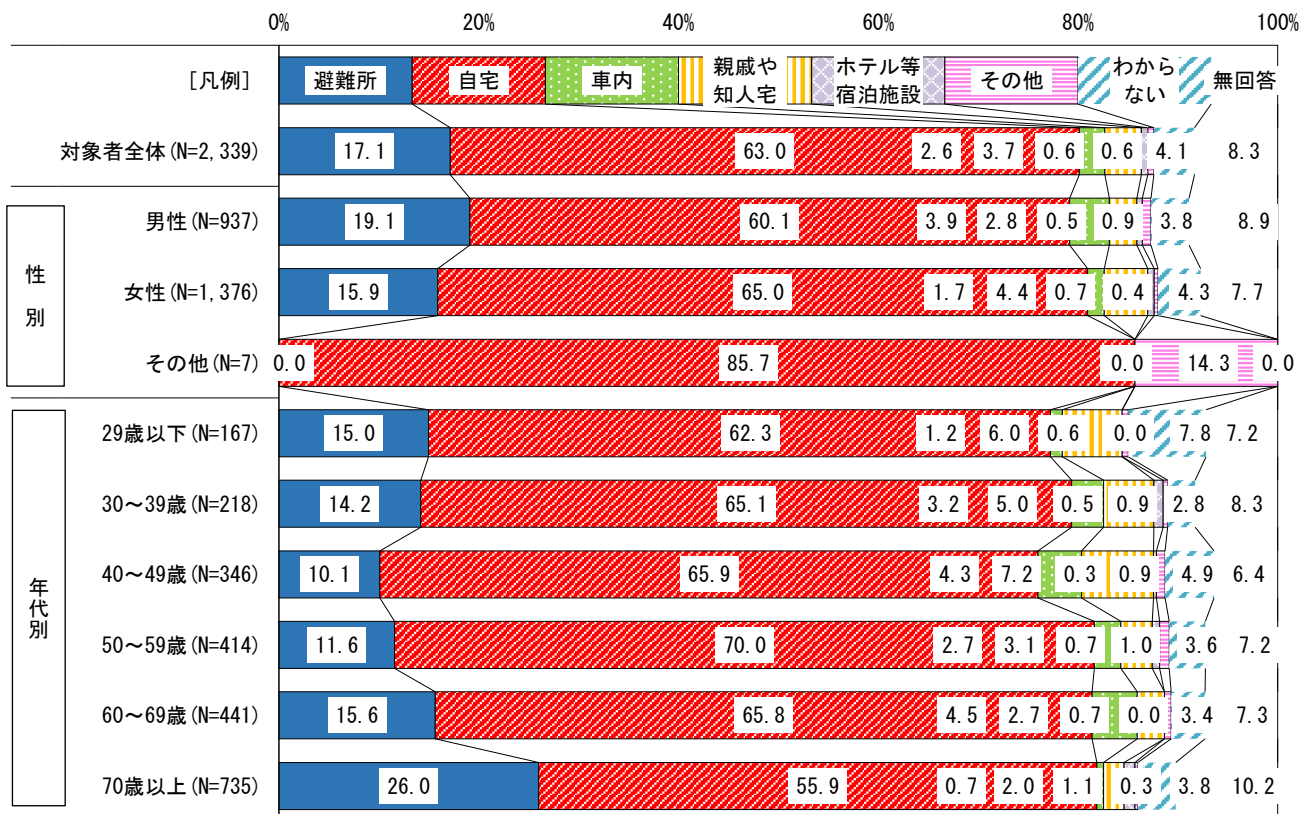
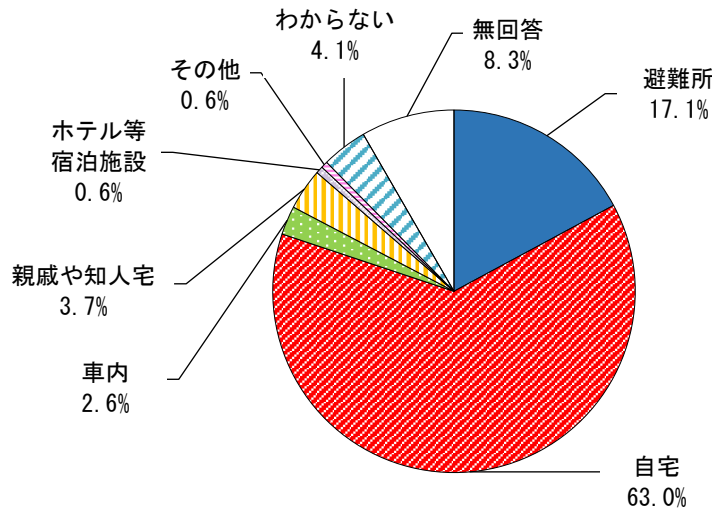
◇大きな地震が発生し、自宅の被害が少ない場合に、大規模な停電となったときの避難場所

《皆さまにお聞きます。》

問 1 7 大きな地震が発生し、自宅の被害がないまたは少ない場合において、大規模な停電となったとき、あなたはどこへ避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

大きな地震が発生し、自宅の被害が少ない場合に、大規模な停電となったときの避難場所は、「自宅」が63.0%

対象者全体 (N=2,339)



【全 体】大きな地震が発生し、自宅の被害が少ない場合に、大規模な停電となったときの避難場所は、「自宅」が63.0%、「避難所」が17.1%、「親戚や知人宅」が3.7%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

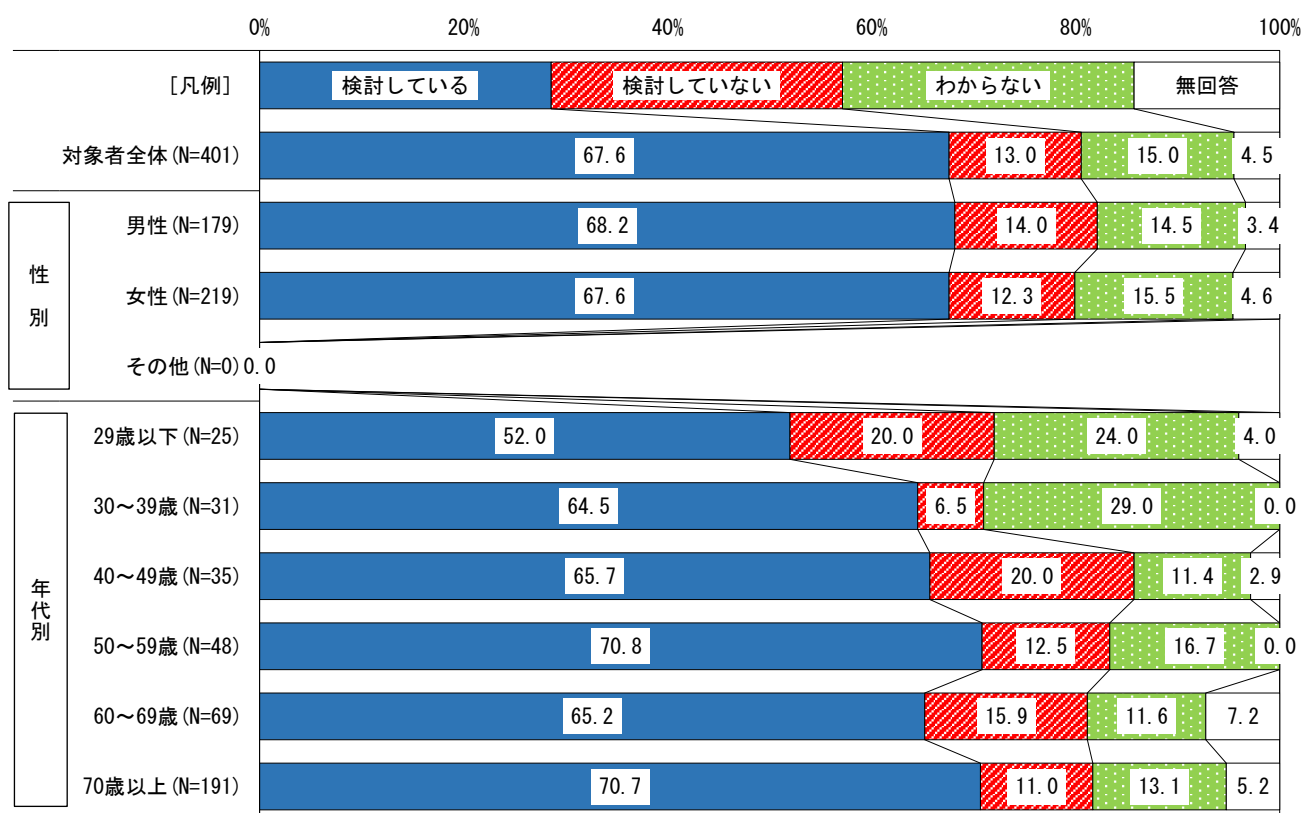
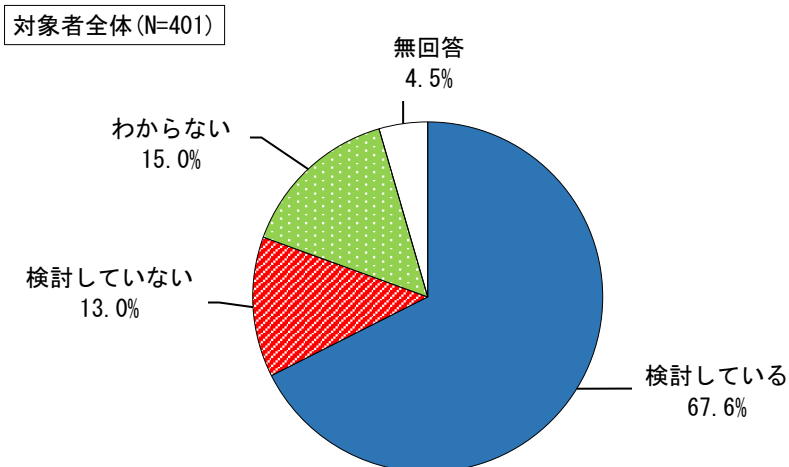
【年代別】「避難所」が70歳以上(26.0%)で最も高く、次いで60歳代(15.6%)、29歳以下(15.0%)となっている。

◇在宅避難をふまえた避難場所の検討

《問17で「1 避難所」と答えた方にお聞きします。》

問17-1 あなたは、在宅避難をふまえた避難場所を検討していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

在宅避難をふまえた避難場所の検討は、「検討している」が67.6%



【全 体】在宅避難をふまえた避難場所の検討は、「検討している」が67.6%、「検討していない」が13.0%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

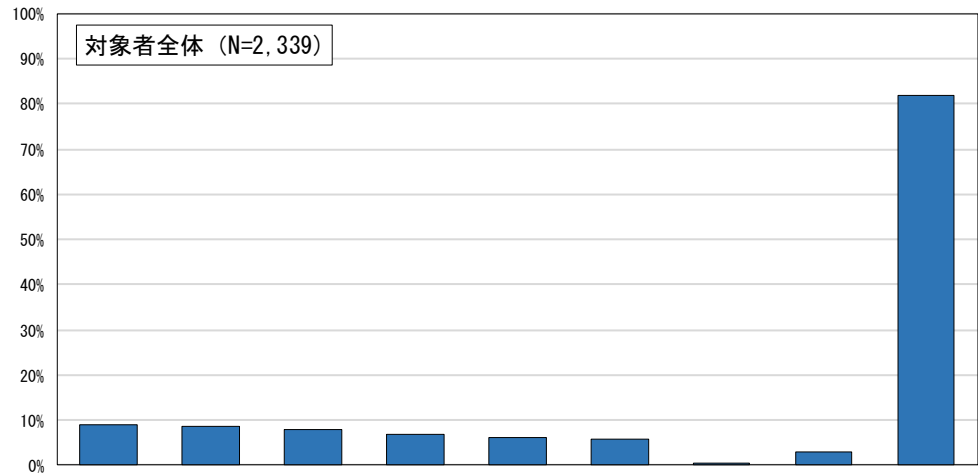
【年代別】「検討している」が50歳代(70.8%)で最も高く、次いで70歳以上(70.7%)、40歳代(65.7%)となっている。

◇子育て時の防災について知りたい情報

《0歳から小学6年生までの子どもを育てている方にお聞きします。》

問18 あなたは、子育て時の防災について、どのような情報を知りたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

子育て時の防災について知りたい情報は、「災害時に備えた子どもとの安否確認」が9.1%



		対象者数	災害時に備えた子どもとの安否確認	子どものための備蓄品	子どもとの避難先での過ごし方	子どものために家庭でできる防災対策	子育て時の避難のあり方	子育て世帯の災害対応などの事例紹介	その他	特になし	無回答
		(%)									
対象者全体		2,339	9.1	8.5	7.8	6.9	6.3	5.9	0.2	3.1	81.8
性別	男性	937	7.8	7.9	6.4	5.4	6.0	4.8	0.3	4.4	80.9
	女性	1,376	10.1	9.0	8.8	7.8	6.5	6.7	0.1	2.1	82.4
	その他	7	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年代別	29歳以下	167	9.0	13.8	15.0	9.6	16.2	10.2	-	4.2	71.9
	30～39歳	218	29.8	34.9	31.7	25.2	25.2	28.4	-	4.6	46.8
	40～49歳	346	26.0	19.1	17.3	18.8	12.1	13.3	1.2	4.3	56.6
	50～59歳	414	4.8	3.6	2.9	2.7	1.4	1.0	-	2.7	93.0
	60～69歳	441	2.3	1.6	1.8	1.1	2.3	1.1	-	2.7	93.0
	70歳以上	735	1.6	1.5	1.0	1.0	0.8	0.4	0.1	2.2	94.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】子育て時の防災について知りたい情報は、「災害時に備えた子どもとの安否確認」が9.1%、「子どものための備蓄品」が8.5%、「子どもとの避難先での過ごし方」が7.8%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

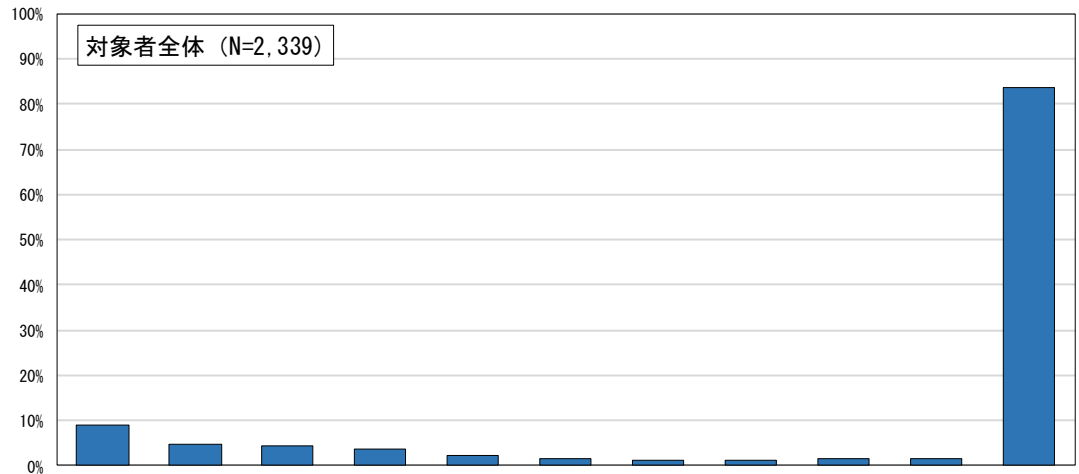
【年代別】29歳以下では「子育て時の避難のあり方」、30歳代では「子どもための備蓄品」、40歳代では「災害時に備えた子どもとの安否確認」が最も高くなっている。

◇防災のイベントや講演に参加しやすい場所

《引き続き、0歳から小学6年生までの子どもを育てている方にお聞きします。》

問19 あなたは、どのような場所であると防災のイベントや講演などに参加しやすいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災のイベントや講演に参加しやすい場所は、「学校」が9.0%



対象者数		学校	商業施設	児童会館	子育て支援センター	保健センター	図書館	市民防災センター	その他	どこでもいい	参加しやすい場所はない・わからない	無回答	
(%)													
対象者全体	2,339	9.0	4.9	4.4	3.7	2.1	1.7	1.3	1.3	1.4	1.7	83.7	
性別	男性	937	9.2	4.6	3.7	2.5	1.7	0.9	1.6	1.5	1.9	83.4	
	女性	1,376	9.0	5.1	4.8	4.5	2.4	2.2	0.9	1.2	1.5	83.9	
	その他	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
年代別	29歳以下	167	9.6	7.8	3.6	6.6	4.2	0.6	1.8	1.2	3.0	6.0	74.3
	30～39歳	218	28.0	13.8	18.3	18.8	9.6	6.4	1.4	5.0	4.6	3.7	49.1
	40～49歳	346	27.2	14.5	8.7	5.8	2.6	4.6	2.6	2.9	2.3	2.0	60.1
	50～59歳	414	4.1	2.7	2.4	0.7	0.7	0.7	0.7	1.0	0.7	0.2	93.0
	60～69歳	441	1.6	0.5	1.4	0.9	0.7	0.5	0.2	0.2	0.5	2.0	95.5
	70歳以上	735	2.0	1.0	1.2	0.8	0.8	0.3	1.2	0.4	0.7	0.5	95.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 防災のイベントや講演に参加しやすい場所は、「学校」が9.0%、「商業施設」が4.9%、「児童会館」が4.4%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「学校」が30歳代（28.0%）で最も高く、次いで40歳代（27.2%）、29歳以下（9.6%）となっている。

(3) 市政広報について

◇「広報さっぽろ」を読んでいる割合

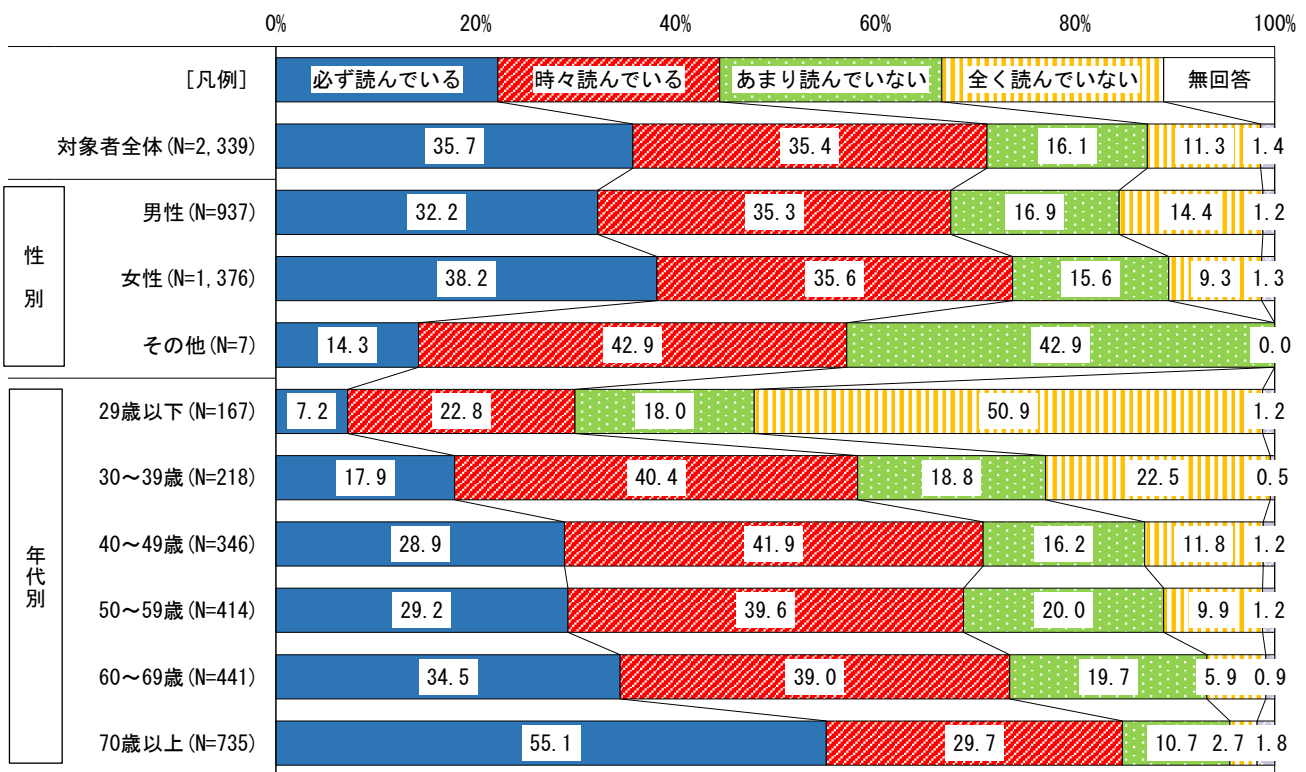
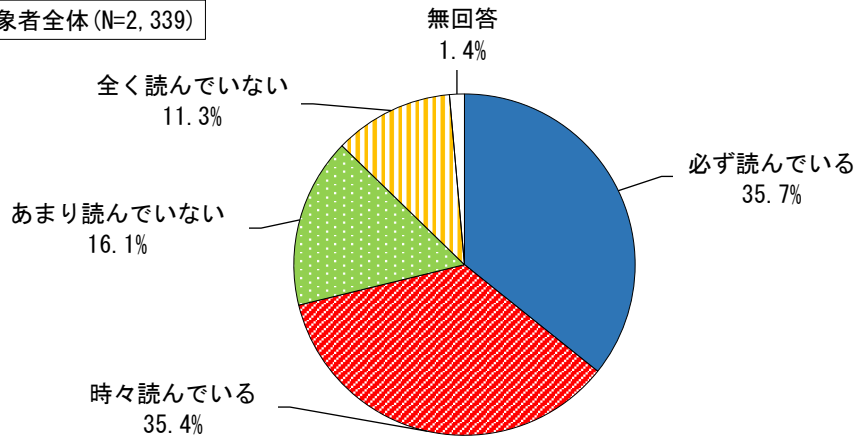
《皆さまにお聞きます。》

問20 あなたは、「広報さっぽろ」を読んでいますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください（ホームページや電子書籍で読んでいる場合も含まれます。）。

「広報さっぽろ」を“読んでいる”人は71.2%

“読んでいる” = (「必ず読んでいる」 + 「時々読んでいる」)

対象者全体(N=2,339)



【全体】「広報さっぽろ」を読んでいる割合は、「必ず読んでいる」が35.7%、「時々読んでいる」が35.4%、合わせると71.2%となっている。一方で、「あまり読んでいない」が16.1%、「全く読んでいない」が11.3%、合わせると27.4%となっている。

【性別】「全く読んでいない」は、男性が14.4%と、女性の9.3%より5.1ポイント高くなっている。また、「必ず読んでいる」は、女性が38.2%と、男性の32.2%より6.0ポイント高くなっている。

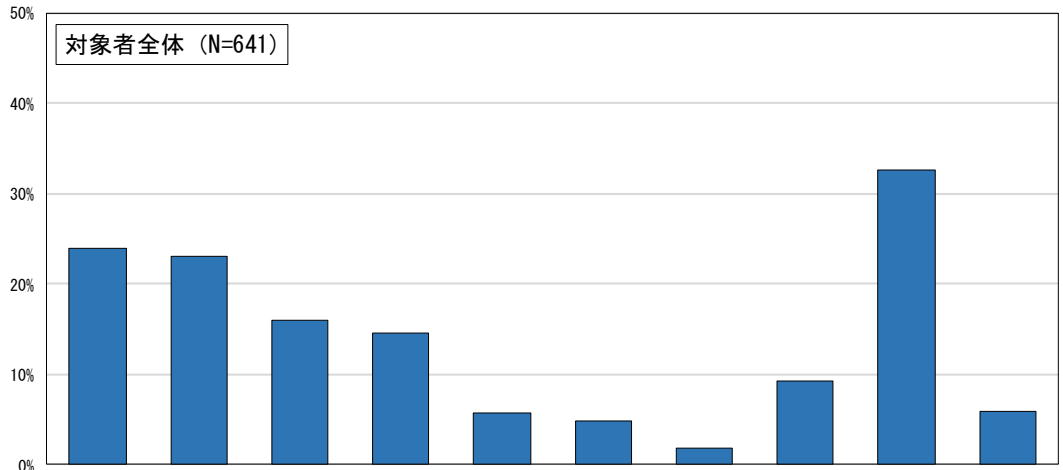
【年代別】「必ず読んでいる」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇「広報さっぽろ」を読んでいない理由

《問20で「3 あまり読んでいない」または「4 全く読んでいない」と答えた方にお聞きします。》

問20-1 あなたが、広報さっぽろを読んでいない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「広報さっぽろ」を読んでいない理由は、「自分の知りたい情報が掲載されていないから」が24.0%



	対象者数	理由 (%)									
		自分の知りたい情報が掲載されていないから	読む時間がないから	文字が多く、読む気になれないから	市政に関心がないから	各ページのデザインや文章などの構成が読みづらいから	市政情報は別の手段で入手しているから	表紙のデザインが好きではないから	その他	特に理由はない	無回答
対象者全体	641	24.0	23.1	15.9	14.5	5.8	4.8	1.9	9.2	32.6	5.9
性別	男性	28.7	20.8	11.9	13.3	5.5	5.1	2.4	7.2	34.5	7.8
	女性	20.4	25.1	19.5	15.2	5.5	4.4	1.2	10.8	31.5	4.4
	その他	3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-
年代別	29歳以下	13.0	33.0	13.9	21.7	2.6	1.7	2.6	7.8	35.7	2.6
	30～39 歳	25.6	31.1	20.0	12.2	2.2	4.4	-	7.8	24.4	3.3
	40～49 歳	25.8	32.0	15.5	14.4	5.2	6.2	1.0	9.3	22.7	7.2
	50～59 歳	25.8	24.2	15.3	13.7	4.8	4.8	0.8	8.1	31.5	8.1
	60～69 歳	31.0	10.6	15.9	12.4	9.7	6.2	1.8	9.7	37.2	4.4
	70 歳以上	24.2	9.1	16.2	11.1	9.1	6.1	4.0	12.1	42.4	10.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】「広報さっぽろ」を読んでいない理由は、「自分の知りたい情報が掲載されていないから」が24.0%、「読む時間がないから」が23.1%、「文字が多く、読む気になれないから」が15.9%となっている。

【性別】「自分の知りたい情報が掲載されていないから」は、男性が28.7%と、女性の20.4%より8.3ポイント高くなっている。また、「文字が多く、読む気になれないから」は、女性が19.5%と、男性の11.9%より7.6ポイント高くなっている。

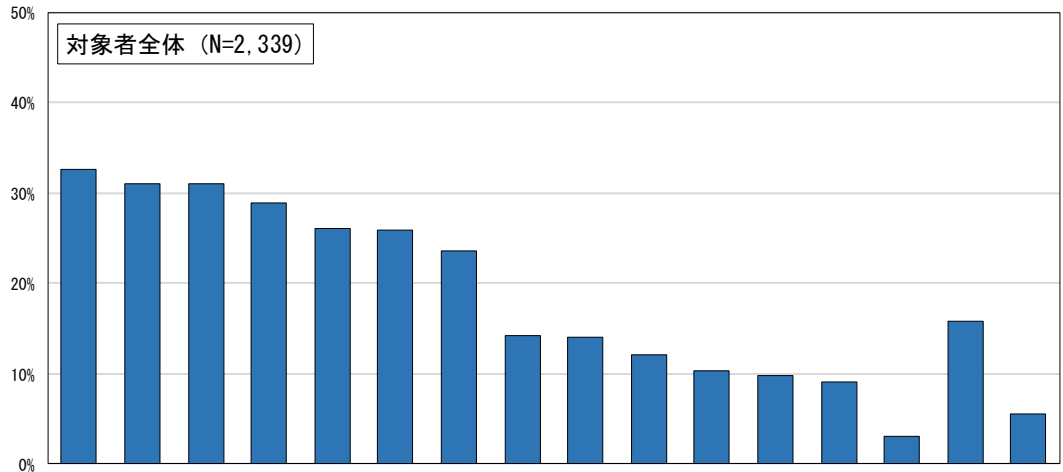
【年代別】50歳代、60歳代、70歳以上では「自分の知りたい情報が掲載されていないから」が、30歳代、40歳代では「読む時間がないから」が最も高くなっている。

◇「広報さっぽろ」で今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマ

《皆さまにお聞きます。》

問 2 1 あなたが、広報さっぽろで今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「広報さっぽろ」で今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマは、「防災」が 32.7%



対象者数		防災	地域のまちづくり活動	公共施設	健康・食	高齢者福祉	ごみ	文化・芸術	環境・エネルギー	子ども・子育て	スポーツ	教育	障がい者福祉	ボランティア	その他	特にない	無回答	
		(%)																
対象者全体		2,339	32.7	31.0	31.0	29.0	26.1	26.0	23.6	14.2	14.1	12.1	10.3	9.8	9.0	3.0	15.9	5.5
性別	男性	937	32.6	32.2	30.6	24.1	24.5	23.6	19.5	15.6	12.2	14.7	9.3	9.4	8.1	3.6	18.0	5.1
	女性	1,376	32.9	30.1	31.0	32.6	27.1	27.6	26.3	13.2	15.3	10.3	10.6	10.0	9.4	2.4	14.6	5.3
	その他	7	57.1	71.4	71.4	14.3	14.3	28.6	71.4	14.3	28.6	28.6	57.1	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3
年代別	29歳以下	167	18.6	18.6	24.6	21.6	6.6	8.4	19.8	4.8	17.4	13.2	13.8	5.4	8.4	3.6	30.5	4.2
	30～39 歳	218	28.9	28.0	33.0	32.1	4.1	19.7	19.7	8.7	44.0	16.5	20.6	5.5	9.2	4.6	17.0	4.1
	40～49 歳	346	35.5	26.9	32.9	31.2	12.4	28.3	22.8	14.7	32.9	15.6	23.4	11.6	9.8	4.0	12.7	4.3
	50～59 歳	414	37.9	29.2	36.0	27.1	17.4	29.0	30.2	15.9	6.8	14.5	7.0	8.7	8.0	4.8	16.4	3.1
	60～69 歳	441	36.5	35.8	32.4	27.9	29.5	26.1	29.9	14.7	7.7	14.3	6.8	8.4	11.1	2.0	15.0	4.8
	70 歳以上	735	30.9	35.0	27.5	30.9	46.4	29.0	18.8	16.2	3.4	6.4	3.9	12.5	7.9	1.4	14.1	7.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「広報さっぽろ」で今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマは、「防災」が 32.7%、「地域のまちづくり活動」、「公共施設」が 31.0%となっている。

【性 別】「健康・食」、「文化・芸術」は女性が男性より 6.8 ポイント以上高くなっている。

【年代別】40 歳代、50 歳代、60 歳代では「防災」が、70 歳以上では「高齢者福祉」が、30 歳代では「子ども・子育て」が最も高くなっている。

◇「広報さっぽろ」で読んでみたい特集記事の(具体的な)内容

《問21で「1」から「14」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問21-1 あなたは、問21で答えたテーマについて、具体的にどのような特集記事を読んでみたいと思いますか。お考えがあれば、ご自由にお書きください。

この設問には570の方が回答を記載しました。回答の一部を紹介します。

- 地域の安全安心に関する情報、地域の事件事例と対策等(体験談含む)(男性・70代)
- 一人暮らしに向けた防災特集(大学生など若い人たちに向けて)(女性・20代)
- 災害時に対する具体的な備品、あれば便利な物品。災害発生時の知恵(例:照明の作り方、冬対策、食事の作り方、救急処置等)(男性・60代)
- ゴミステーションの状況と改善策の取り組み。ごみが散乱している事が多くみられる(男性・50代)
- 電池などの捨て方がよく分からないゴミもあるので、普段、収集車で回収しないゴミについて確認の意味も込めて取り上げてほしい(男性・30代)
- 地域コミュニティにおける共助の取り組みや、携わっている団体・個人の特集。ゴミ、リサイクルの方法など環境問題の特集(女性・60代)
- まちづくり活動の具体的な活動内容や参加者の年齢層などの情報(男性・30代)
- 気軽に参加できるイベントなど関連付けて特集してもらえるとより興味を持ちやすいし、身近な事ととらえられる(女性・50代)
- 市内にある公共施設がどのような場所なのか、特集があれば利用してみたい(女性・30代)
- 子供の病気や子育ての悩みに対するアドバイスや実体験のインタビュー記事(女性・30代)
- 病気やケガからどの様に社会復帰したのかの体験談など(男性・50代)
- 障がい者福祉について、身体的、精神的、難病の人達の就労状況・雇用情報について載せてほしい(男性・40代)
- 元気な高齢者の活動の場や不登校、ひきこもり等の人が活躍できる場の情報(女性・40代)
- 気軽にできるボランティアがあれば参加してみたいので、情報があれば助かる(女性・50代)
- 札幌市の所管するインフラの状態(男性・70代)
- 札幌市の歴史を継続的に掲載してほしい。北海道開拓150年余の視点から歴史を今一度見たい(男性・70代)
- 北海道にゆかりのある芸能人との交流(文化・芸術)(男性・50代)
- ダイエット料理の方法、病気の時の料理とか高血圧の防止料理方法(男性・60代)
- あまり知られていない自由に利用できる公共施設(女性・40代)
- 地域の新店開店、閉店などの情報(女性・10代)
- 関心のあることも大切だが、市民教育としての活用も考えるべきだと思う。他人の迷惑をかけないためのルール等、モラルを啓発する取り組みに積極的になることも行政の役割だと思う(女性・50代)

◇「広報さっぽろ」の誌面リニューアルについて感じたこと

《皆さまにお聞きします。》

問 2 2 広報さっぽろは、令和5年5月号から表紙や連載のデザイン変更、本文フォントの統一など、誌面をリニューアルしました。どのように感じたか、お考えがあればご自由にお書きください。

この設問には 420 の方が回答を記載しました。回答の一部を紹介します。

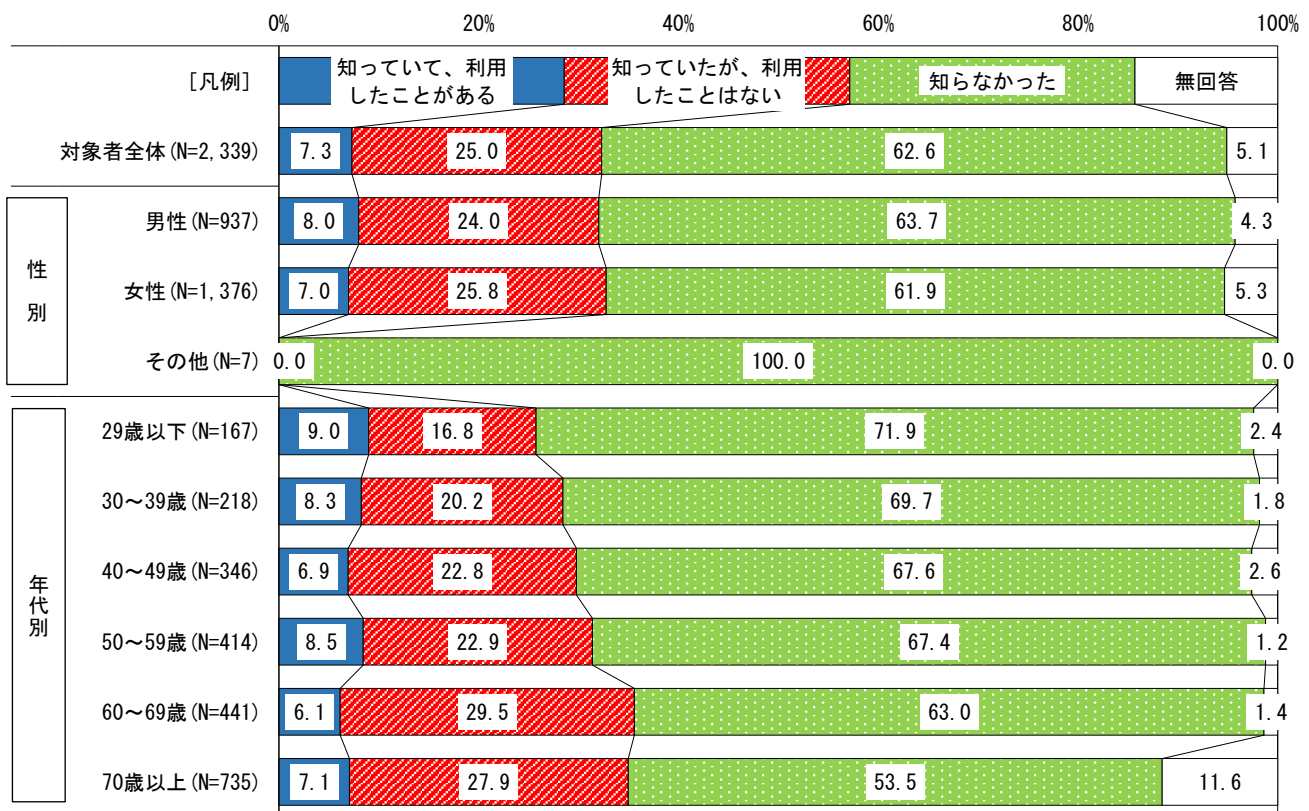
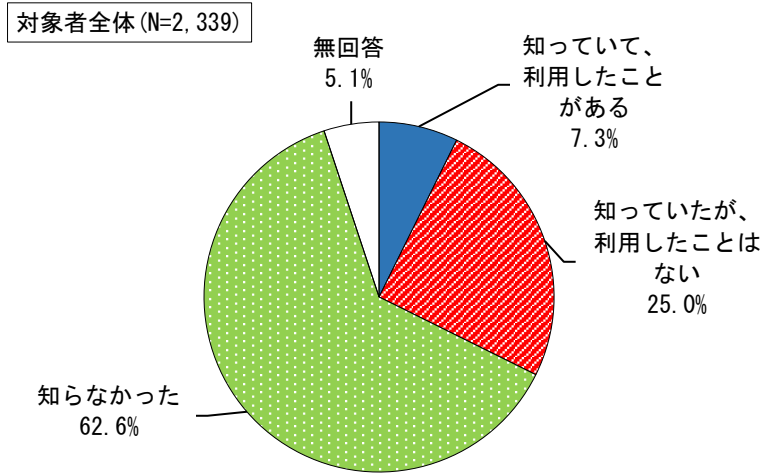
- 表紙が親しみやすく感じられる（女性・70代）
- 読みやすいと感じる。表紙は風景だけでなく植物、動物、アート作品などジャンルを限定せず楽しい物にしていくとよいと思う（女性・70代）
- 身近な区ごとの写真が表紙になると嬉しい。キャラクターは子供に人気なので沢山利用してほしい（女性・70代）
- とても感じが良い。以前と比べるとセンスが良く、読んでみようかなという気にさせられる（女性・75歳以上）
- 以前のものに慣れていたので、少し違和感があるが、これも次第に慣れるのかなと思う（男性・30代）
- カラーページが増え、お年寄り、子供なども手に取りやすくなったと思う（女性・50代）
- 表紙や紙面がカラフルになって明るい印象になった（女性・30代）
- 長い文章ばかりだと読みづらいが、漫画や写真もあり読みやすくなった（女性・70代）
- リニューアルはとても良かったと思う。新しいことへ挑戦する気持ちを感じた（女性・50代）
- 50代なので字が太く、濃いと見やすい。工夫されていると思う（女性・50代）
- へえそうなんだというのが正直なところで、とても見やすくなったなど劇的な変化は感じていない（女性・40代）
- 良くなったと思う。前より今っぽくスタイリッシュになった（女性・40代）
- ポップさが増して、親しみやすい感じがする（女性・40代）
- 若々しい感じがして、とても良いと思う（女性・50代）
- カジュアルな感じで見たいと思えるようになった（女性・40代）
- 字が見やすくなった（フォントを変えたのですね）（女性・50代）
- 内容が整理され、見やすくなった（女性・75歳以上）
- リニューアルについて知らない。気が付いていない市民は大勢いると思う。アピール不足（男性・70代）
- リニューアルしたことに全然気づいていなかったが、自然に読みやすいデザインだったから気づかなかったような気がする（男性・20代）
- シンプルで良いと思うが以前よりも内容が少なく、もったいないと感じる（女性・50代）
- 見やすいが特集ページなどもっと変化や面白さもたまには見たい（女性・40代）
- アプリでいつでも見られると、紙媒体の広報誌より読むと思う（女性・50代）

◇「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知度

問23 あなたは、札幌市からのお知らせ情報が地上デジタルテレビの「データ放送」で配信されていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌市からのお知らせ情報が「データ放送」で配信されていることを「知っていた」人は32.3%

“知っていた” = (「知っていて、利用したことがある」 + 「知っていたが、利用したことはない」)



【全体】「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知度は、「知っていて、利用したことがある」が7.3%、「知っていたが、利用したことはない」が25.0%、合わせると32.3%となっている。一方で、「知らなかつた」は62.6%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

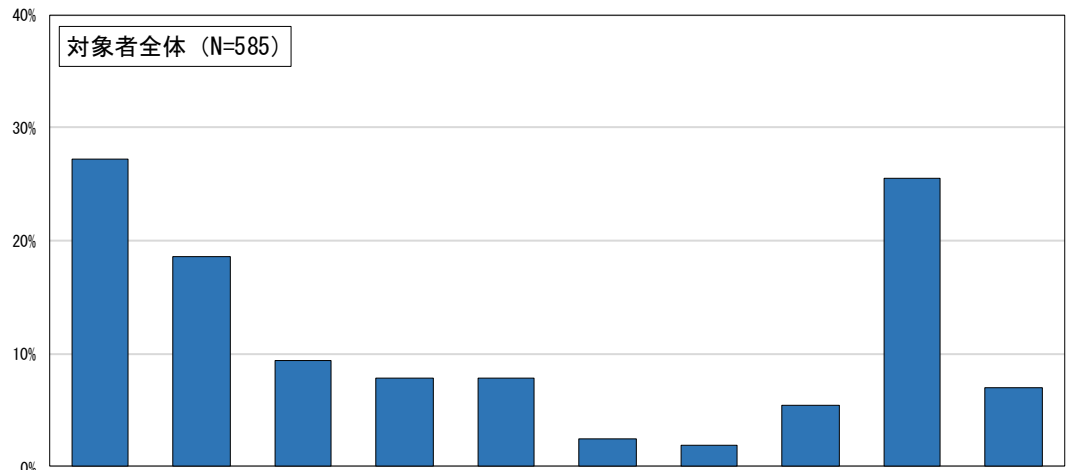
【年代別】「知らなかつた」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇「データ放送」で札幌市からのお知らせを利用したことがない理由

《問23で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問23-1 あなたが、地上デジタルテレビの「データ放送」で、札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「データ放送」で札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は、「データ放送を見ないから」が27.2%



対象者数	データ放送を見ないから	札幌市からのお知らせ情報は別の手段で入手しているから	データ放送の見方が分からないから	札幌市からのお知らせ情報を見たいと思わないから	札幌市からのお知らせ情報を見る時間がないから	札幌市からのお知らせ情報を見つけれないから	テレビを持っていないから	その他	特に理由はない	無回答	
(%)											
対象者全体	585	27.2	18.6	9.4	7.9	7.9	2.4	1.9	5.5	25.5	7.0
性別											
男性	225	25.8	19.6	8.4	11.1	3.6	2.7	2.2	8.0	27.6	5.3
女性	355	28.2	18.3	10.1	5.9	10.7	2.3	1.7	3.9	24.5	7.0
その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別											
29歳以下	28	46.4	14.3	-	10.7	14.3	-	3.6	10.7	7.1	7.1
30～39歳	44	31.8	22.7	4.5	13.6	13.6	-	6.8	6.8	13.6	2.3
40～49歳	79	30.4	20.3	2.5	11.4	13.9	1.3	1.3	6.3	17.7	6.3
50～59歳	95	33.7	15.8	3.2	10.5	11.6	1.1	-	6.3	29.5	4.2
60～69歳	130	24.6	20.8	3.8	9.2	8.5	2.3	1.5	3.1	30.8	4.6
70歳以上	205	21.0	18.0	21.0	2.9	1.5	4.4	2.0	5.4	28.3	10.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】「データ放送」で札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は、「データ放送を見ないから」が27.2%、「札幌市からのお知らせ情報は別の手段で入手しているから」が18.6%、「データ放送の見方が分からないから」が9.4%となっている。

【性別】「札幌市からのお知らせ情報を見たいと思わないから」は、男性が11.1%と、女性の5.9%より5.2ポイント高くなっている。また、「札幌市からのお知らせ情報を見る時間がないから」は、女性が10.7%と、男性の3.6%より7.1ポイント高くなっている。

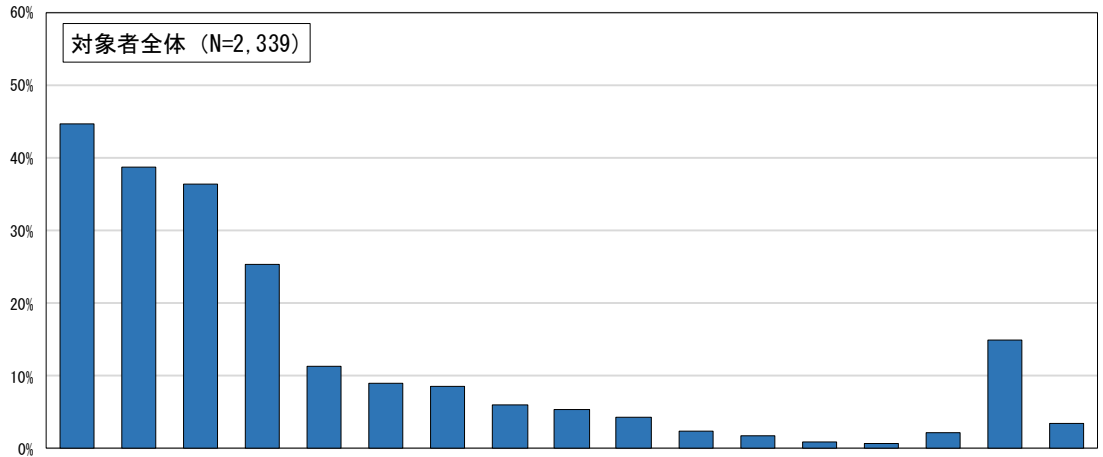
【年代別】「データ放送を見ないから」が29歳以下(46.4%)で最も高く、次いで50歳代(33.7%)、30歳代(31.8%)となっている。

◇市が行っているイベント情報の入手方法

《皆さまにお聞きます。》

問24 あなたは市が行っているイベントの情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるもの
にいくつでも○をつけてください。

市が行っているイベント情報の入手方法は、「新聞・テレビなどの報道」が44.7%



対象者数		新聞・テレビなどの報道	広報さっぽろの区民のページ	広報さっぽろの全市版	フリーペーパー（ふりっぱー）	札幌市公式ホームページ	イベントを開催する施設が発行する印刷物	さっぽろ10区（トーク）	札幌市公式LINE（ライン）	地上デジタルテレビのデータ放送	札幌市公式以外のホームページ、LINE、Instagram、Facebook、Twitter、	札幌市公式Twitter（ツイッター）	イベント情報冊子「イベント情報はこちらでチェック 札幌市からのお知らせ」	札幌市公式Instagram（インスタグラム）	札幌市公式Facebook（フェイスブック）	その他	入手していない	無回答	
		(%)																	
対象者全体	2,339	44.7	38.7	36.3	25.3	11.2	8.9	8.6	6.1	5.4	4.4	2.4	1.8	1.0	0.6	2.2	15.0	3.5	
性別	男性	937	43.1	35.5	36.0	20.1	13.7	6.6	7.3	4.5	5.7	3.4	2.6	1.5	0.9	1.8	17.9	3.3	
	女性	1,376	45.9	41.0	36.7	28.8	9.7	10.3	9.2	7.3	5.2	5.2	2.4	2.0	1.1	0.7	2.4	13.1	3.2
	その他	7	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-
年代別	29歳以下	167	23.4	9.0	12.0	16.2	11.4	8.4	3.6	6.6	7.2	14.4	7.8	-	3.6	1.8	6.0	36.5	0.6
	30～39歳	218	24.8	25.2	25.2	35.8	12.4	12.8	3.2	8.3	8.7	11.0	5.5	0.5	2.8	0.9	3.7	22.5	1.8
	40～49歳	346	37.9	33.2	39.0	34.7	13.6	14.5	7.5	8.7	3.8	9.0	4.0	2.0	1.2	1.7	4.3	13.9	1.7
	50～59歳	414	51.0	33.8	38.9	27.8	13.5	9.4	9.2	7.5	4.1	2.9	1.7	1.2	1.0	0.5	1.0	15.5	1.2
	60～69歳	441	49.2	44.9	37.6	26.5	14.7	7.3	12.2	7.9	4.5	0.9	1.1	2.0	-	-	1.4	12.0	2.5
	70歳以上	735	52.7	51.3	41.9	17.8	6.5	5.9	8.8	2.4	6.1	1.1	0.8	2.6	0.4	0.3	1.1	9.9	6.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】市が行っているイベント情報の入手方法は、「新聞・テレビなどの報道」が44.7%、「広報さっぽろの区民のページ」が38.7%、「広報さっぽろの全市版」が36.3%となっている。

【性別】「広報さっぽろの区民のページ」、「フリーペーパー（ふりっぱー）」は女性が男性より5.5ポイント以上高くなっている。

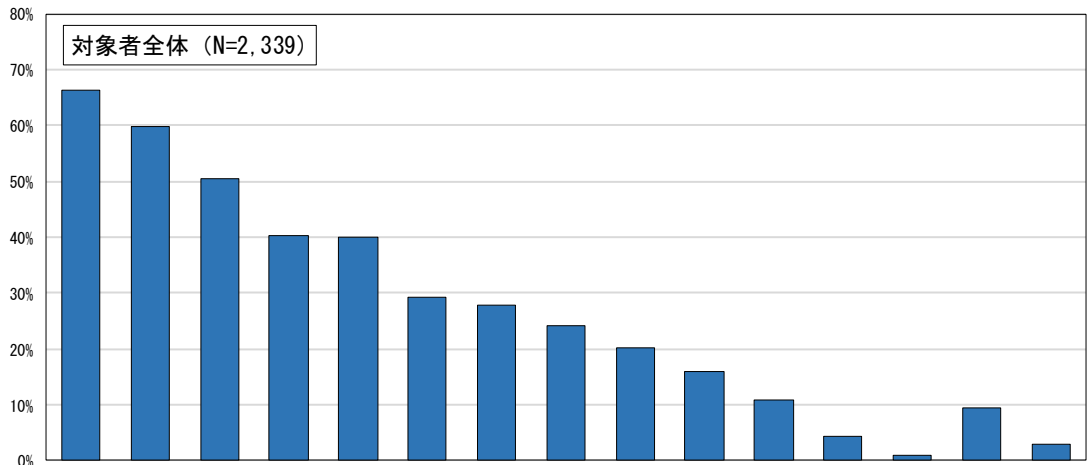
【年代別】「広報さっぽろの区民のページ」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「札幌市公式Twitter（ツイッター）」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

(4)札幌の農業について

◇札幌の農業について知っていること

問25 あなたが、札幌の農業について知っていることはどのようなことですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の農業について知っていることは、「市内に農地があり、農家がいること」が66.2%



対象者数		市内に農地があり、農家がいること	札幌黄(たまねぎ)や札幌大球(キャベツ)、サトホロ(いちご)など、札幌ゆかりの野菜	小売店での札幌産農産物の販売	農家の直売所やマルシェ	農業体験交流施設「さとらんど」	区画割りされた農地を借りる「市民農園」	飲食店での札幌産農産物の提供	学校給食での札幌産農産物の提供	収穫などが体験できる「観光農園」	農家の飲食店(カフェやレストランなど)	一連の農作業が体験・学習できる「農業体験農園」	札幌産農産物を表示する「さつぽろとれたてっこマーク」	その他	知っていることはない	無回答	
		(%)															
対象者全体		2,339	66.2	59.8	50.5	40.3	39.9	29.3	27.9	24.1	20.2	16.1	10.9	4.3	1.0	9.5	2.9
性別	男性	937	68.1	58.0	46.0	32.7	34.4	25.1	25.7	19.4	17.4	12.7	10.1	3.6	1.3	12.1	2.6
	女性	1,376	65.2	61.1	53.9	45.9	44.0	32.0	29.4	27.1	22.2	18.4	11.3	4.7	0.8	7.8	2.6
	その他	7	100.0	85.7	100.0	57.1	42.9	85.7	71.4	57.1	28.6	42.9	28.6	14.3	-	-	-
年代別	29歳以下	167	50.9	31.7	41.9	35.9	39.5	10.8	37.7	31.7	14.4	22.8	9.6	1.8	-	22.2	-
	30~39歳	218	55.5	46.8	45.4	46.3	55.5	23.9	29.4	27.1	24.8	20.2	13.3	2.8	0.5	15.1	1.4
	40~49歳	346	67.6	63.0	47.4	43.9	51.4	32.1	37.6	38.7	24.3	21.4	13.9	3.8	0.3	8.7	0.9
	50~59歳	414	77.3	68.4	54.8	46.4	51.0	36.2	32.6	26.3	26.3	19.1	11.8	3.9	-	6.8	0.2
	60~69歳	441	75.1	63.5	58.3	42.9	40.4	35.8	28.1	21.8	21.5	16.1	12.5	4.5	1.1	7.0	1.4
	70歳以上	735	61.1	61.9	49.3	33.6	23.9	26.3	18.4	14.7	14.3	9.4	7.5	5.7	2.2	8.6	6.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の農業について知っていることは、「市内に農地があり、農家がいること」が66.2%、「札幌黄(たまねぎ)や札幌大球(キャベツ)、サトホロ(いちご)など、札幌ゆかりの野菜」が59.8%、「小売店での札幌産農産物の販売」が50.5%となっている。

【性別】「小売店での札幌産農産物の販売」、「農家の直売所やマルシェ」、「農業体験交流施設「さとらんど」」、「区画割りされた農地を借りる「市民農園」」、「学校給食での札幌産農産物の提供」、「農家の飲食店(カフェやレストランなど)」は女性が男性より5.7ポイント以上高くなっている。

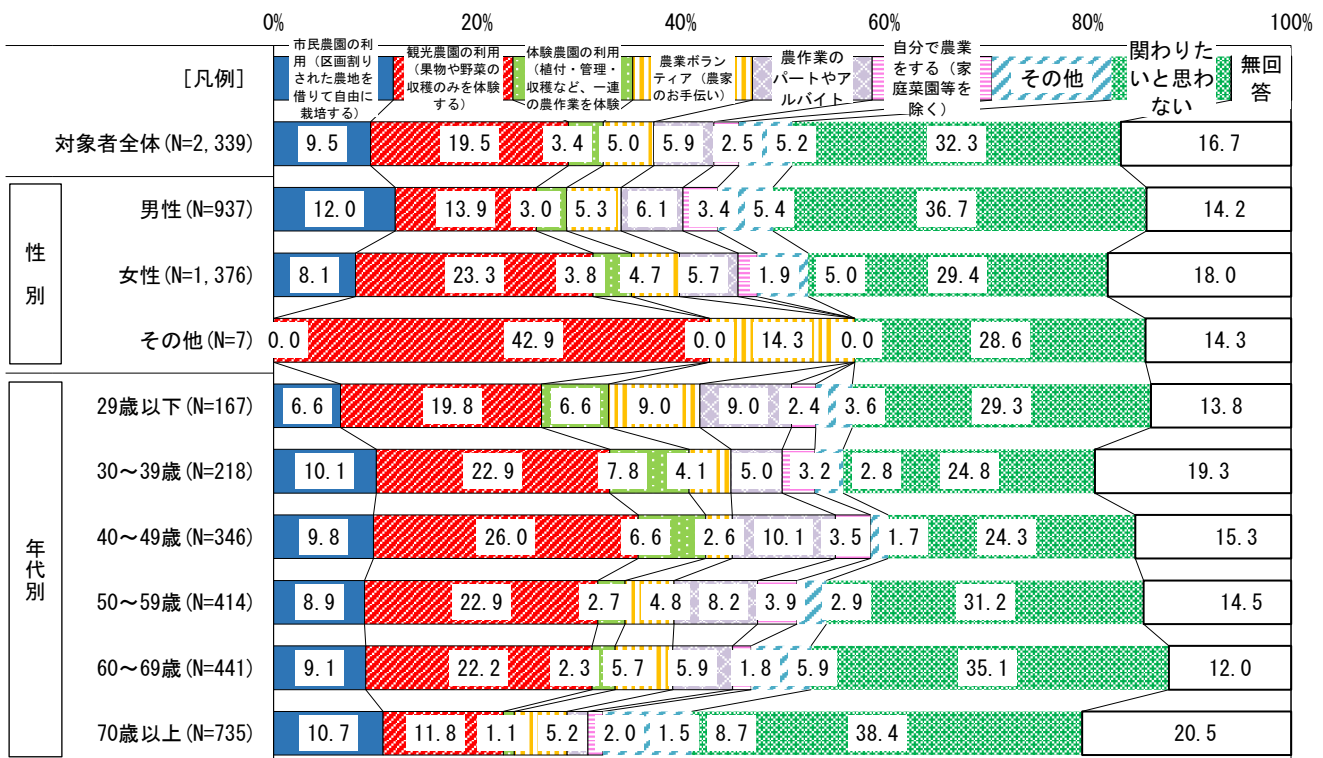
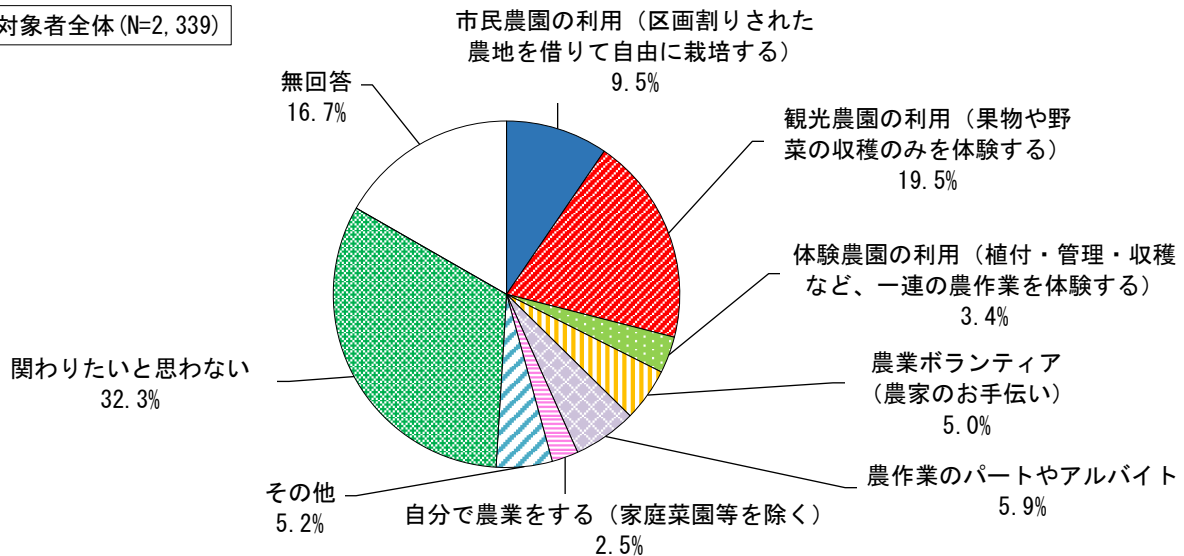
【年代別】「農業体験交流施設「さとらんど」」が30歳代(55.5%)で最も高く、最も低い70歳以上(23.9%)と比べると31.6ポイントの差となっている。

◇今後農業に関わるとしたら、どのように関わりたいか

問26 あなたが、今後、農業に関わるとしたら、どのような形で関わりたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

今後農業に関わるとしたら、どのように関わりたいかは、「観光農園の利用（果物や野菜の収穫のみを体験する）」が19.5%

対象者全体 (N=2,339)



【全体】 今後農業に関わるとしたら、どのように関わりたいかは、「観光農園の利用（果物や野菜の収穫のみを体験する）」が19.5%、「市民農園の利用（区画割りされた農地を借りて自由に栽培する）」が9.5%、「農作業のパートやアルバイト」が5.9%となっている。

【性別】 「関わりたくない」は男性が36.7%と、女性の29.4%より7.3ポイント高くなっている。また、「観光農園の利用（果物や野菜の収穫のみを体験する）」は、女性が23.3%と、男性の13.9%より9.4ポイント高くなっている。

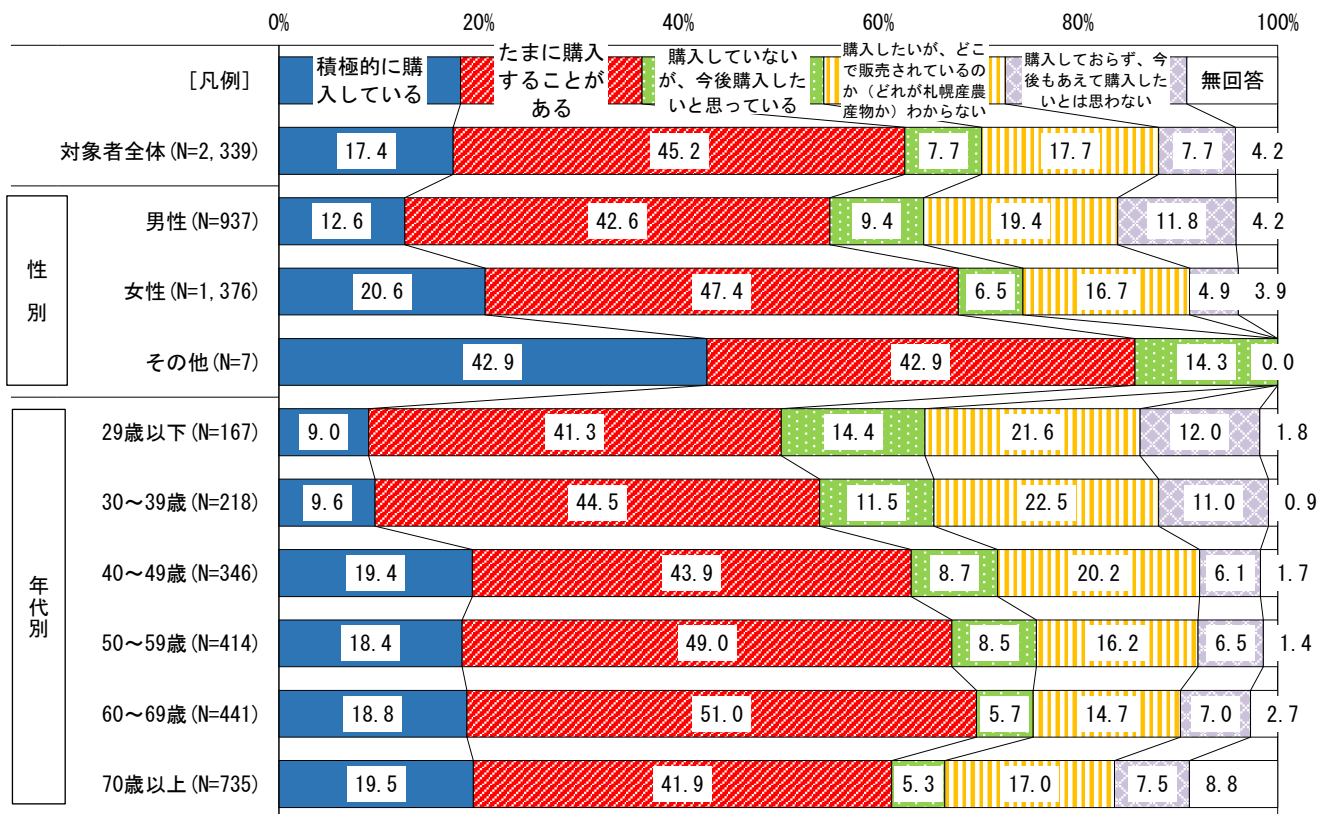
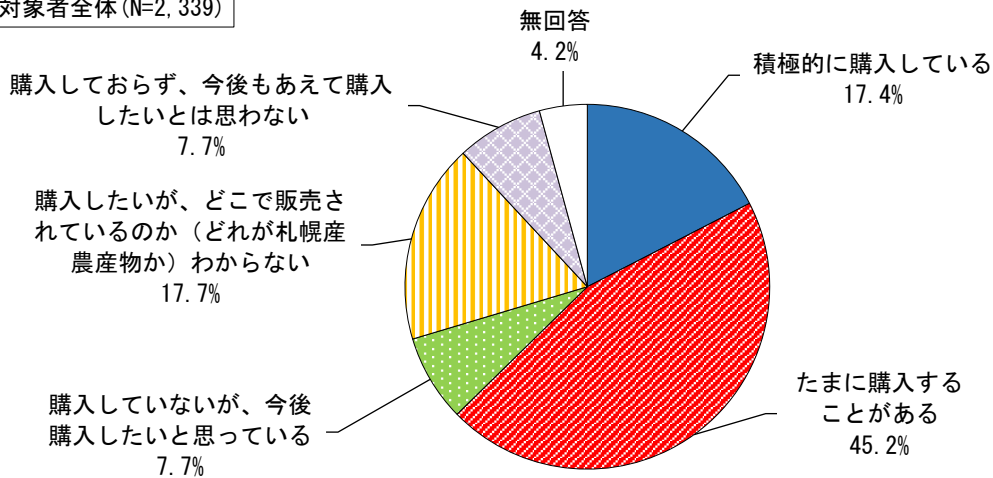
【年代別】 「観光農園の利用（果物や野菜の収穫のみを体験する）」が40歳代（26.0%）で最も高く、次いで50歳代（22.9%）、30歳代（22.9%）となっている。

◇札幌産農産物の購入状況

問27 あなたは、札幌産農産物を購入していたり、購入したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌産農産物の購入状況は、「たまに購入することがある」が45.2%

対象者全体(N=2,339)



【全体】札幌産農産物の購入状況は、「たまに購入することがある」が45.2%、「購入したいが、どこで販売されているのか(どれが札幌産農産物か)わからない」が17.7%、「積極的に購入している」が17.4%となっている。

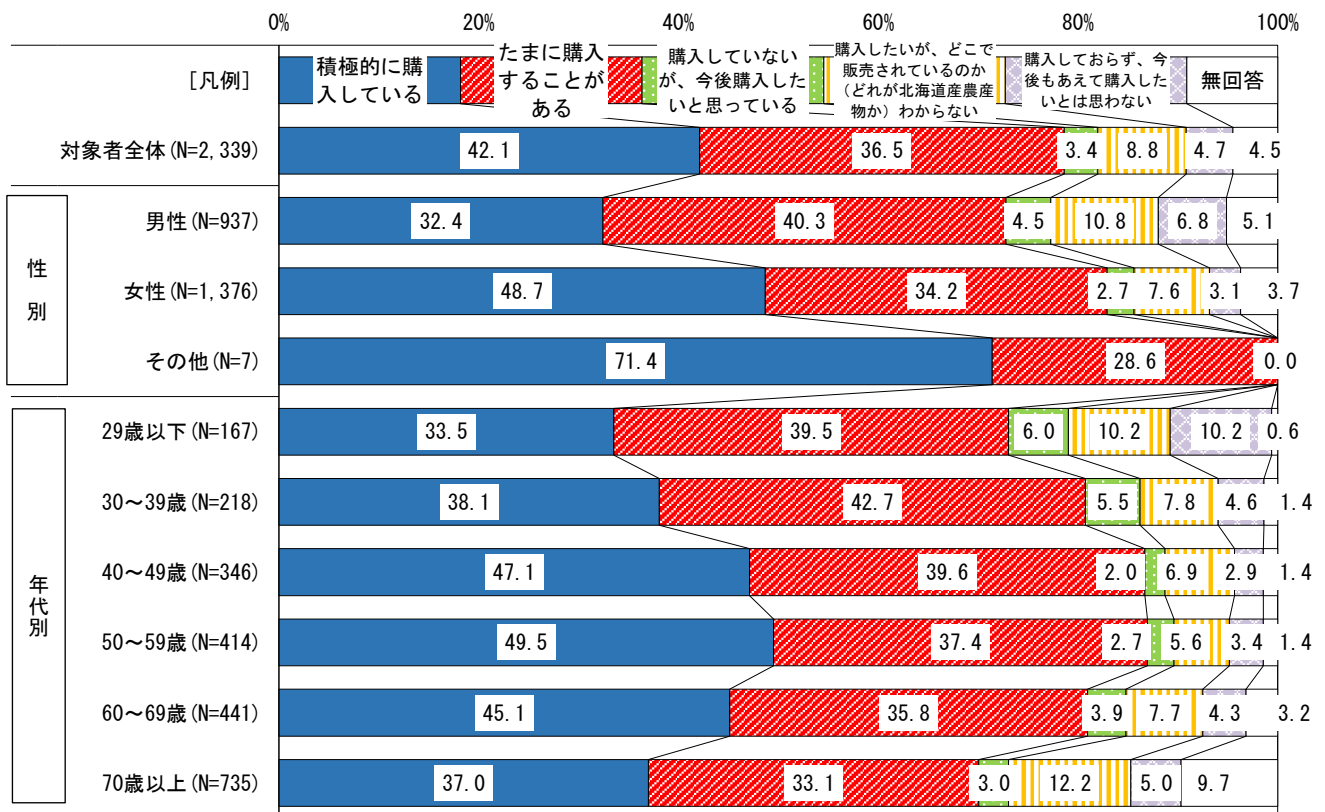
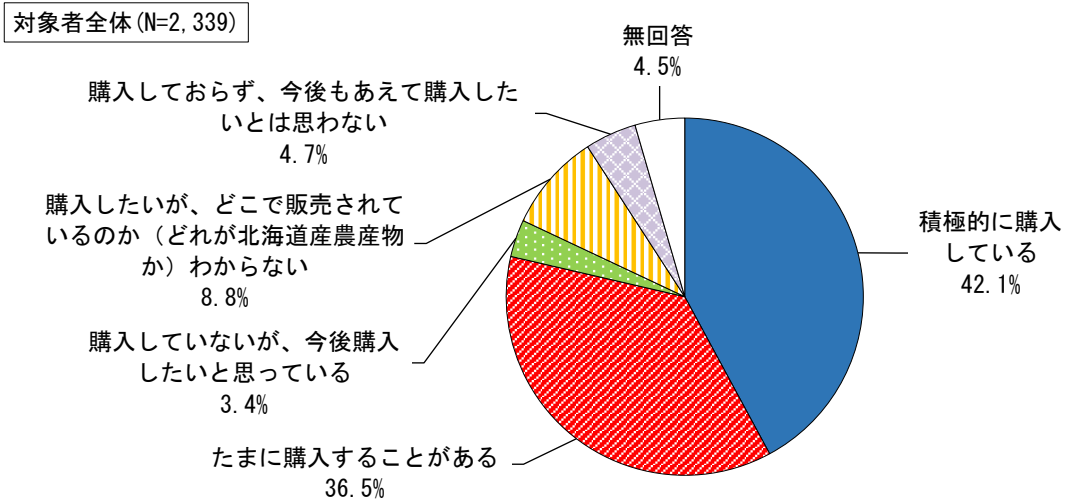
【性別】「購入しておらず、今後もあえて購入したいとは思わない」は男性が11.8%と、女性の4.9%より6.9ポイント高くなっている。また、「積極的に購入している」は、女性が20.6%と、男性の12.6%より8.0ポイント高くなっている。

【年代別】「購入していないが、今後購入したいと思っている」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇北海道産農産物の購入状況

問28 あなたは、北海道産農産物を購入していたり、購入したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

北海道産農産物の購入状況は、「積極的に購入している」が42.1%



【全体】北海道産農産物の購入状況は、「積極的に購入している」が42.1%、「たまに購入することがある」が36.5%、「購入したいが、どこで販売されているのか(どれが北海道産農産物か)わからない」が8.8%となっている。

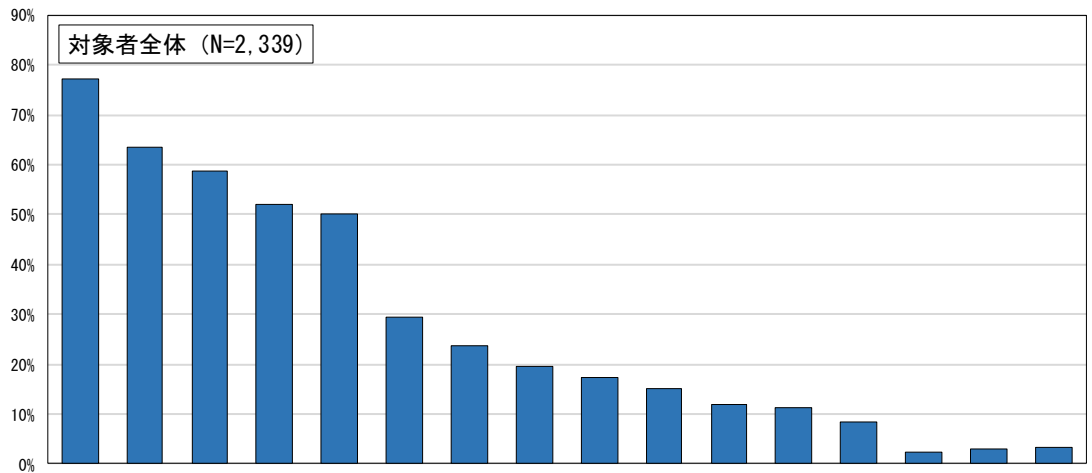
【性別】「たまに購入することがある」は男性が40.3%と、女性の34.2%より6.1ポイント高くなっている。また、「積極的に購入している」は、女性が48.7%と、男性の32.4%より16.3ポイント高くなっている。

【年代別】40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「積極的に購入している」が、29歳以下、30歳代では「たまに購入している」が最も高くなっている。

◇札幌産農産物に期待すること

問29 あなたが、札幌産農産物に期待することは何ですか。あてまるものにもいくつでも○をつけてください。

札幌産農産物に期待することは、「新鮮さ」が77.1%



対象者数		新鮮さ	安全・安心 (減農薬など)	味や品質の良さ	季節ごとの旬の農産物	スーパーなどの小売店での販売	地域ならではの特色ある農産物	生産者の顔が見える (身近に感じる)	農家等による直売所やマルシェでの販売	学校給食での提供	一般的な飲食店 (カフェやレストランなど) での提供	種類の豊富さ	健康の維持及び増進に役立つ (機能性農産物)	農家等による飲食店 (カフェやレストランなど) での提供	その他	期待していない	無回答	
		(%)																
対象者全体		2,339	77.1	63.6	58.8	52.1	50.3	29.5	23.7	19.6	17.4	15.0	12.1	11.2	8.5	2.3	2.9	3.5
性別	男性	937	73.2	58.2	57.0	44.4	43.2	27.9	17.8	14.2	12.5	11.3	12.3	10.0	6.0	2.7	4.1	3.9
	女性	1,376	80.2	67.6	60.5	57.3	55.3	30.5	27.8	23.5	20.8	17.6	12.0	11.8	10.4	2.0	2.2	2.7
	その他	7	85.7	85.7	71.4	85.7	85.7	85.7	28.6	28.6	14.3	42.9	14.3	28.6	-	14.3	-	-
年代別	29歳以下	167	70.7	57.5	70.1	40.7	31.1	23.4	13.2	12.6	19.2	18.0	9.6	12.6	7.2	4.2	4.8	1.8
	30~39歳	218	73.4	67.4	66.1	51.8	46.8	32.1	23.4	16.5	25.7	23.4	11.0	10.1	9.6	3.7	2.8	0.9
	40~49歳	346	76.9	65.9	64.2	49.4	53.8	33.2	21.1	20.5	29.2	20.5	15.0	10.1	9.5	2.6	2.3	1.2
	50~59歳	414	81.9	67.6	63.8	53.1	55.8	31.9	23.7	23.2	17.9	18.6	13.3	11.6	11.8	3.1	3.1	1.2
	60~69歳	441	80.0	63.0	56.7	56.2	51.7	30.6	27.2	23.1	16.1	16.1	13.4	9.5	9.3	1.6	2.9	2.5
	70歳以上	735	76.2	61.4	51.0	53.3	50.7	26.8	25.4	17.8	9.5	6.9	10.2	12.2	5.9	1.2	2.6	6.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌産農産物に期待することは、「新鮮さ」が77.1%、「安全・安心 (減農薬など)」が63.6%、「味や品質の良さ」が58.8%となっている。

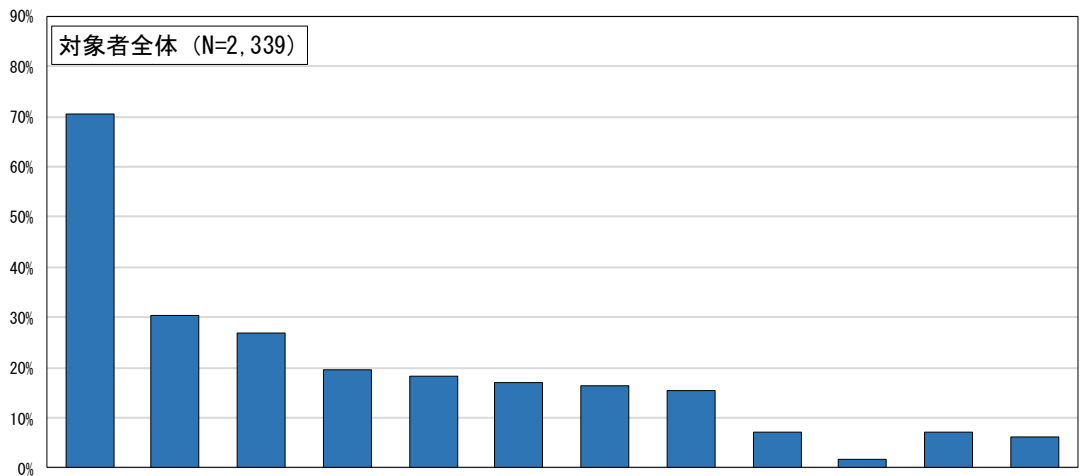
【性別】「新鮮さ」、「安全・安心 (減農薬など)」、「季節ごとの旬の農産物」、「スーパーなどの小売店での販売」、「生産者の顔が見える (身近に感じる)」、「農家等による直売所やマルシェでの販売」、「学校給食での提供」、「一般的な飲食店 (カフェやレストランなど) での提供」は女性が男性より6.3ポイント以上高くなっている

【年代別】「味や品質の良さ」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌の農業や農地に期待する機能や役割

問30 あなたは、札幌の農業や農地にどのような機能や役割を期待しますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

札幌の農業や農地に期待する機能や役割は、「農産物の生産・供給（地産地消）」が70.4%



対象者数		農産物の生産・供給（地産地消）	生産者と消費者の交流（直売所やマルシェなど）	環境や生態系の保全	食育や環境に関する学習	レクリエーション（観光農園など）	農業とのふれあい（農業体験農園や市民農園など）	社会福祉分野との連携（障がい者の雇用など）	良好な景観の形成	防災空間（避難場所や延焼防止として）	その他	期待していない	無回答	
		（%）												
対象者全体		2,339	70.4	30.4	26.8	19.5	18.3	16.9	16.2	15.5	7.1	1.7	7.1	6.1
性別	男性	937	71.8	26.1	27.3	15.5	15.6	17.6	13.6	19.9	8.2	1.7	8.8	5.3
	女性	1,376	69.7	33.6	26.4	22.4	20.3	16.4	18.1	12.6	6.4	1.7	6.0	6.2
	その他	7	100.0	28.6	57.1	-	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	-	-	-
年代別	29歳以下	167	62.9	19.2	25.1	25.7	18.6	16.2	8.4	19.2	4.2	-	14.4	1.8
	30～39歳	218	66.1	24.8	27.5	29.8	26.1	21.1	14.2	14.7	5.5	0.9	10.1	1.4
	40～49歳	346	73.7	30.9	26.9	31.5	24.9	22.3	17.3	17.6	9.0	1.4	5.2	1.2
	50～59歳	414	76.8	31.4	25.4	20.3	20.5	14.5	18.1	15.2	6.5	1.9	7.0	1.0
	60～69歳	441	76.6	35.4	28.1	14.7	16.8	16.1	18.4	17.5	9.5	2.0	5.0	4.1
	70歳以上	735	65.2	31.4	27.2	11.8	12.8	15.4	15.8	13.2	6.4	2.0	6.8	14.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の農業や農地に期待する機能や役割は、「農産物の生産・供給（地産地消）」が70.4%、「生産者と消費者の交流（直売所やマルシェなど）」が30.4%、「環境や生態系の保全」が26.8%となっている。

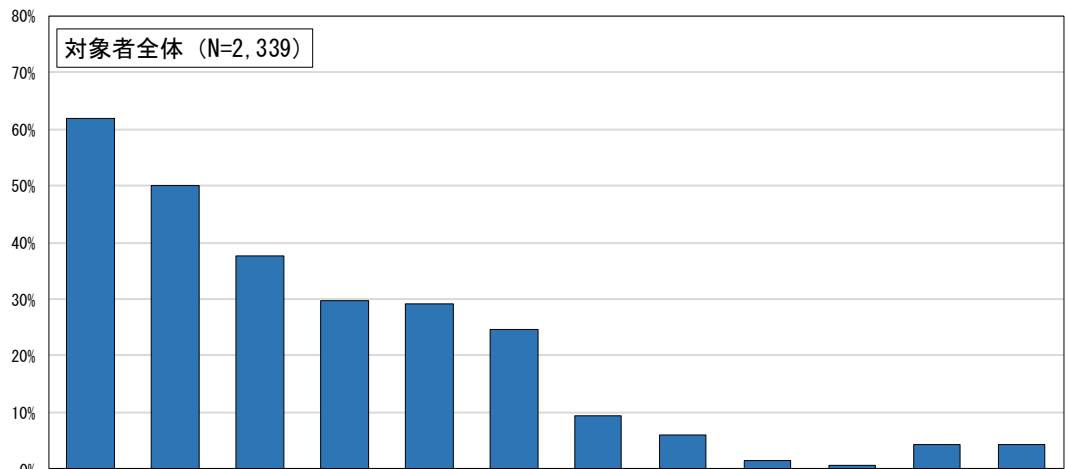
【性別】「良好な景観の形成」は、男性が19.9%と、女性の12.6%より7.3ポイント高くなっている。また、「生産者と消費者の交流（直売所やマルシェなど）」、「食育や環境に関する学習」は、女性が男性より6.9ポイント以上高くなっている。

【年代別】「食育や環境に関する学習」が40歳代（31.5%）で最も高く、最も低い70歳以上（11.8%）と比べると19.7ポイントの差となっている。

◇札幌の農業に関連する情報を得たい媒体

問31 あなたは、札幌の農業や農産物、また関連するイベントや講座などの情報を何から得たいですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の農業に関連する情報を得たい媒体は、「テレビ」が61.8%



対象者数		テレビ	広報さっぽろ	新聞	チラシやフリーペーパー	スーパーなどの小売店や直売所でのPR	SNS	関連ホームページ	農業関連イベント	Eメール(メールマガジン)	その他	札幌の農業や農産物の情報は必要ない	無回答	
(%)														
対象者全体	2,339	61.8	50.0	37.7	29.6	29.2	24.6	9.4	6.0	1.4	0.6	4.2	4.2	
性別	男性	937	59.2	45.4	38.2	23.6	23.6	11.3	6.4	1.7	0.9	5.8	4.3	
	女性	1,376	63.8	53.3	37.4	33.9	32.9	8.1	5.8	1.2	0.5	3.2	3.7	
	その他	7	42.9	42.9	28.6	28.6	57.1	71.4	28.6	-	-	-	14.3	
年代別	29歳以下	167	49.1	22.8	12.6	16.8	15.0	55.7	8.4	3.6	-	1.2	12.0	0.6
	30~39歳	218	52.8	40.4	15.1	28.9	21.1	49.5	13.8	7.8	0.9	1.4	7.3	1.8
	40~49歳	346	55.8	47.1	21.4	34.7	26.6	41.0	15.9	5.2	1.7	0.6	5.5	1.2
	50~59歳	414	65.9	51.0	35.5	30.4	28.7	29.2	10.6	7.5	1.7	0.5	3.9	1.2
	60~69歳	441	67.8	53.5	42.2	33.1	32.0	17.2	11.1	6.3	1.6	0.9	2.9	2.9
	70歳以上	735	64.5	58.1	56.3	28.0	34.6	4.6	3.8	5.4	1.4	0.3	1.8	9.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の農業に関連する情報を得たい媒体は、「テレビ」が61.8%、「広報さっぽろ」が50.0%、「新聞」が37.7%となっている。

【性別】「広報さっぽろ」、「チラシやフリーペーパー」、「スーパーなどの小売店や直売所でのPR」は女性が男性より7.9ポイント以上高くなっている。

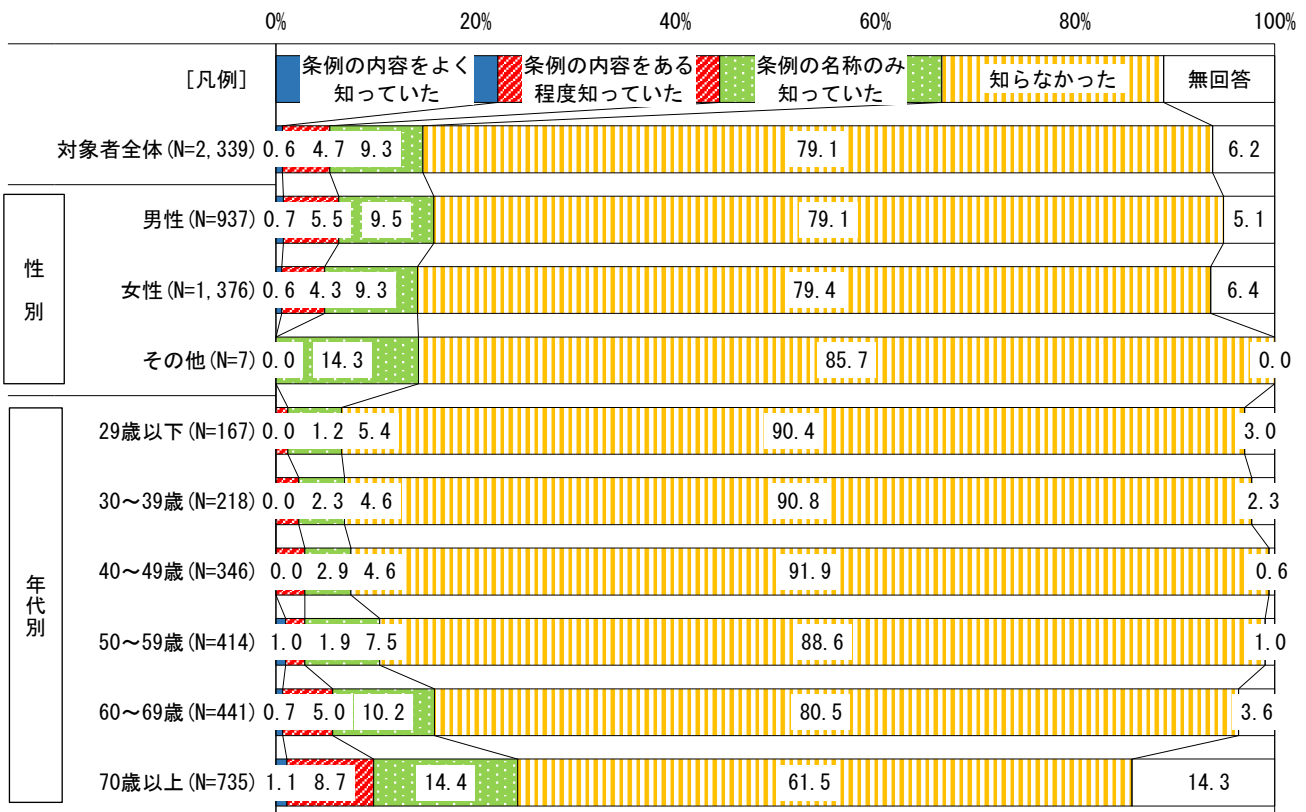
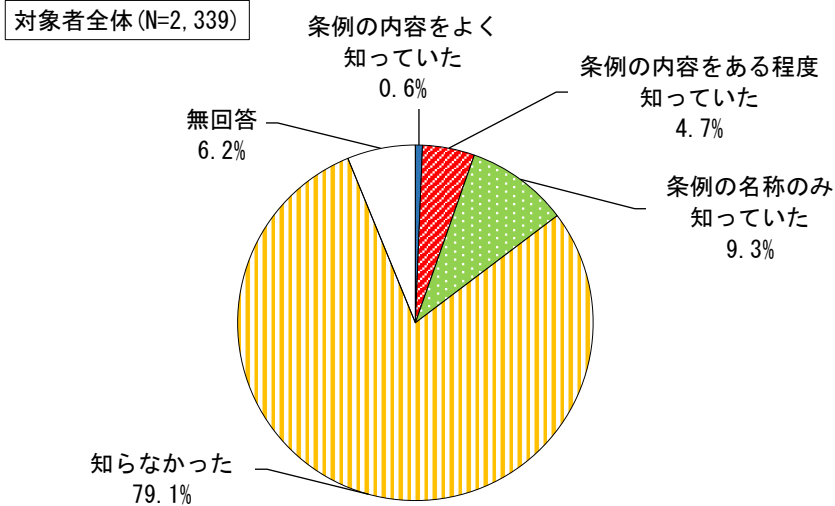
【年代別】「広報さっぽろ」「新聞」、「スーパーなどの小売店や直売所でのPR」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS」、「札幌の農業や農作物の情報は必要ない」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

(5) 障がい者コミュニケーション条例等について

◇障がい者コミュニケーション条例の認知度

問32 あなたは、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がい者コミュニケーション条例の認知度は、「知らなかった」が79.1%



【全体】障がい者コミュニケーション条例の認知度は、「知らなかった」が79.1%、「条例の名称のみ知っていた」が9.3%、「条例の内容をある程度知っていた」が4.7%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

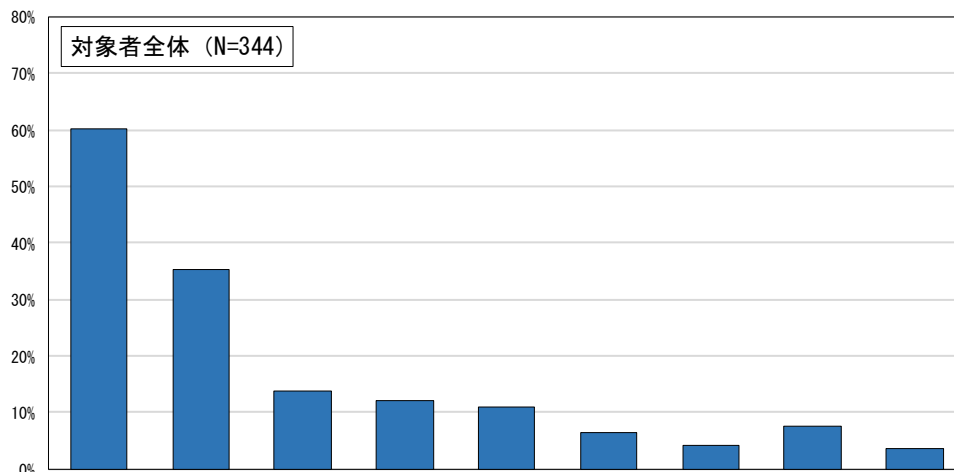
【年代別】「知らなかった」が40歳代(91.9%)で最も高く、最も低い70歳以上(61.5%)と比べると30.4ポイントの差となっている。

◇障がい者コミュニケーション条例を知ったきっかけ

《問32で「1 条例の内容をよく知っていた」「2 条例の内容をある程度知っていた」「3 条例の名称のみ知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問32-1 あなたは、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を何で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

障がい者コミュニケーション条例を知ったきっかけは、「広報さっぽろ」が60.2%



対象者数		広報さっぽろ	新聞・テレビなどの報道	ポスター・チラシ・パンフレット	家族、知人	市役所や区役所の窓口	ホームページ	その他	覚えていない	無回答	
対象者数		(%)									
対象者全体		344	60.2	35.2	13.7	12.2	11.0	6.4	4.1	7.6	3.5
性別	男性	148	65.5	40.5	14.2	7.4	13.5	10.1	4.1	6.1	2.0
	女性	195	56.4	31.3	12.8	15.9	9.2	3.6	4.1	8.7	4.6
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	11	27.3	36.4	18.2	-	9.1	9.1	18.2	-	-
	30～39歳	15	40.0	13.3	6.7	13.3	-	20.0	13.3	20.0	-
	40～49歳	26	34.6	15.4	11.5	7.7	7.7	3.8	11.5	23.1	3.8
	50～59歳	43	48.8	34.9	16.3	14.0	4.7	9.3	4.7	20.9	-
	60～69歳	70	58.6	38.6	15.7	11.4	7.1	7.1	-	7.1	4.3
	70歳以上	178	70.8	38.8	12.9	13.5	15.2	4.5	2.8	1.7	4.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】障がい者コミュニケーション条例を知ったきっかけは、「広報さっぽろ」が60.2%、「新聞・テレビなどの報道」が35.2%、「ポスター・チラシ・パンフレット」が13.7%となっている。

【性別】「広報さっぽろ」、「新聞・テレビなどの報道」、「ホームページ」は、男性が女性より6.5ポイント以上高くなっている。また、「家族、知人」は、女性が15.9%と、男性の7.4%より8.5ポイント高くなっている。

【年代別】29歳以下では「新聞・テレビなどの報道」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「広報さっぽろ」が最も高くなっている。

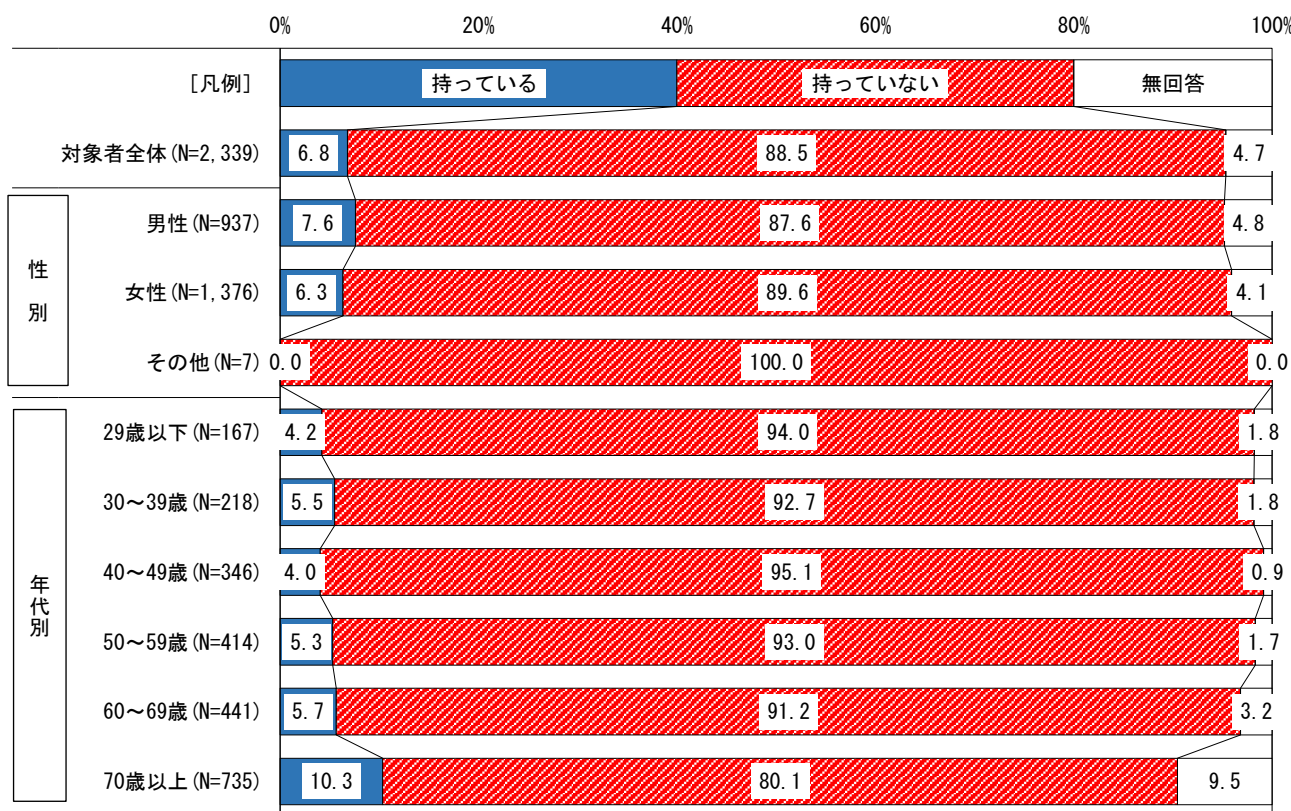
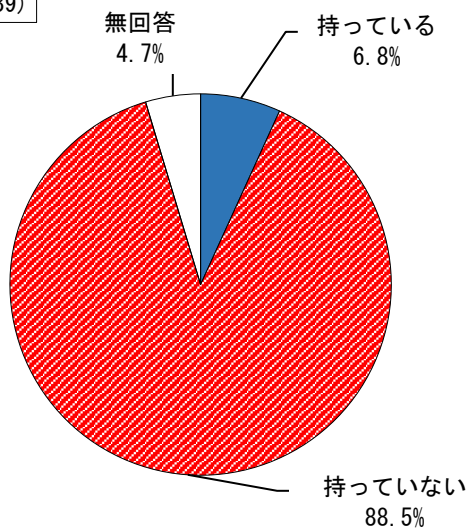
◇障がい者手帳の保有状況

《皆さまにお聞きします。》

問33 あなたは、障がい者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）を持っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がい者手帳の保有状況は、「持っていない」が88.5%

対象者全体 (N=2,339)



【全 体】障がい者手帳の保有状況は、「持っていない」が88.5%、「持っている」が6.8%となっている。

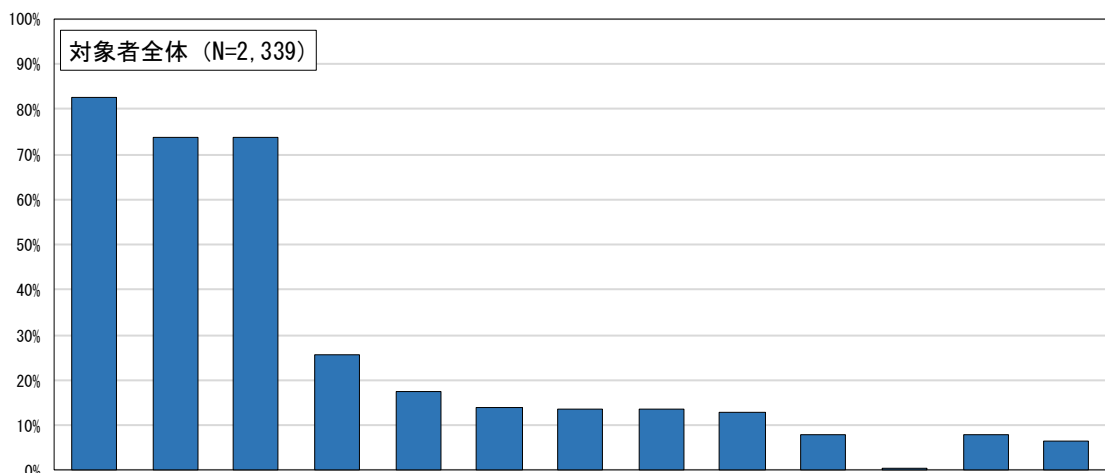
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「持っている」が70歳以上(10.3%)で最も高く、次いで60歳代(5.7%)、30歳代(5.5%)となっている。

◇障がいのある方とのコミュニケーション手段で知っているもの

問34 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

障がいのある方とのコミュニケーション手段で知っているものは、「手話」が82.4%



		対象者数	手話	筆談	点字	指点字	手のひら書き	口文字	意思伝達装置	要約筆記	音訳	触手話	その他	特になし	無回答
		(%)													
対象者全体		2,339	82.4	73.9	73.6	25.7	17.4	14.1	13.6	13.5	12.9	8.0	0.5	7.8	6.5
性別	男性	937	78.3	68.2	69.2	23.5	13.2	9.7	12.3	12.8	9.2	6.7	-	11.2	6.3
	女性	1,376	86.0	78.3	77.4	27.3	20.2	17.2	14.4	14.0	15.4	8.9	0.8	5.4	6.0
	その他	7	85.7	85.7	71.4	57.1	42.9	28.6	42.9	28.6	28.6	14.3	-	-	14.3
年代別	29歳以下	167	89.2	83.8	86.8	34.7	29.3	22.8	16.2	19.2	18.0	16.8	0.6	6.0	1.8
	30～39歳	218	90.8	83.0	81.7	33.0	27.1	23.4	20.6	18.3	17.0	10.6	0.5	4.1	3.7
	40～49歳	346	89.6	86.4	83.8	28.6	19.9	17.1	13.6	10.4	14.2	8.1	0.9	4.3	2.6
	50～59歳	414	92.0	85.5	85.3	26.6	19.1	16.4	17.4	13.5	17.6	7.5	0.7	3.1	2.4
	60～69歳	441	86.6	76.9	77.3	25.6	15.0	11.3	14.7	14.3	12.0	6.1	-	7.7	3.9
	70歳以上	735	68.6	55.9	55.9	20.0	11.3	8.7	8.2	12.0	7.9	6.7	0.4	13.3	13.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】障がい者とのコミュニケーション手段で知っているものは、「手話」が82.4%、「筆談」が73.9%、「点字」が73.6%となっている。

【性別】「手話」、「筆談」、「点字」、「手のひら書き」、「口文字」、「音訳」は、女性が男性より6.2ポイント以上高くなっている。

【年代別】「指点字」、「手のひら書き」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

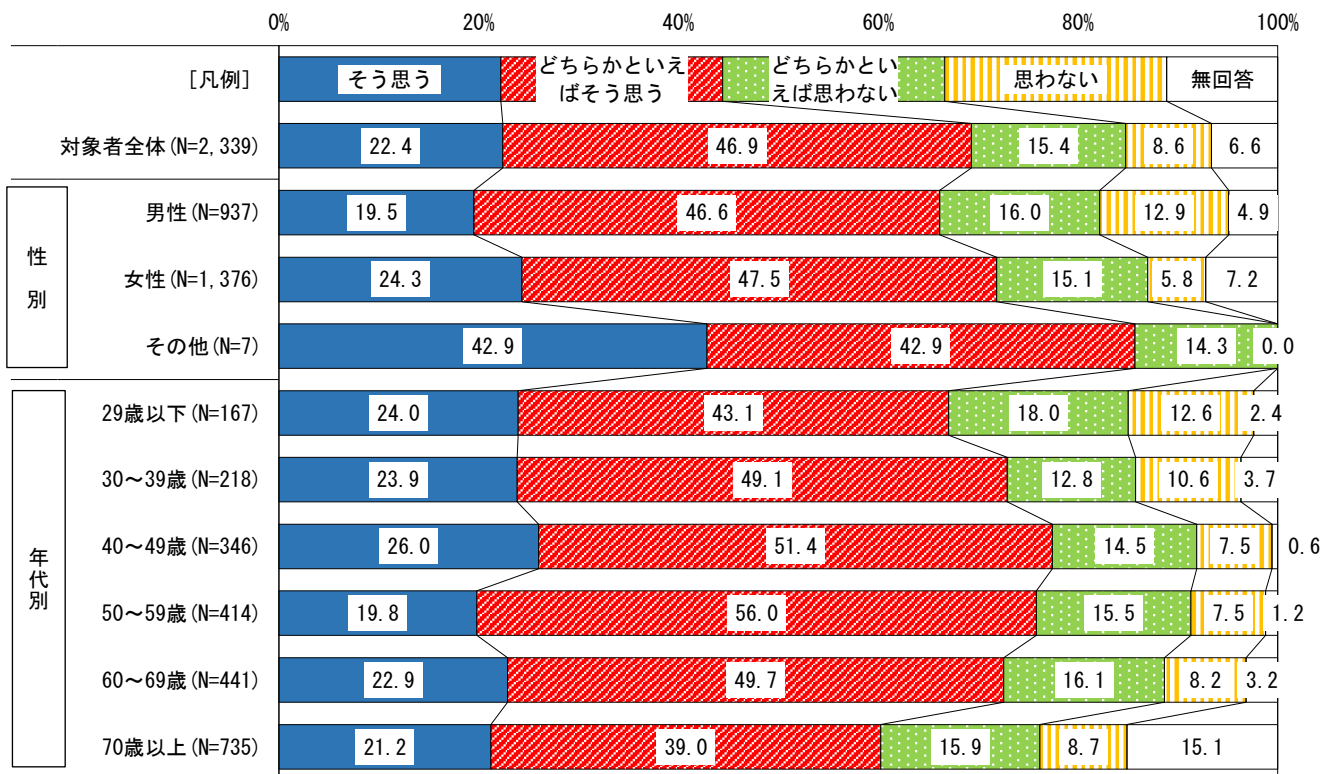
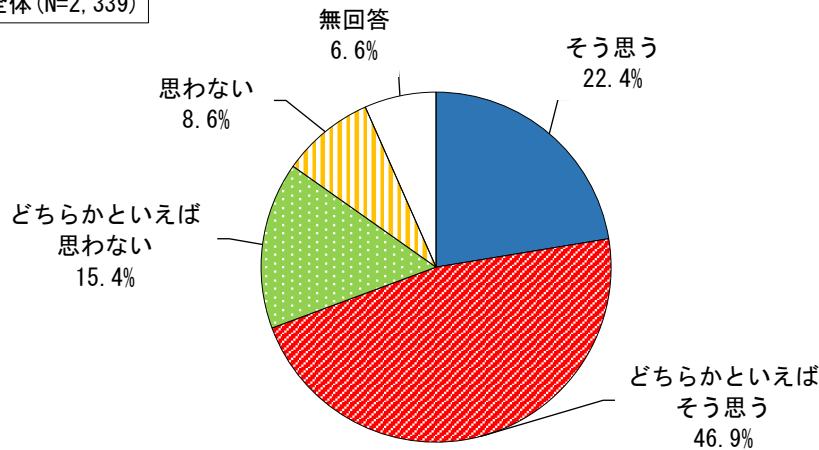
◇コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うか

問35 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何かに取り組みたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うかは、“そう思う”が69.3%

“そう思う” = (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

対象者全体(N=2,339)



【全体】 コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うかは、「そう思う」が22.4%、「どちらかといえばそう思う」が46.9%、合わせると69.3%となっている。一方で、「どちらかといえば思わない」が15.4%、「思わない」が8.6%、合わせると24.0%となっている。

【性別】 「思わない」は、男性が12.9%と、女性の5.8%より7.1ポイント高くなっている。

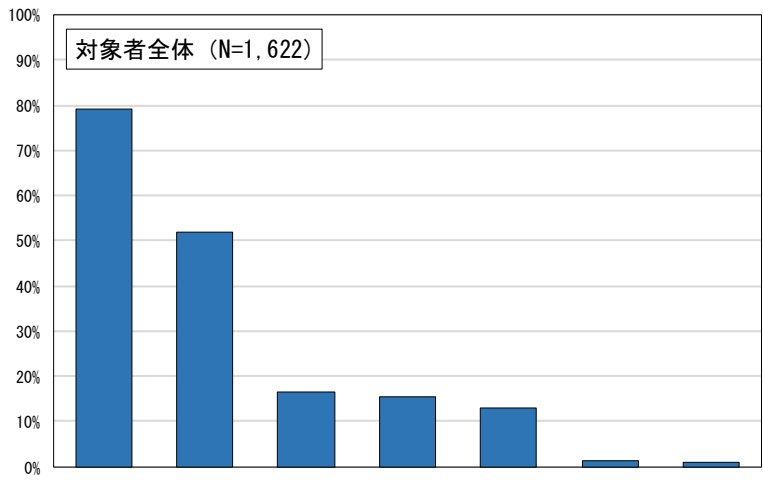
【年代別】 「そう思う」が40歳代(26.0%)で最も高く、次いで29歳以下(24.0%)、30歳代(23.9%)となっている。

◇コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいこと

《問35で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。》

問35-1 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として具体的にどのようなことに取り組みたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいことは、「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」が79.0%



		対象者数	日常生活の場面で困っている方がいたら助ける (%)	メディア（テレビやSNSなど）の中で、障がいに関する情報があれば気を配る (%)	障害のある方が行う行事、催し物に参加する (%)	ボランティア活動へ参加する (%)	講座に参加するなど、障がいのある方のコミュニケーション手段を学習し、実践する (%)	その他 (%)	無回答 (%)
対象者全体		1,622	79.0	51.8	16.6	15.5	12.9	1.5	0.9
性別	男性	620	73.7	52.9	15.5	16.1	11.0	1.5	1.3
	女性	989	82.3	51.3	17.6	15.1	14.3	1.4	0.7
	その他	6	100.0	33.3	-	16.7	16.7	16.7	-
年代別	29歳以下	112	75.9	42.9	11.6	17.0	11.6	0.9	-
	30～39歳	159	79.9	52.2	15.1	13.8	11.9	1.9	-
	40～49歳	268	81.3	49.3	18.3	12.7	13.8	2.2	0.7
	50～59歳	314	78.7	50.0	17.8	15.0	15.6	1.6	1.0
	60～69歳	320	81.6	57.2	15.0	18.1	13.1	1.6	0.6
	70歳以上	443	76.5	53.0	18.1	15.8	11.3	0.9	1.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいことは、「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」が79.0%、「メディア（テレビやSNSなど）の中で、障がいに関する情報があれば気を配る」が51.8%、「障害のある方が行う行事、催し物に参加する」が16.6%となっている。

【性別】 「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」は、女性が82.3%と、男性の73.7%より8.6ポイント高くなっている。

【年代別】 「メディア（テレビやSNSなど）の中で、障がいに関する情報があれば気を配る」が60歳代（57.2%）で最も高く、次いで70歳以上（53.0%）、30歳代（52.2%）となっている。

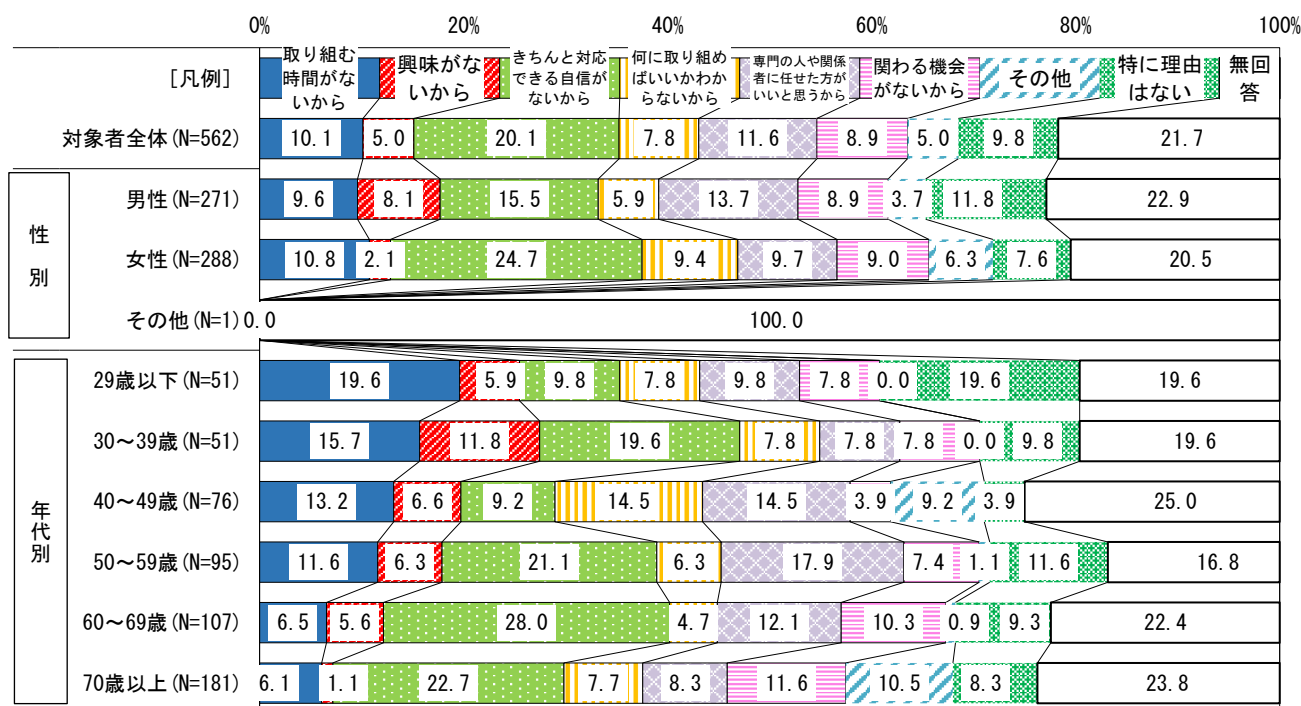
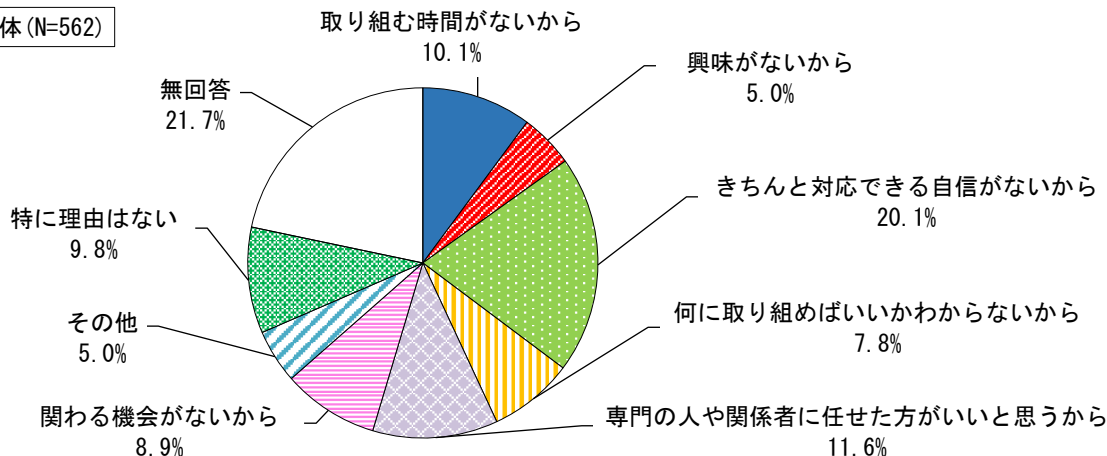
◇コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために何か取り組みたいと思わない理由

《問35で「3 どちらかといえば思わない」または「4 思わない」と答えた方にお聞きします。》

問35-2 あなたが、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何か取り組みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために何か取り組みたいと思わない理由は、「きちんと対応できる自信がないから」が20.1%

対象者全体 (N=562)



【全体】 コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために何か取り組みたいと思わない理由は、「きちんと対応できる自信がないから」が20.1%、「専門の人や関係者に任せ方がよいと思うから」が11.6%、「取り組む時間がないから」が10.1%となっている。

【性別】 「興味がないから」は、男性が8.1%と、女性の2.1%より6.0ポイント高くなっている。また、「きちんと対応できる自信がないから」は、女性が24.7%と、男性の15.5%より9.2ポイント高くなっている。

【年代別】 「取り組む時間がないから」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

資料 調査票

令和5年度第2回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力のお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういう意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和5年9月1日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 佐藤 ☎ 011-211-2045 まで

<市民意識調査に関するよくある質問（FAQ）>

https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminokoe/citi_enq/faq.html



テーマ1 「健康づくり」と「社会参加」の活動状況について

ご自身の「健康づくり」と「社会参加」の活動状況や今後取り組みたい事柄についてお尋ねします。

問1 あなたは、ご自身の現在の健康状態をどのように評価していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 よい
- 2 まあよい
- 3 ふつう
- 4 あまりよくない
- 5 よくない

問2 あなたは、健康づくりのために、どのようなことに意識的に取り組んでいますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------|-------------|
| 1 徒歩での移動 | 2 階段の利用 | 3 早歩き |
| 4 スポーツ | 5 健康診断・歯科検診の受診 | 6 食生活 |
| 7 睡眠の量と質の確保 | 8 健康に関する情報収集 | 9 禁酒 |
| 10 禁煙 | 11 日々の体重や血圧の管理 | 12 健康教室への参加 |
| 13 その他 () | | |
| 14 特になし | | |

問3 あなたは、ご自身の現在の健康づくり活動について、どの程度活動していると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 積極的に活動している
- 2 それなりに活動している
- 3 少し活動している
- 4 ほとんど活動していない
- 5 全く活動していない

問4 あなたが、今後健康のために取り組みたいと思うものはどれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(現在取り組んでいて、今後も継続して取り組みたいものも含みます)

- | | | |
|-------------|----------------|-------------|
| 1 徒歩での移動 | 2 階段の利用 | 3 早歩き |
| 4 スポーツ | 5 健康診断・歯科検診の受診 | 6 食生活 |
| 7 睡眠の量と質の確保 | 8 健康に関する情報収集 | 9 禁酒 |
| 10 禁煙 | 11 日々の体重や血圧の管理 | 12 健康教室への参加 |
| 13 その他 () | | |
| 14 特になし | | |

問5 あなたは、普段からどのような社会参加活動に取り組んでいますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------------|------------|
| 1 ボランティア | 2 地域交流 | 3 仕事・アルバイト |
| 4 趣味活動 | 5 町内会・自治会などの自治組織 | 6 教育・子育て支援 |
| 7 高齢者支援 | 8 障がい者支援 | 9 文化的活動 |
| 10 生涯学習 | 11 地域安全活動 | |
| 12 その他 () | | |
| 13 特になし | | |

問6 あなたは、ご自身の現在の社会参加活動について、どの程度活動していると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|---------------|
| 1 積極的に活動している |
| 2 それなりに活動している |
| 3 少し活動している |
| 4 ほとんど活動していない |
| 5 全く活動していない |

問7 あなたが、今後取り組みたいと思う社会参加活動はどれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(現在取り組んでいて、今後も継続して取り組みたいものも含みます)

- | | | |
|------------|------------------|------------|
| 1 ボランティア | 2 地域交流 | 3 仕事・アルバイト |
| 4 趣味活動 | 5 町内会・自治会などの自治組織 | 6 教育・子育て支援 |
| 7 高齢者支援 | 8 障がい者支援 | 9 文化的活動 |
| 10 生涯学習 | 11 地域安全活動 | |
| 12 その他 () | | |
| 13 特になし | | |

札幌市では、市民の「健康づくり」と「社会参加」の活動を後押しするため、スマートフォンなどを用いた健康アプリの導入を検討しています。

問8 あなたが、お持ちのものについて、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-------------------|---------|
| 1 スマートフォン | 2 フィーチャーフォンなど (※) | 3 タブレット |
| 4 パソコン | 5 持っているものはない | |

※スマートフォン以外の携帯電話のこと

問9 あなたは、この1年間でSNS(※)をどの程度の頻度で利用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|--------|----------|--------|-----------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週に3、4回 | 3 週に1回 | 4 月に2、3回 |
| 5 月に1回 | 6 年に数回 | 7 年に1回 | 8 利用していない |

※Facebook、Twitter、LINE、Instagramなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

問 1 0 あなたは、札幌市が健康アプリを導入した場合、どのような機能があれば使いたいと思いますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 歩数測定 | 2 歩行速度測定 |
| 3 身長・体重管理 | 4 血圧管理 |
| 5 日々の体調管理 | 6 脈拍管理 |
| 7 睡眠計 | 8 消費カロリーの測定 |
| 9 手軽に行うことができる体操や筋トレ等の動画配信 | 10 AIによる食事の栄養素判定 |
| 11 近くで行われるイベントの案内 | 12 お薬手帳 |
| 13 プッシュ通知による活動の動機づけ | 14 活動に応じた報酬の付与 |
| 15 ランキング機能 | 16 健康情報の発信 |
| 17 ゲーム（脳トレ等） | 18 スタンプラリー機能 |
| 19 その他（) | 20 特になし |

あなたにとって「健康」でいられることの価値についてお聞きします。

問 1 1 あなたは、健康な状態で過ごせる期間が長くなると、あなた自身にとってどのような良い影響があると思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。
※世界保健機関(WHO)では、「健康」を「身体的・精神的・社会的に充実している状態」としています。

- | |
|-------------------------|
| 1 仕事に打ち込むことができる |
| 2 経験や知識を活かして社会に貢献できる |
| 3 興味があることを学び続けることができる |
| 4 趣味やスポーツに熱中できる |
| 5 家族や友人、パートナーと過ごすことができる |
| 6 映画やテレビを見たり、本を読んだりできる |
| 7 好きなところに旅行に行くことができる |
| 8 おいしい物を食べられる |
| 9 その他（) |
| 10 特になし |

テーマ2 災害への備えや避難の考え方、子育て時の防災について

札幌市では、近年の激甚化・頻発化する自然災害や社会情勢に応じた防災対策に取り組んでいます。そこで、皆さまに災害に関することについてお聞きし、今後の防災対策の参考とさせていただきます。

札幌市では、災害の発生に備えて、平時から家庭での備えをお願いしています。なかでも、食料や水などの備蓄については、各家庭で最低3日分用意していただくよう呼びかけています。

問12 あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家具の固定や配置の工夫
- 2 家屋や塀などの補強
- 3 家族間での連絡方法や集合場所などの共有
- 4 備蓄品や非常持ち出し品の用意
- 5 食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）
- 6 自家用車へ早めの満タン給油（こまめな給油）
- 7 テレビや書籍、インターネットなどで災害時の心得や知識の取得
- 8 ハザードマップの確認
- 9 避難方法や最寄りの避難場所の確認
- 10 親戚や知人宅への避難の相談
- 11 地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入
- 12 地域での防災訓練や防災イベントへの参加
- 13 所有している電子端末に防災関係アプリのインストール
- 14 その他（）
- 15 特に何もしていない

問13 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

	1日分	2日分	3日以上	用意していない	わからない
ア 飲料水	1	2	3	4	5
イ 食料	1	2	3	4	5
ウ 防寒具	1	2	3	4	5
エ 携帯トイレ	1	2	3	4	5

問13-1 **問13**のア～エ以外に災害に備えているものがあれば、具体的にどのような備蓄品を何日分用意しているかご自由にお書きください。

札幌市では、様々な方法で避難情報を発信し、避難を呼びかけます。

問 1 4 あなたは、地震や風水害などの災害が発生または発生のおそれがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 家族等からの固定電話への連絡 | 2 家族等からのFAXへの連絡 |
| 3 テレビの速報やニュース | 4 ラジオの速報やニュース |
| 5 緊急速報メール（エリアメール） | 6 インターネットのニュース |
| 7 防災情報のアプリからの通知 | 8 SNS（※） |
| 9 新聞 | 10 知人等の口コミ |
| 11 あてはまるものがない | |

※Facebook、Twitter、LINE、Instagramなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

問 1 5 あなたが、札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうが良いと思うものについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 電子メールによる情報伝達 | 2 アプリやホームページによる情報伝達 |
| 3 電話、FAXによる情報伝達 | 4 テレビ、ラジオによる情報伝達 |
| 5 SNSによる情報伝達 | 6 電子看板（デジタルサイネージ）による情報伝達 |
| 7 屋外拡声器による情報伝達 | 8 防災行政無線等の戸別受信機による情報伝達 |
| 9 その他（ ） | 10 特になし |

風水害が起きたとき、災害の危険性が高まっている状況で屋外へ避難するとかえって危険な場合があります。このようなとき、避難所まで行かずに自宅または近くにある建物屋内の2階以上の高さに移動することを「垂直避難」と言います。

問 1 6 風水害（洪水や土砂災害など）が起き、自分の住む地域が災害のおそれが高い状況となった際に、札幌市から避難指示（高齢者等避難も含む）が発令された場合、あなたはどこへ避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------|
| 1 避難所 ⇒ 問 1 6 - 1 へ | |
| 2 自宅 | 3 車内 |
| 4 親戚や知人宅 | 5 ホテル等宿泊施設 |
| 6 その他（ ） | 7 わからない |
- } ⇒ **問 1 7** へ

《**問 1 6**で「1 避難所」と答えた方にお聞きします。》

問 1 6 - 1 あなたは、垂直避難をふまえた避難場所を検討していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 検討している | 2 検討していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

地震が起きたとき、家屋の倒壊などの危険性がない際は、そのまま自宅にいて、避難所での共同生活というストレスや感染症のリスクを回避した生活を送ることができる場合があります、このことを「在宅避難」と言います。

《皆さまにお聞きします。》

問17 大きな地震が発生し、自宅の被害がないまたは少ない場合において、大規模な停電となったとき、あなたはどこへ避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1 避難所 | ⇒ 問17-1 へ | | |
| 2 自宅 | | 3 車内 | } ⇒ 問18 へ |
| 4 親戚や知人宅 | | 5 ホテル等宿泊施設 | |
| 6 その他 () | | 7 わからない | |

《問17で「1 避難所」と答えた方にお聞きします。》

問17-1 あなたは、在宅避難をふまえた避難場所を検討していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 検討している | 2 検討していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

札幌市では、今後、子育て世帯を重点対象とした防災に関する啓発もおこなっていく予定です。

《0歳から小学6年生までの子どもを育てている方にお聞きします。》

問18 あなたは、子育て時の防災について、どのような情報を知りたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 子どものための備蓄品 | 2 子育て時の避難のあり方 |
| 3 子育て世帯の災害対応などの事例紹介 | 4 子どもとの避難先での過ごし方 |
| 5 災害時に備えた子どもとの安否確認 | 6 子どものために家庭でできる防災対策 |
| 7 その他 () | 8 特にない |

《引き続き、0歳から小学6年生までの子どもを育てている方にお聞きします。》

問19 あなたは、どのような場所であると防災のイベントや講演などに参加しやすいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1 子育て支援センター | 2 市民防災センター |
| 3 児童会館 | 4 保健センター |
| 5 商業施設 | 6 図書館 |
| 7 学校 | 8 その他 () |
| 9 どこでもいい | 10 参加しやすい場所はない・わからない |

テーマ3 市政広報について

「広報さっぽろ」は、札幌市が発行する広報誌で、毎月、各世帯にお配りし、各区役所などでも配布しています。ここからは「広報さっぽろ」についてお聞きします。

《皆さまにお聞きします。》

問20 あなたは、「広報さっぽろ」を読んでいますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください(ホームページや電子書籍で読んでいる場合も含みます。)

- | | | |
|-------------|---|------------------|
| 1 必ず読んでいる | } | ⇒ 問21 へ |
| 2 時々読んでいる | | |
| 3 あまり読んでいない | } | ⇒ 問20-1 へ |
| 4 全く読んでいない | | |

《**問20**で「3 あまり読んでいない」または「4 全く読んでいない」と答えた方にお聞きします。》

問20-1 あなたが、広報さっぽろを読んでいない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 市政に関心がないから
- 2 自分の知りたい情報が掲載されていないから
- 3 読む時間がないから
- 4 表紙のデザインが好きではないから
- 5 各ページのデザインや文章などの構成が読みづらいから
- 6 文字が多く、読む気になれないから
- 7 市政情報は別の手段で入手しているから
- 8 その他 ()
- 9 特に理由はない

《皆さまにお聞きします。》

問21 あなたが、広報さっぽろで今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|----------------|---|------------------|
| 1 地域のまちづくり活動 | 2 ボランティア | } | ⇒ 問21-1 へ |
| 3 文化・芸術 | 4 高齢者福祉 | | |
| 5 障がい者福祉 | 6 子ども・子育て | | |
| 7 教育 | 8 ごみ | | |
| 9 環境・エネルギー | 10 健康・食 | | |
| 11 スポーツ | 12 防災 | | |
| 13 公共施設 | 14 その他 () | | |
| 15 特にない | ⇒ 問22 へ | | |

《問21で「1」から「14」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問21-1 あなたは、問21で答えたテーマについて、具体的にどのような特集記事を読みたいと思いますか。お考えがあれば、ご自由にお書きください。

《皆さまにお聞きします。》

問22 広報さっぽろは、令和5年5月号から表紙や連載のデザイン変更、本文フォントの統一などをリニューアルしました。どのように感じたか、お考えがあればご自由にお書きください。

札幌市では、市のイベントなどのお知らせ情報を、地上デジタルテレビのデータ放送（北海道文化放送(UHB)）で配信しています。

データ放送では、市のお知らせ情報を、詳細かつタイムリーにご覧いただくことができるとともに、必要な情報をジャンルや日付、区などで簡単に検索することができます。



データ放送のトップ画面



データ放送のカレンダー画面

問23 あなたは、札幌市からのお知らせ情報が地上デジタルテレビの「データ放送」で配信されていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------|---|-------|---|
| 1 知っていて、利用したことがある | ⇒ | 問24 | へ |
| 2 知っていたが、利用したことはない | ⇒ | 問23-1 | へ |
| 3 知らなかった | ⇒ | 問24 | へ |

《問23で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問23-1 あなたが、地上デジタルテレビの「データ放送」で、札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 テレビを持っていないから
- 2 データ放送を見ないから
- 3 札幌市からのお知らせ情報を見たいと思わないから
- 4 札幌市からのお知らせ情報を見つけられないから
- 5 札幌市からのお知らせ情報を見る時間がないから
- 6 データ放送の見方が分からないから
- 7 札幌市からのお知らせ情報は別の手段で入手しているから
- 8 その他 ()
- 9 特に理由はない

《皆さまにお聞きします。》

問24 あなたは市が行っているイベントの情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 広報さっぽろの全市版
- 2 広報さっぽろの区民のページ
- 3 地上デジタルテレビのデータ放送
- 4 札幌市公式ホームページ
- 5 札幌市公式 Facebook (フェイスブック)
- 6 札幌市公式 Twitter (ツイッター)
- 7 札幌市公式 LINE (ライン)
- 8 札幌市公式 Instagram (インスタグラム)
- 9 札幌市公式以外のホームページ、Facebook、Twitter、LINE、Instagram
- 10 イベント情報冊子「イベント情報はこちらでチェック 札幌市からのお知らせ」
- 11 イベントを開催する施設が発行する印刷物
- 12 新聞・テレビなどの報道
- 13 フリーペーパー (ふりっぱー)
- 14 さっぽろ10区 (トーク)
- 15 その他 ()
- 16 入手していない

テーマ4 札幌の農業について

札幌の農業や農地は、市民に新鮮な農産物や農業と触れ合う機会を提供し、貴重な緑地環境としての役割を担っています。しかしながら、都市化による農地の減少や、農家の高齢化など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

そこで、札幌の農業に関する皆さまの意識などをお聞きし、今後の農業振興施策の参考とさせていただきます。

問25 あなたが、札幌の農業について知っていることはどのようなことですか。あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。

- 1 市内に農地があり、農家がいること
- 2 小売店での札幌産農産物の販売
- 3 飲食店での札幌産農産物の提供
- 4 学校給食での札幌産農産物の提供
- 5 札幌産農産物を表示する「さっぽろとれたてっこマーク」
- 6 札幌黄（たまねぎ）や札幌大球（キャベツ）、サトホロ（いちご）など、札幌ゆかりの野菜
- 7 農家の直売所やマルシェ
- 8 農家の飲食店（カフェやレストランなど）
- 9 収穫などが体験できる「観光農園」
- 10 一連の農作業が体験・学習できる「農業体験農園」
- 11 区画割りされた農地を借りる「市民農園」
- 12 農業体験交流施設「さとらんど」(※)
- 13 その他（）
- 14 知っていることはない

※ 農業に対する情報発信や理解の促進、及び緑豊かな憩いの場の提供を目的とした市有施設

問26 あなたが、今後、農業に関わるとしたら、どのような形で関わりたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 市民農園の利用（区画割りされた農地を借りて自由に栽培する）
- 2 観光農園の利用（果物や野菜の収穫のみを体験する）
- 3 体験農園の利用（植付・管理・収穫など、一連の農作業を体験する）
- 4 農業ボランティア（農家のお手伝い）
- 5 農作業のパートやアルバイト
- 6 自分で農業をする（家庭菜園等を除く）
- 7 その他（）
- 8 関わりたいと思わない

問 2 7 あなたは、札幌産農産物を購入していたり、購入したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 積極的に購入している
- 2 たまに購入することがある
- 3 購入していないが、今後購入したいと思っている
- 4 購入したいが、どこで販売されているのか（どれが札幌産農産物か）わからない
- 5 購入しておらず、今後もあえて購入したいとは思わない

問 2 8 あなたは、北海道産農産物を購入していたり、購入したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 積極的に購入している
- 2 たまに購入することがある
- 3 購入していないが、今後購入したいと思っている
- 4 購入したいが、どこで販売されているのか（どれが北海道産農産物か）わからない
- 5 購入しておらず、今後もあえて購入したいとは思わない

問 2 9 あなたが、札幌産農産物に期待することは何ですか。あてまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 新鮮さ
- 2 安全・安心（減農薬など）
- 3 味や品質の良さ
- 4 季節ごとの旬の農産物
- 5 地域ならではの特色ある農産物
- 6 健康の維持及び増進に役立つ（機能性農産物）
- 7 種類の豊富さ
- 8 生産者の顔が見える（身近に感じる）
- 9 スーパーなどの小売店での販売
- 10 農家等による直売所やマルシェでの販売
- 11 学校給食での提供
- 12 一般的な飲食店（カフェやレストランなど）での提供
- 13 農家等による飲食店（カフェやレストランなど）での提供
- 14 その他（)
- 15 期待していない

テーマ5 障がい者コミュニケーション条例等について

札幌市では、障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解及び利用を促進し、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することを目的とした「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」に基づき、さまざまな施策を行っております。

そこで、障がいのある方が使用するコミュニケーション手段に対する認知度や意識などをお伺いし、今後の施策の参考にさせていただきます。

問3 2 あなたは、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-----------------|-------------------|
| 1 条例の内容をよく知っていた | } | ⇒ 問3 2-1 へ |
| 2 条例の内容をある程度知っていた | | |
| 3 条例の名称のみ知っていた | | |
| 4 知らなかった | ⇒ 問3 3 へ | |

《**問3 2**で「1 条例の内容をよく知っていた」「2 条例の内容をある程度知っていた」「3 条例の名称のみ知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問3 2-1 あなたは、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を何で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1 広報さっぽろ | 2 ポスター・チラシ・パンフレット |
| 3 ホームページ | 4 新聞・テレビなどの報道 |
| 5 家族、知人 | 6 市役所や区役所の窓口 |
| 7 その他 () | 8 覚えていない |

《皆さまにお聞きします。》

問3 3 あなたは、障がい者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)を持っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 持っている | 2 持っていない |
|---------|----------|

問3 4 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1 手話 | 2 要約筆記 |
| 3 触手話 | 4 点字 |
| 5 指点字 | 6 手のひら書き |
| 7 音訳 | 8 口文字 |
| 9 意思伝達装置 | 10 筆談 |
| 11 その他 () | 12 特になし |

※以下の設問において、「コミュニケーション上の障がいのある方」とは、聴覚や視覚の障がいにより、情報取得などが難しい方のほか、知的や精神の障がいなどで、コミュニケーションが苦手な方も含みます。

問35 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何かに取り組みたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|--------------|---|---|-------|---|
| 1 | そう思う | } | ⇒ | 問35-1 | へ |
| 2 | どちらかといえばそう思う | | | | |
| 3 | どちらかといえば思わない | } | ⇒ | 問35-2 | へ |
| 4 | 思わない | | | | |

《問35で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。》

問35-1 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として具体的にどのようなことに取り組みたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 メディア（テレビやSNS（※）など）の中で、障がいに関する情報があれば気を配る
- 2 講座に参加するなど、障がいのある方のコミュニケーション手段を学習し、実践する
- 3 ボランティア活動へ参加する
- 4 障がいのある方が行う行事、催し物に参加する
- 5 日常生活の場面で困っている方がいたら助ける
- 6 その他（ ）

※Facebook、Twitter、LINE、Instagramなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

《問35で「3 どちらかといえば思わない」または「4 思わない」と答えた方にお聞きします。》

問35-2 あなたが、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何か取り組みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 取り組む時間がないから
- 2 興味がないから
- 3 きちんと対応できる自信がないから
- 4 何に取り組めばいいかわからないから
- 5 専門の人や関係者に任せた方がいいと思うから
- 6 関わる機会がないから
- 7 その他（ ）
- 8 特に理由はない

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F 2 あなたの年齢は（令和5年8月1日現在）

- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70～74歳 8 75歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は（もっとも近いもの1つに○をつけてください。）

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F 5 あなたの同居しているご家族は（あてはまるものにいくつでも○をつけてください。）

- 1 配偶者 2 乳幼児（0～2歳程度）
3 就学前児童（3～5歳程度） 4 小学生（6～12歳程度）
5 中学生（13～15歳程度） 6 高校生（16～18歳程度）
7 大学（院）・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和5年9月1日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません

札幌の旬な市政情報や魅力をお伝えする 札幌市広報番組のご案内

テレビ 			
ウォッチング札幌NEXT100	札幌ふるさと再発見	サッポロスマイル	いい人、いい街 #まいにち金メダル
〈TVh〉 第1/3日曜 17:15-17:20	〈STV〉 毎週土曜 11:35-11:39	〈HBC〉 第2/4日曜 16:54-17:00	〈uhb〉 第1/3日曜 6:25-6:30
次世代を担う学生が、札幌の「今」をレポートします。 	地域を元気にする取り組みをお届けし、札幌の魅力を再発見します。 	食や自然、イベントなど、札幌の「笑顔の源」となる魅力を紹介します。 	すてきな人や魅力的な場所など、札幌にあふれている「まいにち金メダリスト」を紹介します。 
ラジオ 			
スマイルさっぽろリターンズ	じゅんきのさっぽろ世間話	突撃！サッポロロッティー	Groove SAPP_RO (グルーヴサッポロスマイル)
〈HBCラジオ〉 第2/4日曜 9:35-45ごろ 「気分上昇ワイド ナルミッツ」内	〈STVラジオ〉 毎週水曜 12:18-28ごろ 「工藤じゅんきの十人十色」内	〈AIR-G'〉 第2/4木曜 15:25-30ごろ 「Be My Radio」内	〈NORTH WAVE〉 第2/4金曜 12:15-25ごろ 「Move on up!」内
札幌の旬な情報を直面目な楽しさでお届けします。 	知っておきたい話題や、誰かに話したくなる情報を語り合ってお知らせします。 	札幌のとっておきな場所やイベントに突撃取材して、街の魅力を引き出します。 	「サッポロスマイルパートナーズ」の皆さんの活動を紹介します。 